

朝食の摂取状況

II 調査の結果

1 健康的な生活習慣について

問1 朝食の摂取状況

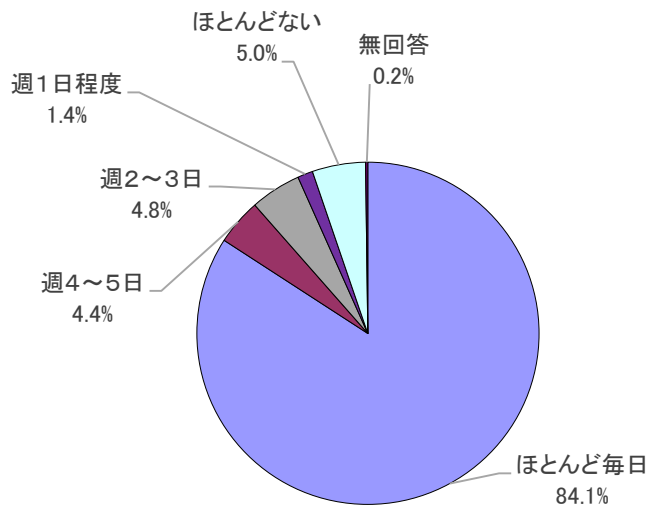
問1

あなたは、朝食を週に何日食べていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 ほとんど毎日
- 2 週4～5日
- 3 週2～3日
- 4 週1日程度
- 5 ほとんどない

【全県】

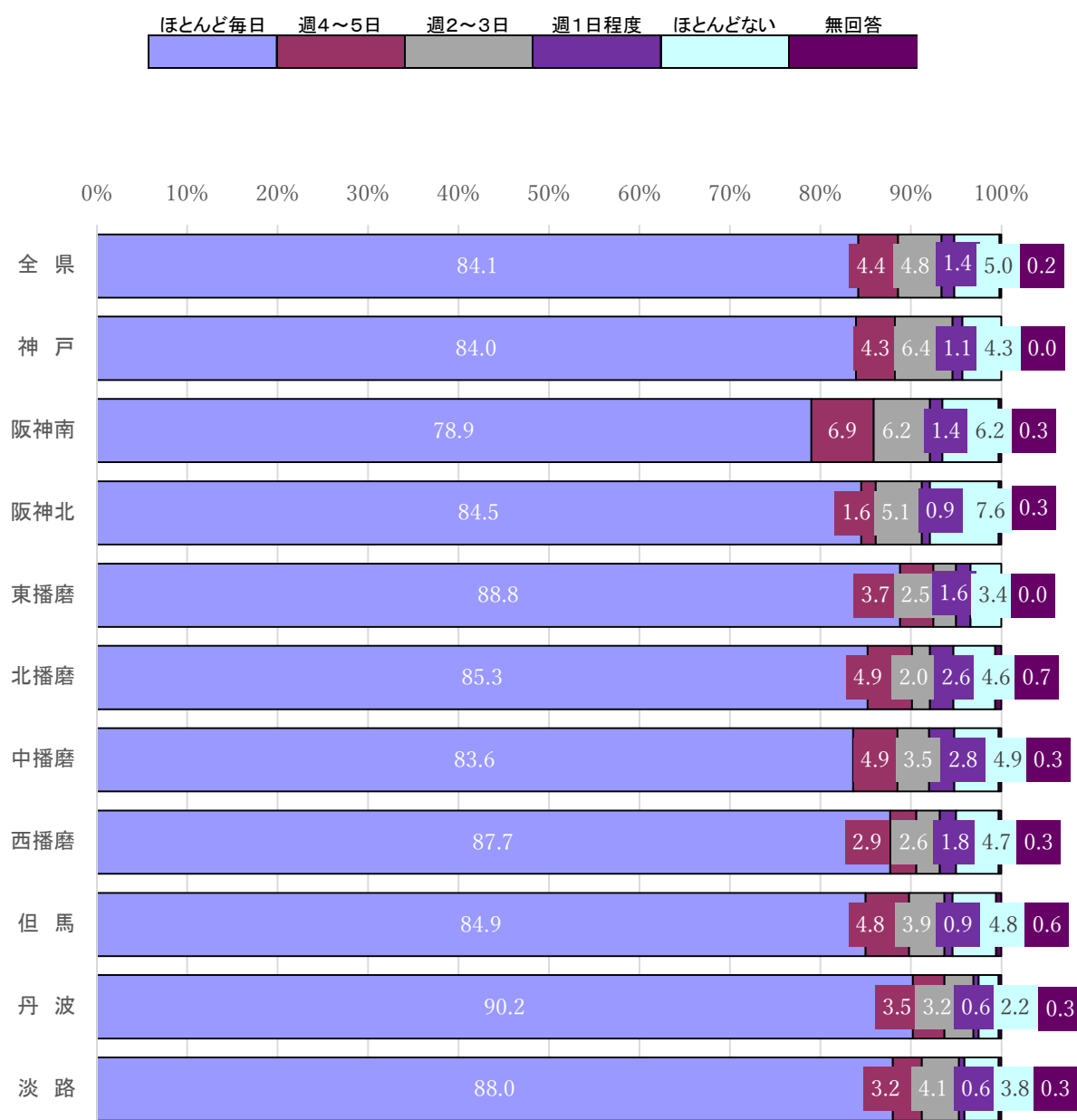
「ほとんど毎日（84.1%）」が最も多く、次いで「ほとんどない（5.0%）」「週2～3日（4.8%）」「週4～5日（4.4%）」と続き、最も回答の少ないものは「週1日程度（1.4%）」であった。



朝食の摂取状況

【地域別】

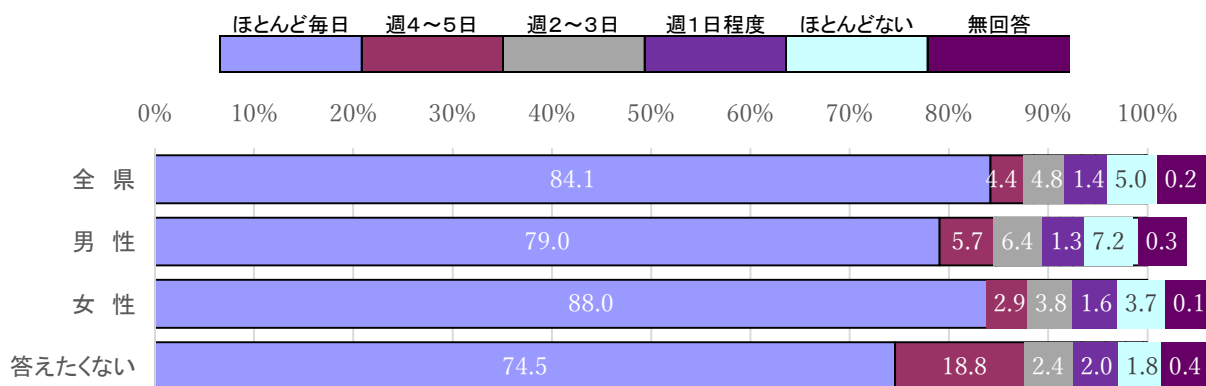
全県において最も回答の多い「ほとんど毎日」は、丹波で最も多く(90.2%)、次いで東播磨(88.8%)、淡路(88.0%)が多い。



朝食の摂取状況

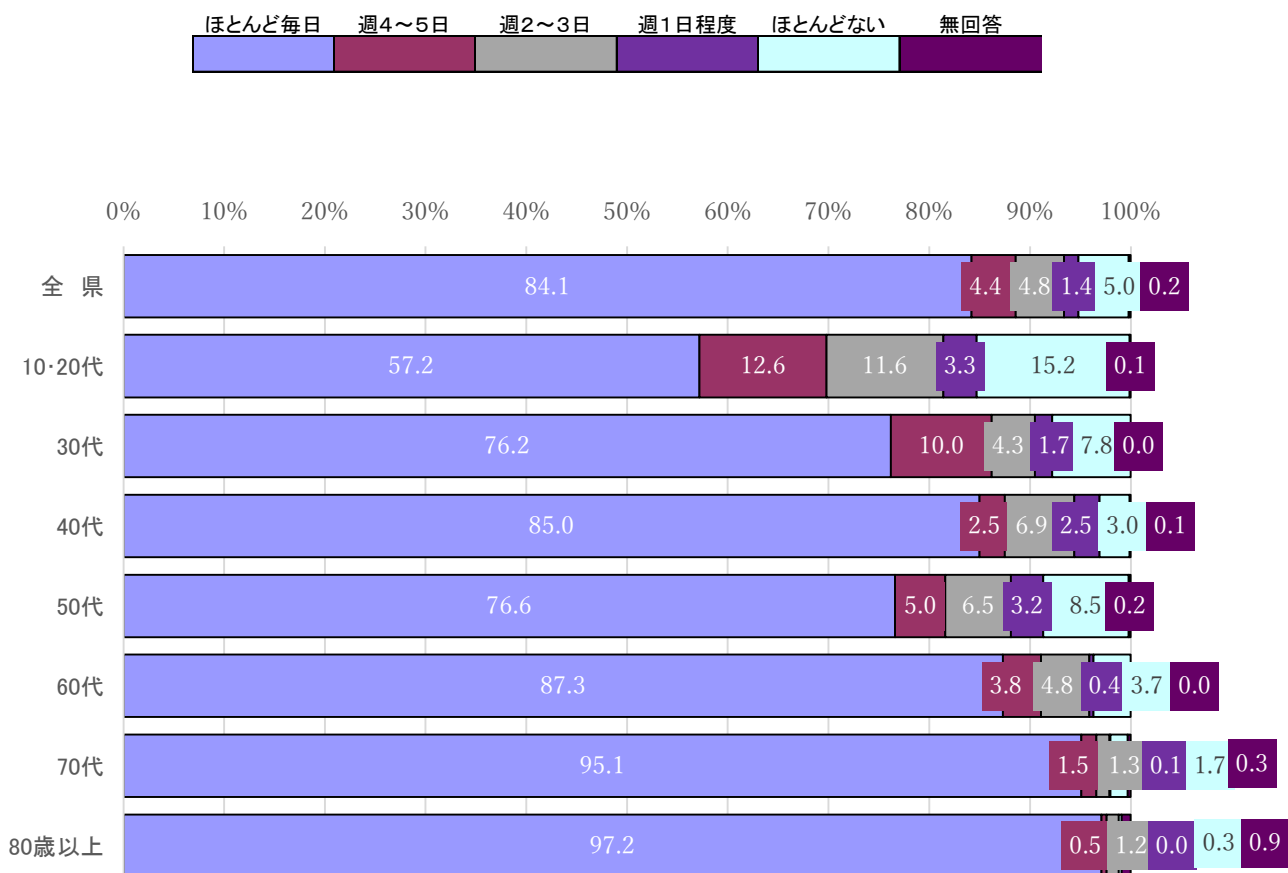
【性別】

男女とも「ほとんど毎日」が最も多く、女性が男性よりも 9.0 ポイント多い（男性 79.0%、女性 88.0%）。



【年代別】

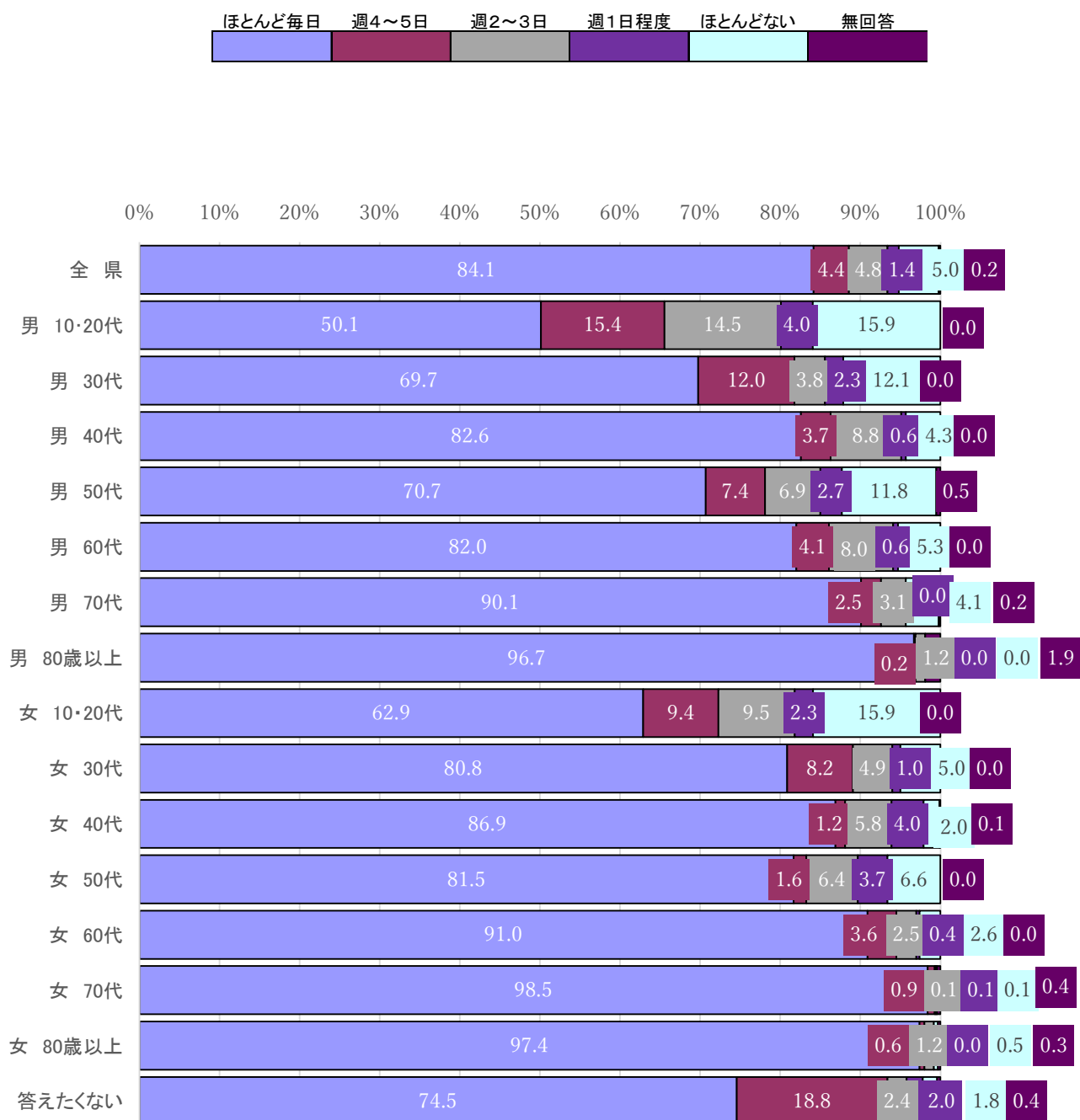
全年代とも「ほとんど毎日」が最も多く、80歳以上(97.2%)で最も多かった。



朝食の摂取状況

【性・年代別】

全県において最も回答の多い「ほとんど毎日」は、男性は80歳以上（96.7%）が最も多く、女性は70代（98.5%）が最も多い。続く「ほとんどない」は、男女ともに10・20代が最も多い（男女ともに15.9%）。



栄養バランスに配慮した食生活

問2 栄養バランスに配慮した食生活

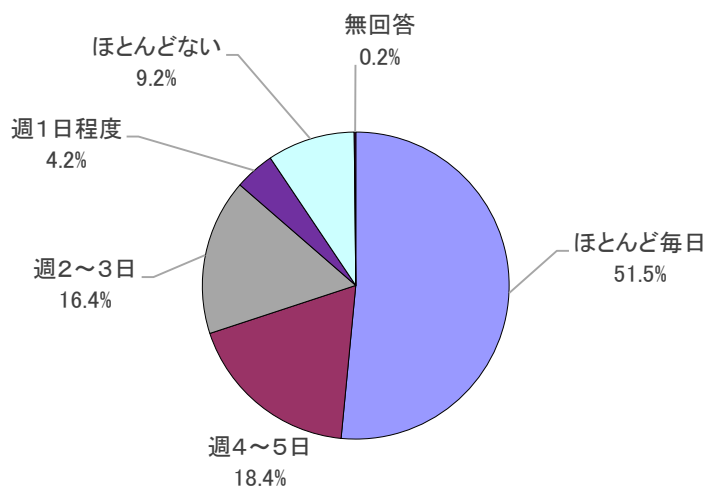
問2

あなたは、1日2回以上、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせる食べることが、週に何日ありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 ほとんど毎日
- 2 週4～5日
- 3 週2～3日
- 4 週1日程度
- 5 ほとんどない

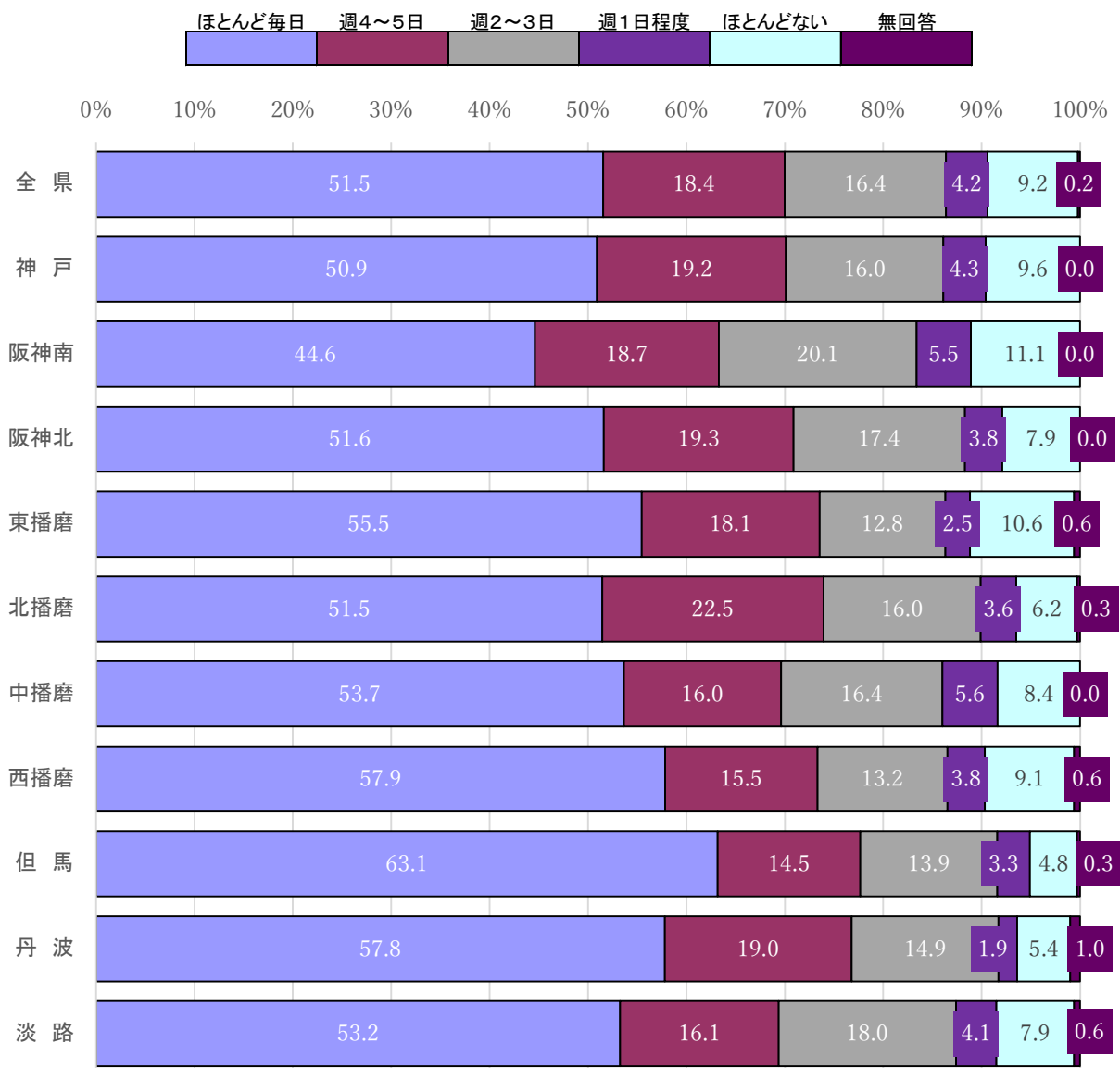
【全県】

「ほとんど毎日 (51.5%)」が最も多く、次いで「週4～5日(18.4%)」「週2～3日(16.4%)」「ほとんどない(9.2%)」と続き、最も回答の少ないものは「週1日程度(4.2%)」であった。



【地域別】

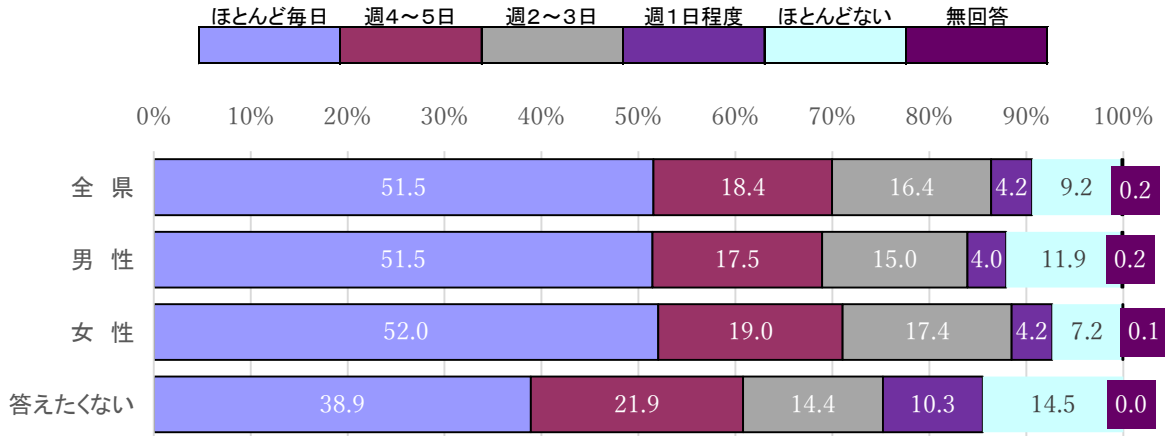
全県において最も回答の多い「ほとんど毎日」は、但馬で最も多く（63.1%）、次いで西播磨（57.9%）、丹波（57.8%）が多い。



栄養バランスに配慮した食生活

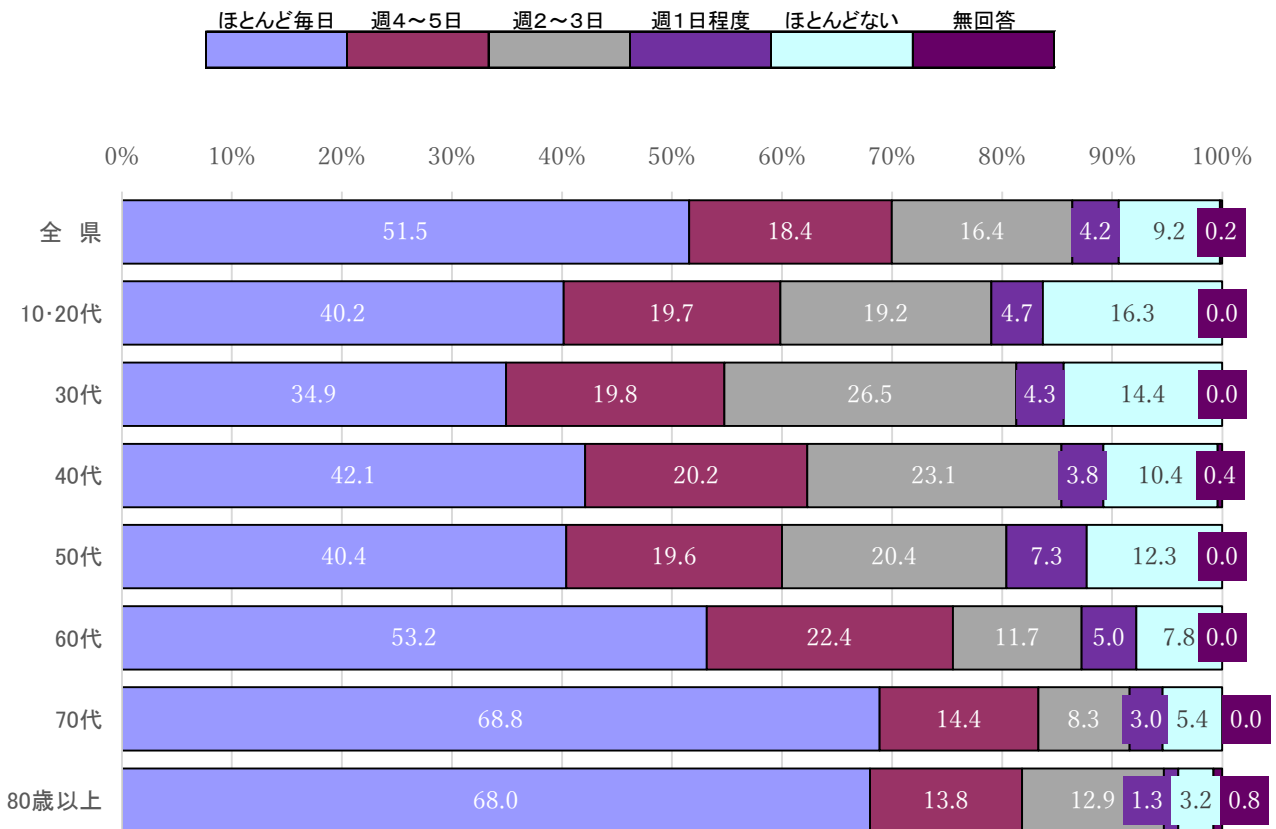
【性別】

男女とも「ほとんど毎日」が最も多く、女性が男性よりも 0.5 ポイント多い（男性 51.5%、女性 52.0%）。



【年代別】

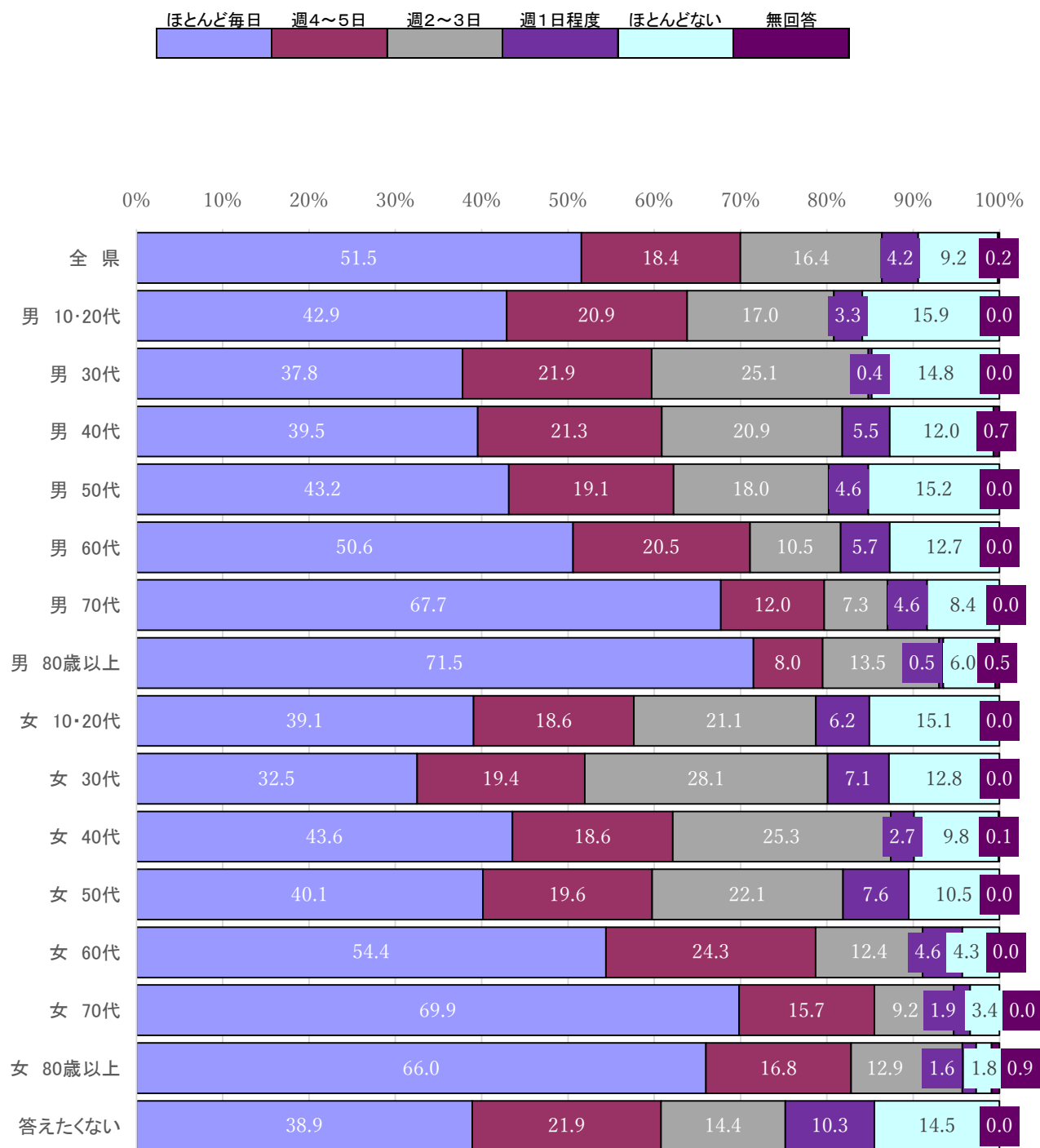
全年代とも「ほとんど毎日」が最も多く、70代(68.8%)で最も多かった。



栄養バランスに配慮した食生活

【性・年代別】

全県において最も回答の多い「ほとんど毎日」は、男性は80歳以上（71.5%）が最も多く、女性は70代（69.9%）が最も多い。続く「週4～5日」は、男性は30代（21.9%）、女性は60代（24.3%）が最も多い。



共食の状況

問3 共食の状況

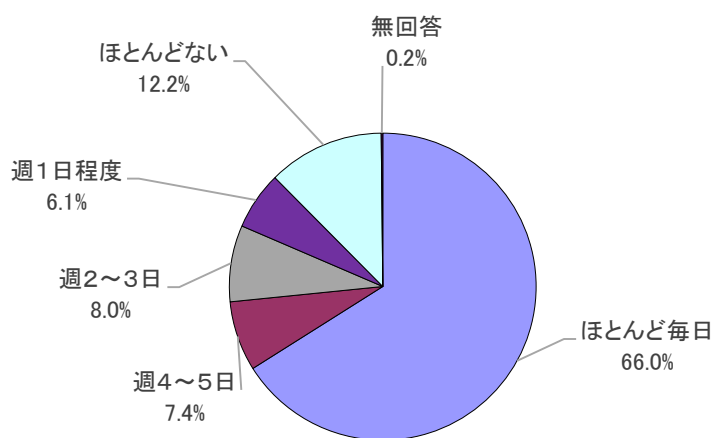
問3

あなたは、1日1回以上、家族や友人と食事をする機会が週に何日ありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 ほとんど毎日
- 2 週4～5日
- 3 週2～3日
- 4 週1日程度
- 5 ほとんどない

【全県】

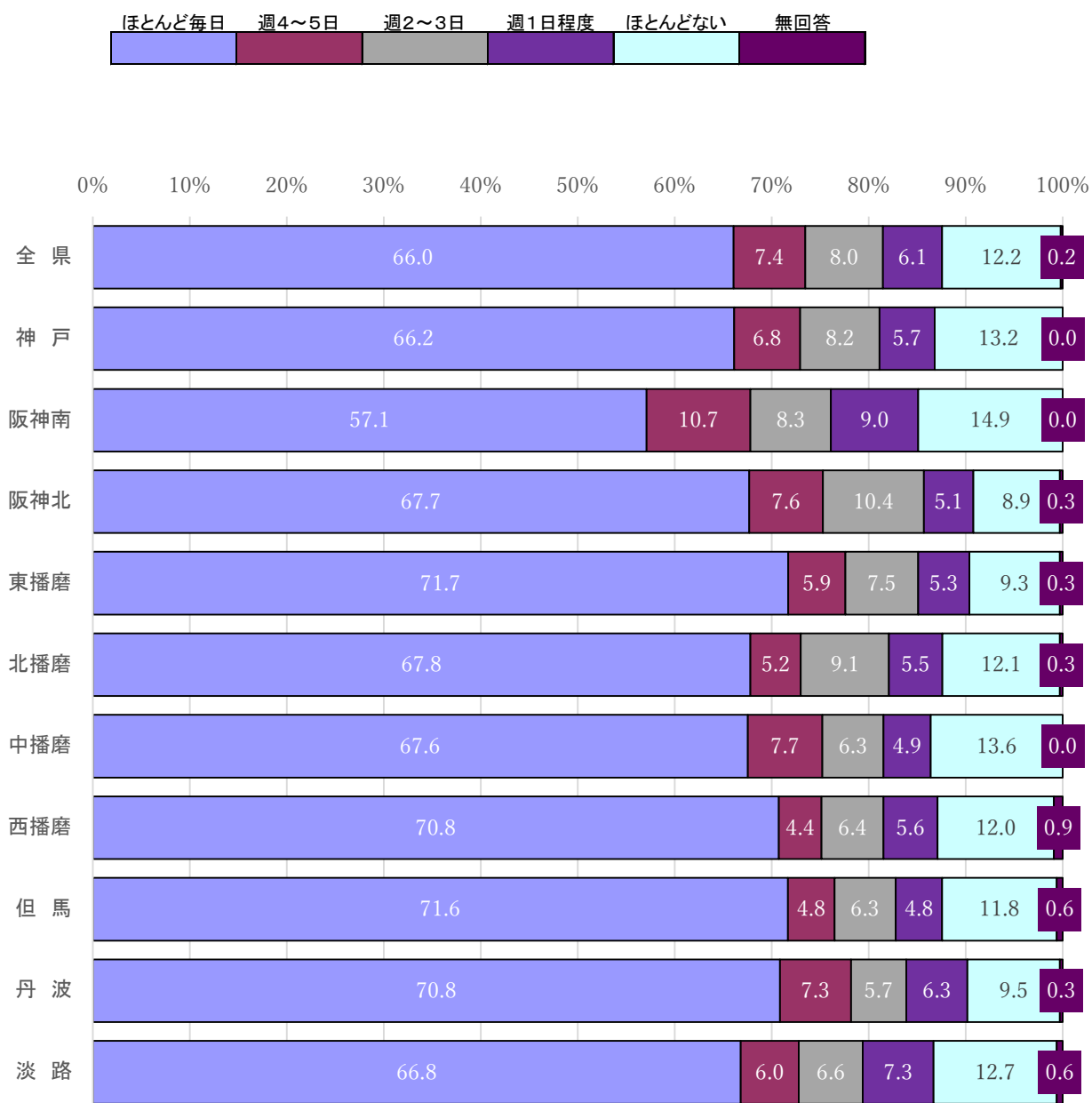
「ほとんど毎日 (66.0%)」が最も多く、次いで「ほとんどない(12.2%)」「週2～3日(8.0%)」「週4～5日(7.4%)」と続き、最も回答の少ないものは「週1日程度(6.1%)」であった。



共食の状況

【地域別】

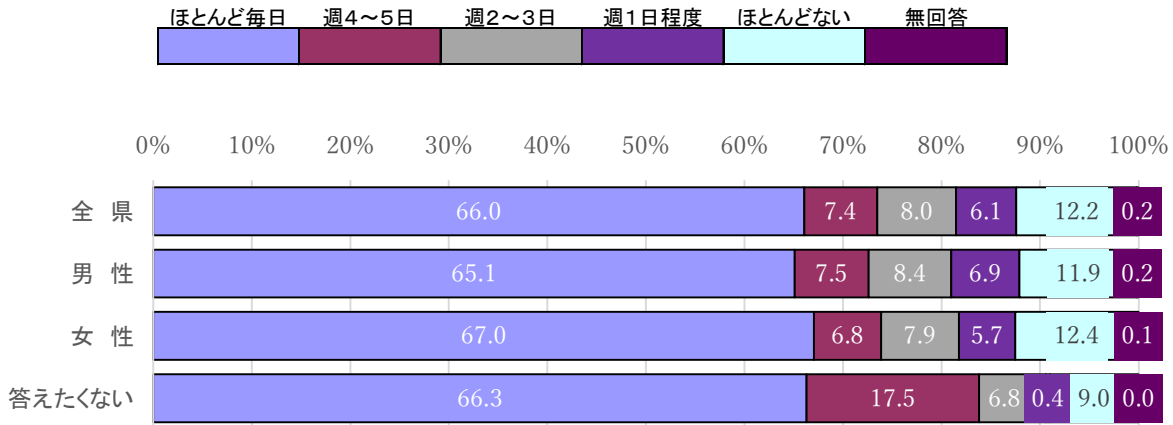
全県において最も回答の多い「ほとんど毎日」は、東播磨で最も多く（71.7%）、次いで但馬（71.6%）、西播磨、丹波（西播磨、丹波ともに70.8%）が多い。



共食の状況

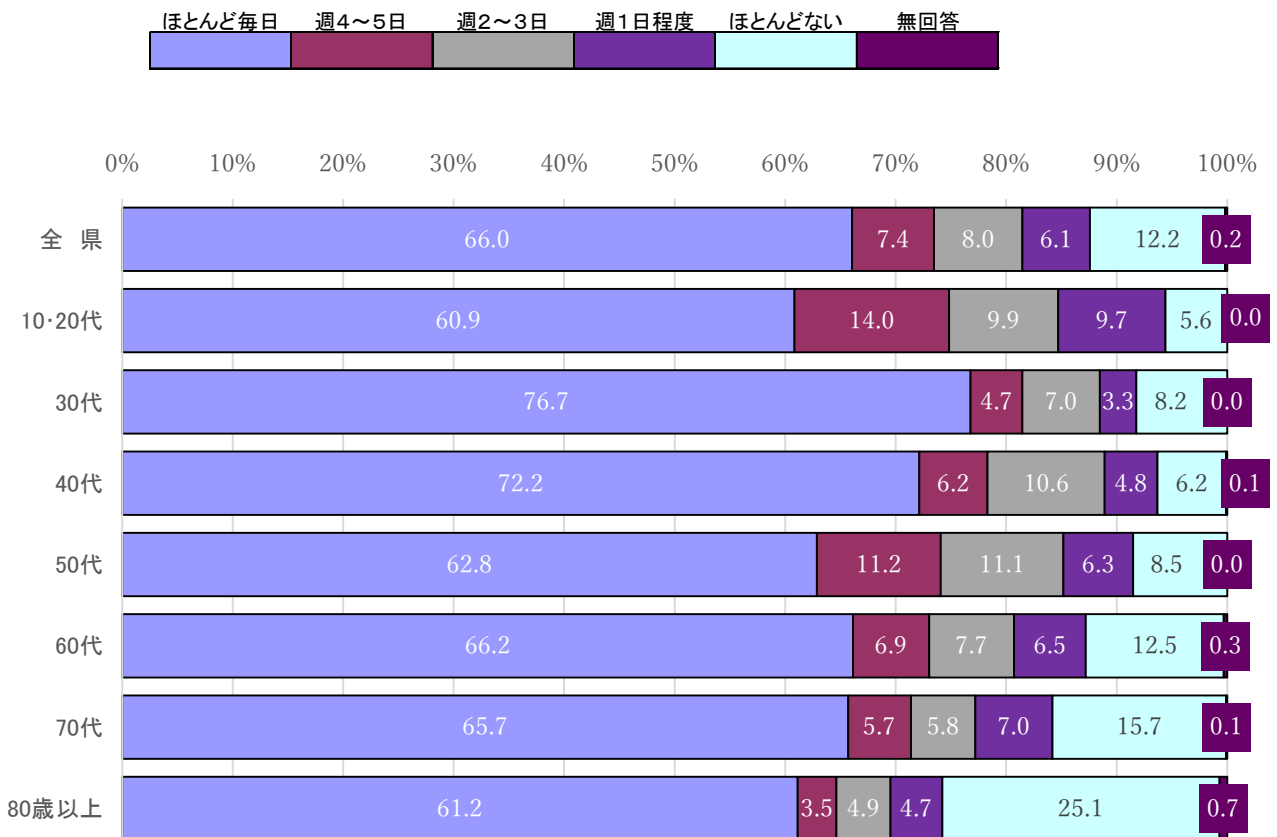
【性別】

男女とも「ほとんど毎日」が最も多く、女性が男性よりも 1.9 ポイント多い（男性 65.1%、女性 67.0%）。



【年代別】

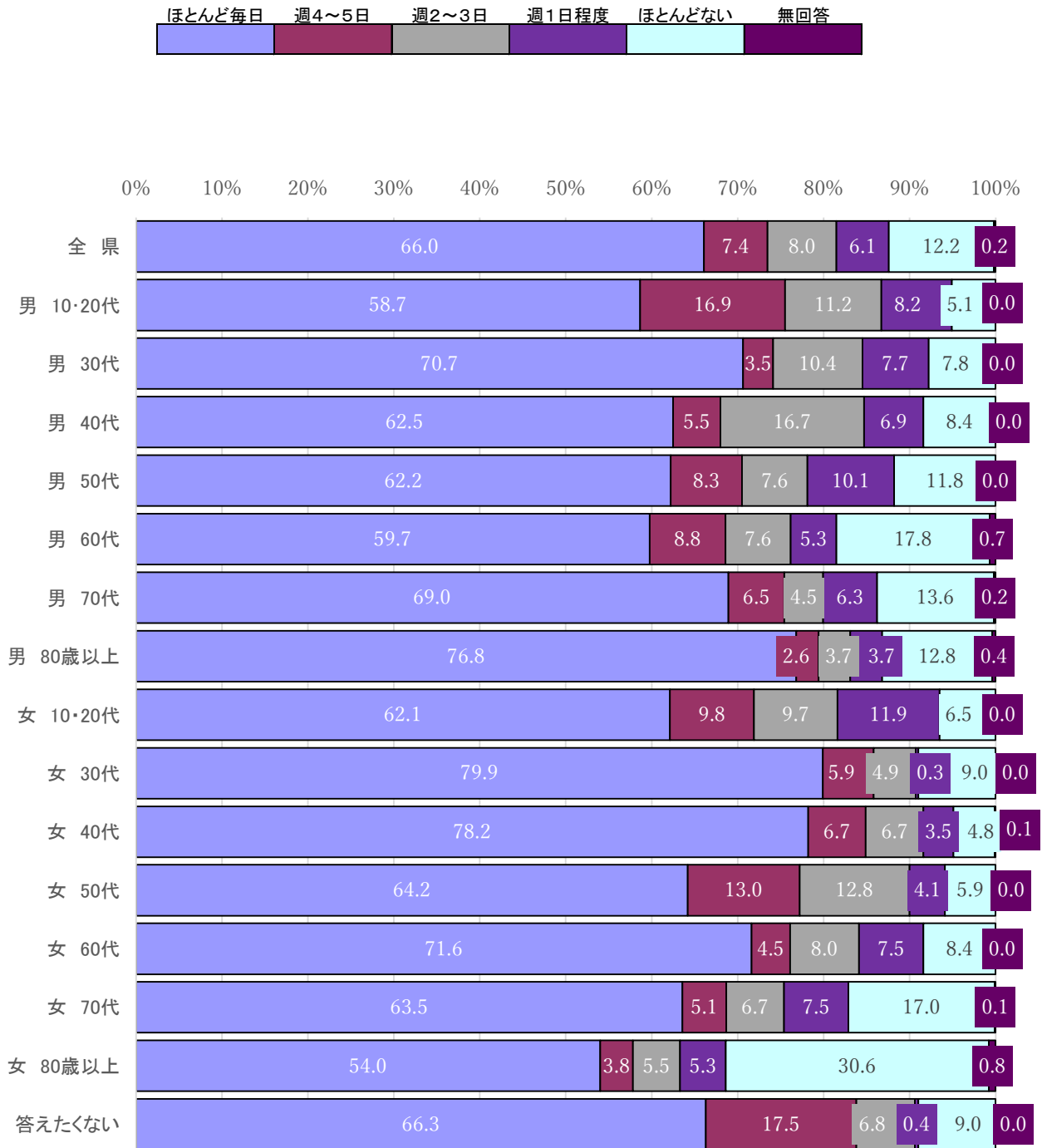
全年代とも「ほとんど毎日」が最も多く、30代(76.7%)で最も多い。



共食の状況

【性・年代別】

全県において最も回答の多い「ほとんど毎日」は、男性は80歳以上(76.8%)、女性は30代(79.9%)が最も多い。続く「ほとんどない」は、男性は60代(17.8%)、女性は80歳以上(30.6%)が最も多い。



環境に配慮した食品選択

2 環境と調和のとれた消費行動について

問4 環境に配慮した食品選択

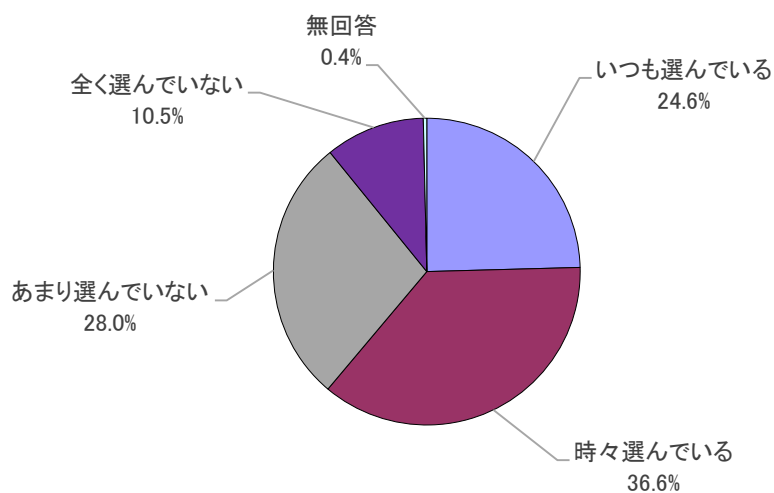
問4

あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 いつも選んでいる
- 2 時々選んでいる
- 3 あまり選んでいない
- 4 全く選んでいない

【全県】

「いつも選んでいる (24.6%)」と、「時々選んでいる (36.6%)」を合わせた『選んでいる』は61.2%で、「あまり選んでいない (28.0%)」と、「全く選んでいない (10.5%)」を合わせた『選んでいない』は、38.5%となった。

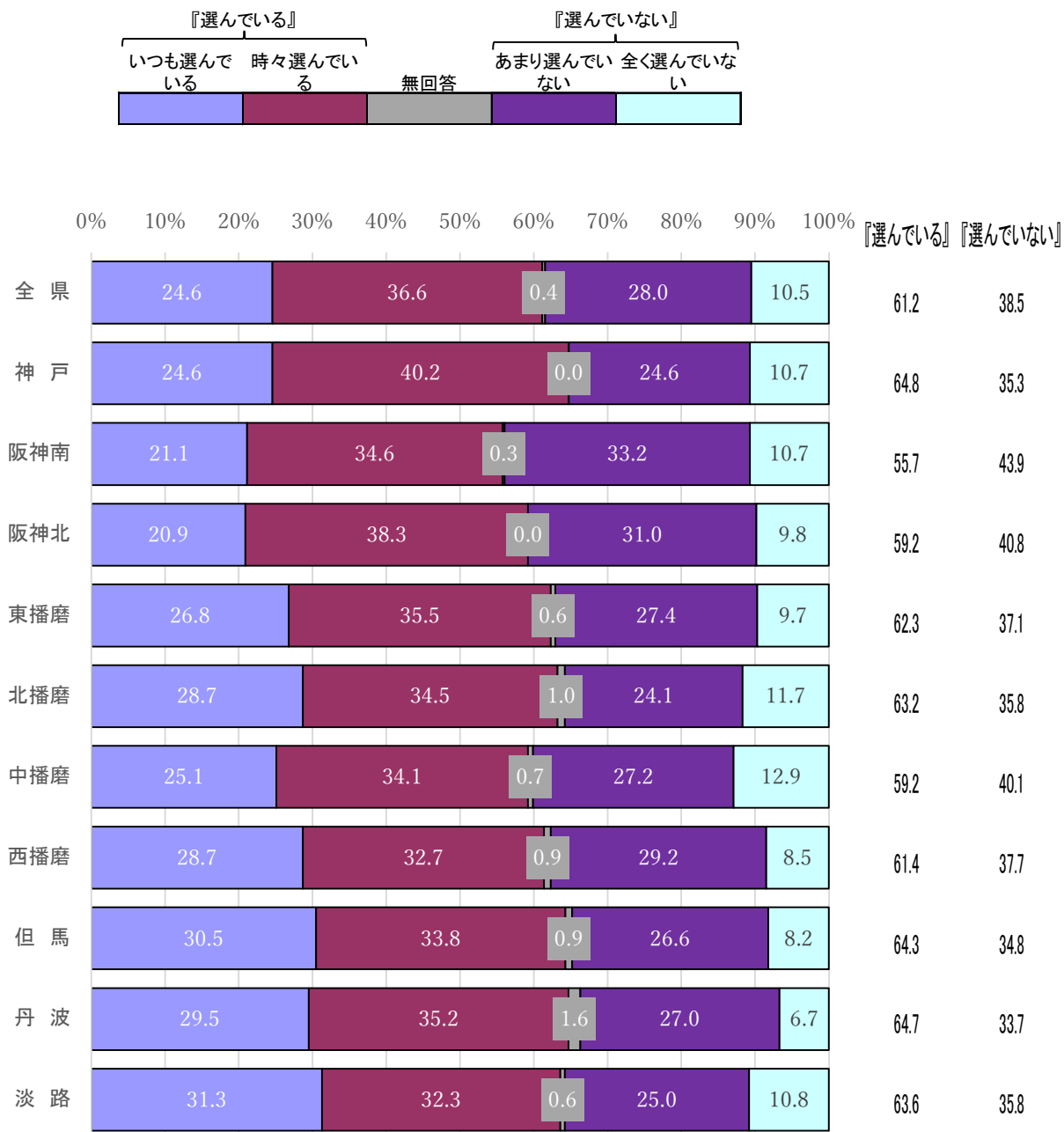


「いつも選んでいる」+「時々選んでいる」 =『選んでいる』	61.2%
「あまり選んでいない」+「全く選んでいない」 =『選んでいない』	38.5%

環境に配慮した食品選択

【地域別】

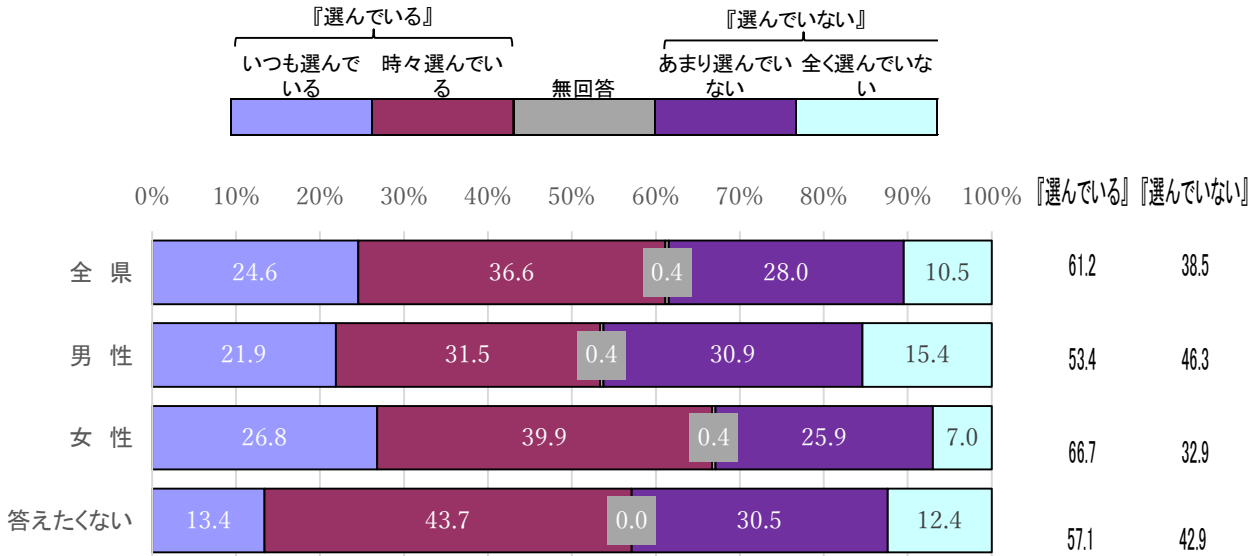
『選んでいる』は神戸（64.8%）が最も多く、次いで丹波（64.7%）、但馬（64.3%）が多い。



環境に配慮した食品選択

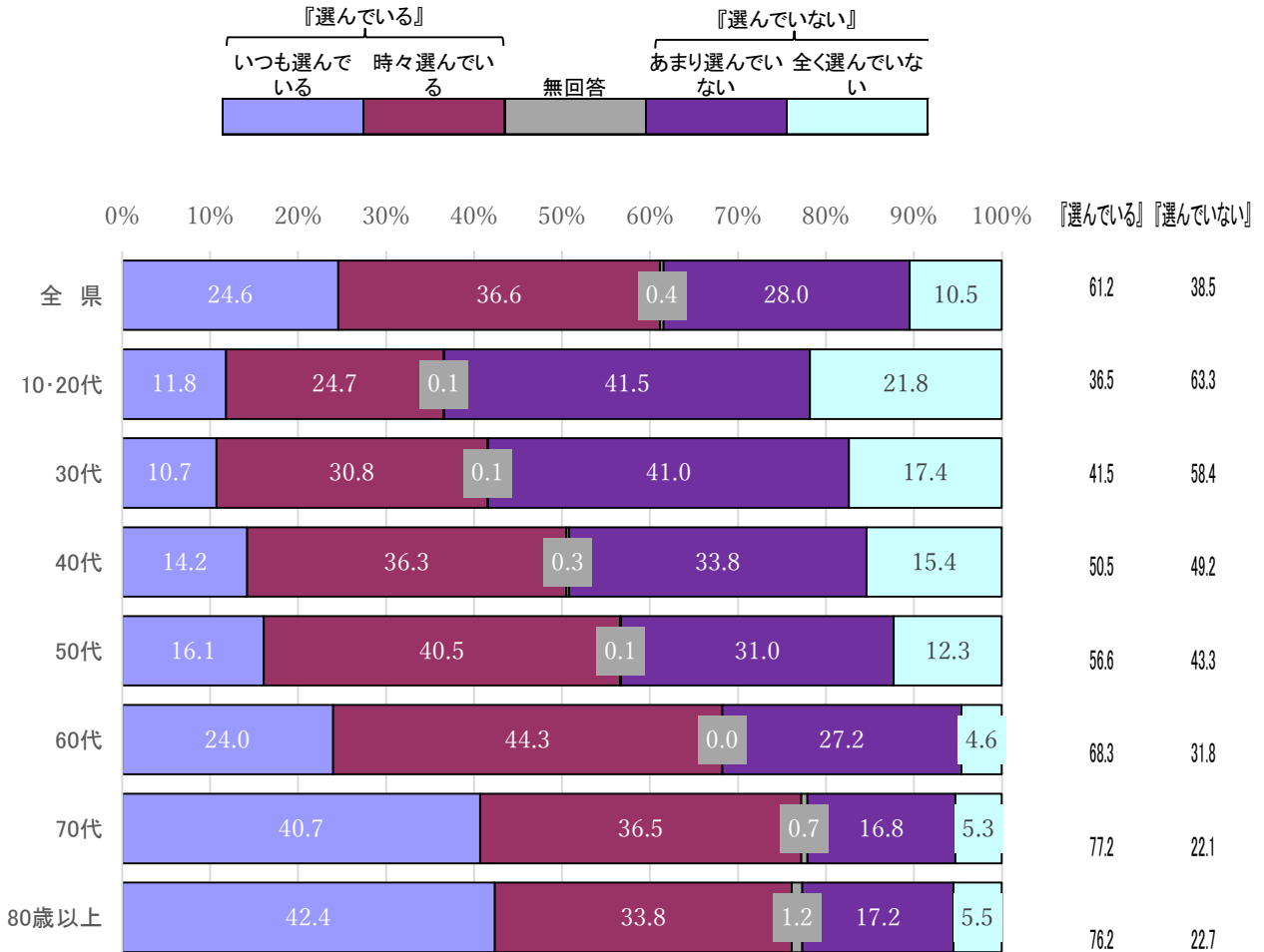
【性別】

『選んでいる』は、女性が男性よりも13.3ポイント多い（男性53.4%、女性66.7%）。



【年代別】

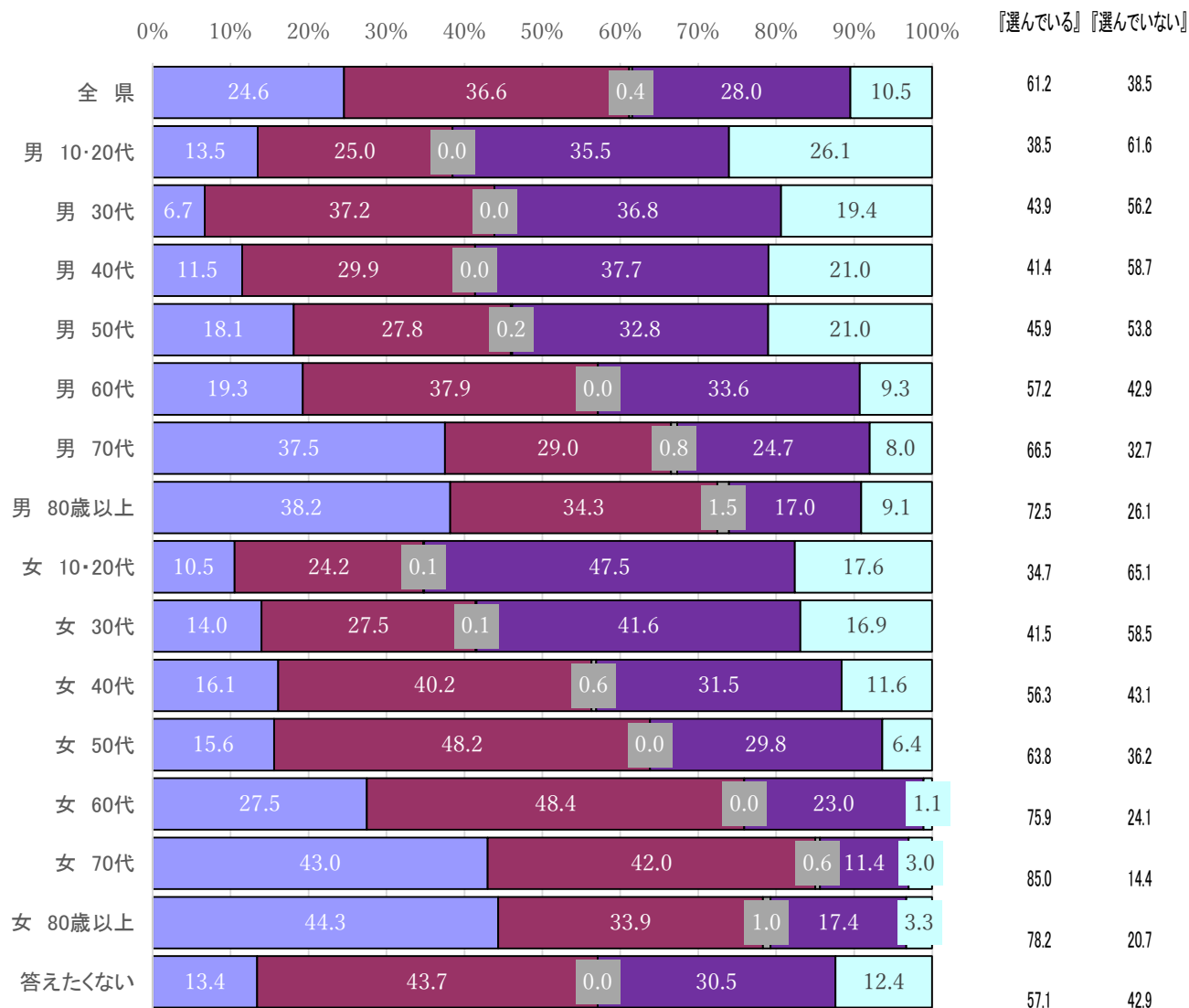
『選んでいる』は、70代（77.2%）が最も多く、次いで80歳以上（76.2%）、60代（68.3%）が多い。



環境に配慮した食品選択

【性・年代別】

『選んでいる』は、男性は80歳以上（72.5%）、女性は70代（85.0%）が最も多い。



問5 食品ロス削減のための取り組み

問5

あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 2 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する
- 3 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する
- 4 食べないものはフードバンクに寄付する
- 5 フードシェアリングサービス※を活用し、賞味・消費期限が近い商品を購入する
- 6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 7 野菜の皮を薄くむく、皮ごと料理に使うなど、なるべく廃棄部分を出さない
- 8 残さずに食べる
- 9 冷凍保存を活用する
- 10 残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)
- 11 外食時には、小盛りメニュー等、希望に沿った量に調整してもらう
- 12 外食時に食べきれなかった料理を持ち帰る
- 13 その他
- 14 取り組んでいることはない

【※フードシェアリングサービスとは】

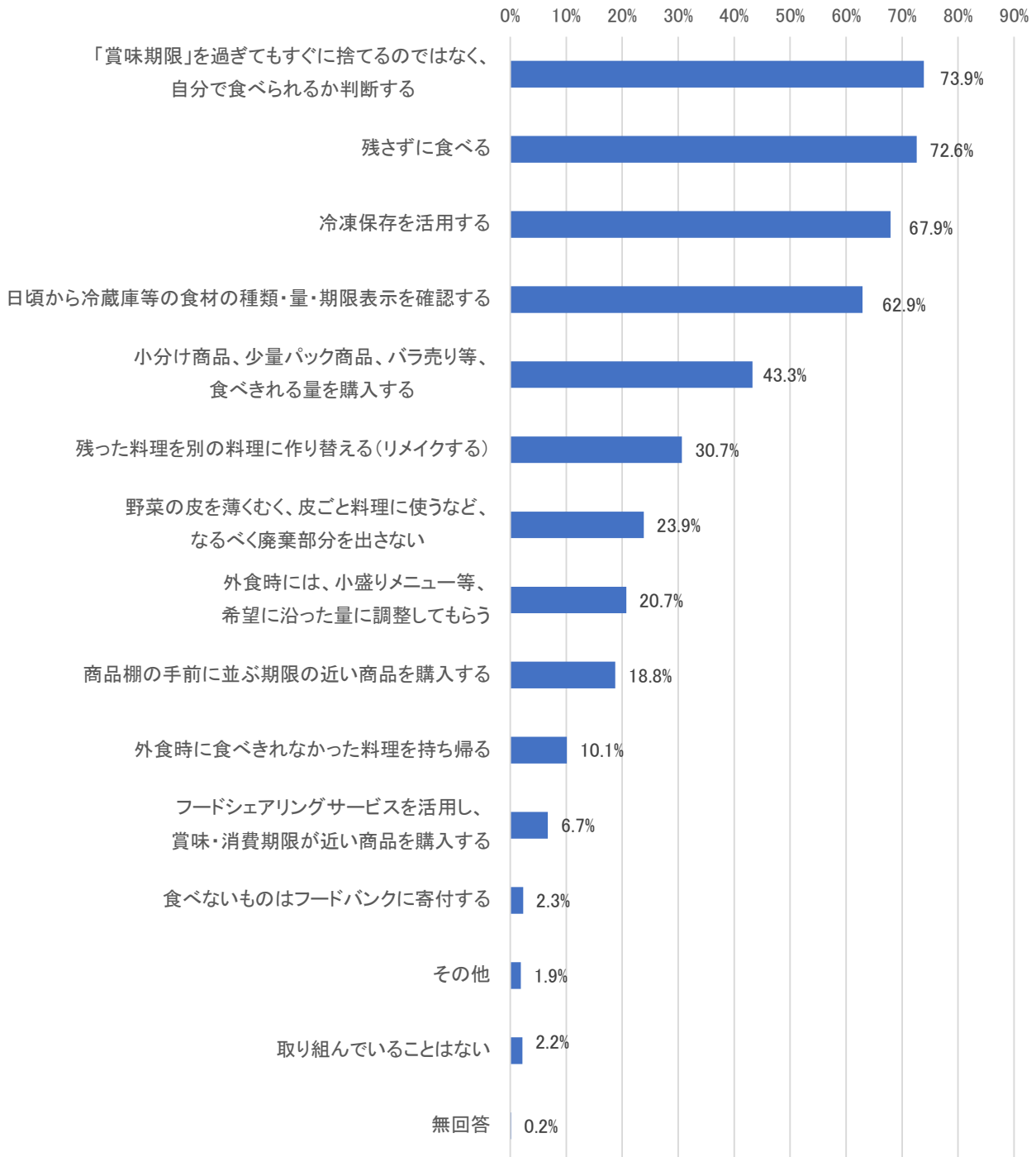
賞味・消費期限が近いなどの理由で売り切りたい商品のある店と、お得に購入したい利用者をマッチングするサービス。

食品ロス削減のための取り組み

【全県】

「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する(73.9%)」が最も多く、「残さず食べる(72.6%)」、「冷凍保存を活用する(67.9%)」が続いている。

(%)



食品ロス削減のための取り組み

【地域別】

全県において最も回答の多い「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」は中播磨（76.7%）が最も多く、次いで阪神北（76.6%）、淡路（75.6%）が多い。

区分	「賞味期限」を過ぎても自分で食べられるか判断する	残さずに食べる	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	小分け商品、少量パック商品、少量販売商品、食べきれぬ量を購入する	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	野菜の皮を薄くむく、皮ごと料理に使うなど、なるべく廃棄部を出さない	等、希望に沿った量に調整してもらう	商品を購入する前に並ぶ期限の近い商品を購入する	外食時には、小盛りメニュー等、希望に沿った量に調整してもらう	商品を購入する前に並ぶ期限の近い商品を購入する	外食時に食べきれなかった料理を持ち帰る	最大値	最小値	（%）	
													フードサービスを購入する	賞味・消費期限が近い食品を購入する		食べないものはフードバンクに寄付する
全県	73.9	72.6	67.9	62.9	43.3	30.7	23.9	20.7	18.8	10.1	6.7	2.3	1.9	2.2	0.2	
地域別	神戸	73.3	74.7	69.4	62.3	45.2	30.6	27.4	23.1	22.8	11.7	6.8	3.6	2.1	2.1	0.0
	阪神南	72.3	69.6	66.4	66.1	39.8	32.2	23.9	22.1	18.7	6.2	8.0	2.1	2.4	2.4	0.0
	阪神北	76.6	75.9	71.8	63.3	43.7	28.2	22.2	19.6	16.8	8.2	6.6	0.3	1.6	1.9	0.3
	東播磨	74.5	71.0	67.0	61.4	44.5	31.8	23.7	24.0	19.6	12.5	6.2	2.5	2.2	2.5	0.0
	北播磨	73.6	71.0	66.1	66.8	47.9	27.4	18.9	14.7	17.3	11.4	6.5	2.9	2.6	2.6	0.3
	中播磨	76.7	74.6	67.2	61.3	40.4	34.5	22.3	18.5	14.3	9.8	5.6	2.1	0.3	1.7	0.3
	西播磨	70.5	69.6	64.3	59.1	42.1	26.0	19.9	16.1	14.9	11.4	5.6	2.9	2.0	1.8	0.9
	但馬	72.5	68.3	66.2	58.0	45.3	30.5	20.2	11.5	13.6	10.6	6.6	0.6	0.3	2.1	0.6
	丹波	70.2	72.1	62.5	63.8	41.9	28.9	21.9	16.5	15.9	10.8	4.8	2.2	2.5	1.3	1.0
	淡路	75.6	69.6	66.1	62.7	42.7	28.2	22.5	14.9	16.5	14.9	8.9	0.9	1.3	2.5	0.6
地域間の差	6.5	7.6	9.3	8.8	8.1	8.5	8.5	12.5	9.2	8.7	4.1	3.3	2.3	1.3	1.0	

食品ロス削減のための取り組み

【性別】

男性では、「残さずに食べる（76.3%）」が最も多く、女性では、「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する（77.9%）」が最も多い。

区分	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるか判断する	残さずに食べる	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれぬ量を購入する	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	野菜の皮を薄くむく、皮ごと料理に使うなど、なるべく廃棄部を出さない	外食時には、小盛りメニュー等、希望に沿った量に調整してもらう	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	外食時に食べきれなかった料理を持ち帰る	フードシェアリングサービスを活用し、賞味・消費期限が近い商品を購入する	食べないものはフードバンクに寄付する	その他	取り組んでいることはない	無回答	(%)	
全 県	73.9	72.6	67.9	62.9	43.3	30.7	23.9	20.7	18.8	10.1	6.7	2.3	1.9	2.2	0.2		
性別	男性	68.4	76.3	59.9	52.5	38.6	19.6	14.7	12.5	18.9	7.3	5.3	0.9	1.2	3.1	0.3	
	女性	77.9	70.7	73.8	70.5	46.7	38.5	30.2	26.7	18.8	12.0	7.9	3.3	2.5	1.2	0.1	
	答えたくない	73.4	63.0	62.5	56.2	37.5	31.7	23.6	17.2	21.7	11.3	4.4	4.8	0.0	11.0	0.0	
性別間の差	9.5	5.6	13.9	18.0	8.1	18.9	15.5	14.2	0.1	4.7	2.6	2.4	1.3	1.9	0.2		

【年代別】

10・20代から40代では、「残さずに食べる」が最も多く、50代から80歳以上では、「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が最も多い。

区分	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるか判断する	残さずに食べる	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれぬ量を購入する	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	野菜の皮を薄くむく、皮ごと料理に使うなど、なるべく廃棄部を出さない	外食時には、小盛りメニュー等、希望に沿った量に調整してもらう	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	外食時に食べきれなかった料理を持ち帰る	フードシェアリングサービスを活用し、賞味・消費期限が近い商品を購入する	食べないものはフードバンクに寄付する	その他	取り組んでいることはない	無回答	最大値	最小値	(%)
全 県	73.9	72.6	67.9	62.9	43.3	30.7	23.9	20.7	18.8	10.1	6.7	2.3	1.9	2.2	0.2			
年代別	10・20代	64.2	74.5	54.2	51.5	29.9	22.6	12.9	15.9	26.3	9.7	5.2	1.7	0.1	3.4	0.0		
	30代	72.4	78.2	64.6	60.3	41.6	30.1	16.0	19.6	25.2	9.1	5.7	0.9	0.4	3.4	0.1		
	40代	72.7	76.6	64.0	60.1	33.6	33.1	18.6	15.1	22.1	11.1	5.3	1.5	1.3	2.7	0.1		
	50代	73.7	72.0	70.3	59.4	35.7	33.7	22.3	16.9	19.5	8.7	7.6	2.9	1.8	3.3	0.0		
	60代	76.4	73.0	73.1	66.0	51.6	30.8	26.4	21.5	17.3	12.3	4.8	4.5	1.5	1.1	0.1		
	70代	77.3	72.8	70.6	68.7	49.8	32.6	29.7	30.0	13.4	9.2	10.2	2.6	2.3	1.0	0.0		
	80歳以上	75.2	64.6	70.6	68.1	53.4	27.7	33.1	21.8	15.2	10.5	6.7	0.6	4.9	1.5	0.9		
年代間の差	13.1	13.6	18.9	17.2	23.5	11.1	20.2	14.9	12.9	3.6	5.4	3.9	4.8	2.4	0.9			

食品ロス削減のための取り組み

【性・年代別】

男性では、60代と80歳以上で『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が最も多く、60代と80歳以上を除く各年代で「残さずに食べる」が最も多い。女性では、10・20代を除く各年代で『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が最も多く、10・20代では「残さずに食べる」が最も多い。

区分	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるか判断する	残さずに食べる	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べられる量を購入する	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	野菜の皮を薄くむく、皮ごと料理に出さない	等、希望に沿った量に調整してもらおう	外食時には、小盛りメニュー商品を購入する	商品棚の手に並ぶ期限の近い商品を購入する	外食時に食べきれなかった料理を持ち帰る	最大値	最小値	取り組んでいることはない	無回答	
												食品ロス削減が近い	(%)			
全 県	73.9	72.6	67.9	62.9	43.3	30.7	23.9	20.7	18.8	10.1	6.7	2.3	1.9	2.2	0.2	
男性・年代別	10・20代	57.9	77.0	42.9	44.5	32.3	15.6	14.7	14.0	29.4	9.3	6.0	0.0	0.2	1.7	0.0
	30代	65.4	89.7	54.0	49.1	35.6	21.9	14.1	6.8	29.5	5.8	6.6	0.3	0.0	2.4	0.0
	40代	70.8	86.1	58.2	52.9	27.8	26.2	11.8	5.4	21.8	6.9	4.3	0.1	0.0	2.1	0.0
	50代	59.5	72.5	62.9	45.3	33.8	18.5	5.8	11.0	20.4	5.8	6.4	3.1	1.3	5.9	0.0
	60代	71.5	71.4	66.7	57.0	47.2	16.2	16.6	13.5	16.9	7.8	3.1	0.7	0.2	2.7	0.2
	70代	76.7	77.9	61.1	55.8	42.0	23.2	19.8	20.4	10.3	9.6	6.5	0.7	1.7	2.3	0.0
	80歳以上	71.6	63.4	65.1	61.1	47.9	13.9	21.3	11.5	13.3	5.2	4.4	0.3	5.3	3.6	1.7
男性・年代間の差	18.8	26.3	23.8	16.6	20.1	12.3	15.5	15.0	19.2	4.4	3.5	3.1	5.3	4.2	1.7	
女性・年代別	10・20代	67.1	71.5	62.3	56.0	26.9	27.5	11.2	13.5	24.3	10.9	4.1	3.3	0.0	5.2	0.0
	30代	77.3	71.1	71.5	67.9	45.6	36.6	16.9	29.0	21.7	11.1	5.3	1.4	0.8	3.4	0.1
	40代	74.5	69.9	67.5	65.8	37.7	37.4	23.2	22.4	22.4	14.5	6.1	2.5	2.3	2.4	0.1
	50代	84.6	73.6	76.4	69.5	37.7	45.0	34.0	21.6	19.0	11.3	9.0	1.9	2.3	0.4	0.0
	60代	79.7	74.0	79.2	74.3	54.4	41.7	33.4	28.0	17.0	14.6	6.2	7.5	2.5	0.0	0.0
	70代	78.1	69.7	77.3	77.6	55.5	39.6	36.8	37.2	15.8	9.0	12.5	4.1	2.8	0.0	0.0
	80歳以上	77.4	65.1	74.0	71.7	56.8	34.4	38.8	27.1	16.3	12.9	7.9	0.7	4.8	0.6	0.5
女性・年代間の差	17.5	8.9	16.9	21.6	29.9	17.5	27.6	23.7	8.5	5.6	8.4	6.8	4.8	5.2	0.5	
答えたくない	73.4	63.0	62.5	56.2	37.5	31.7	23.6	17.2	21.7	11.3	4.4	4.8	0.0	11.0	0.0	

食に関する情報源

3 食に関する情報について

問6 食に関する情報源

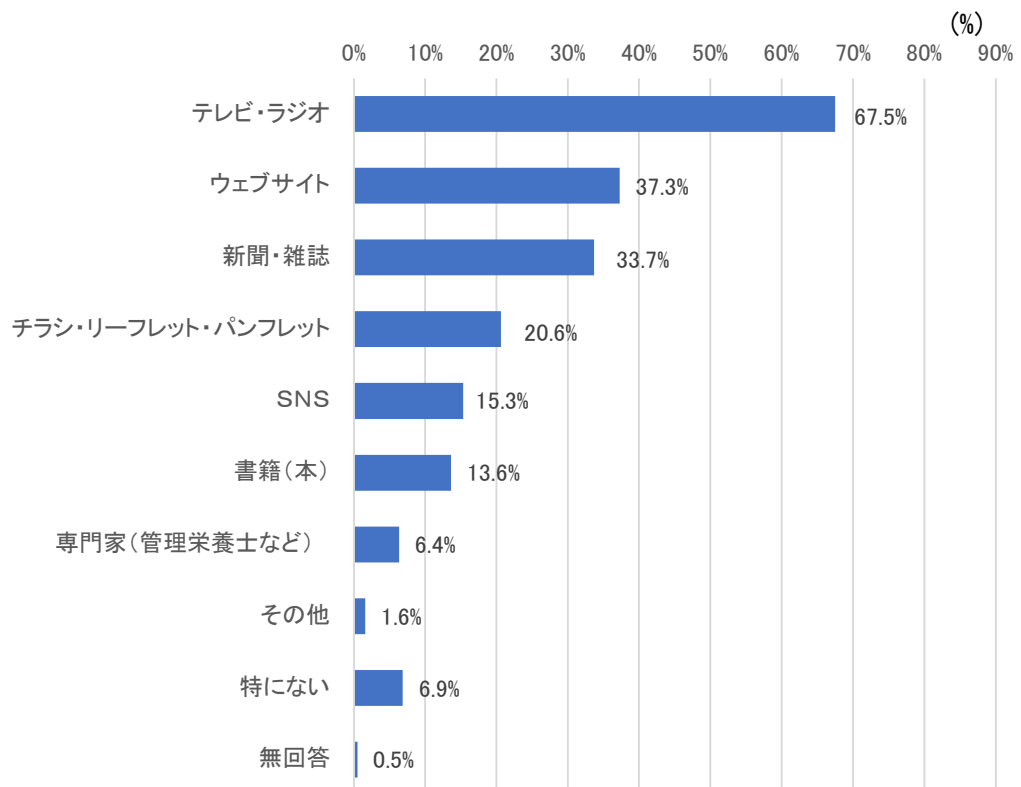
問6

あなたは、食に関する情報をどこから受け取りたいですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 テレビ・ラジオ
- 2 新聞・雑誌
- 3 書籍(本)
- 4 ウェブサイト
- 5 チラシ・リーフレット・パンフレット
- 6 SNS
- 7 専門家(管理栄養士など)
- 8 その他
- 9 特にない

【全県】

「テレビ・ラジオ (67.5%)」が最も多く、「ウェブサイト(37.3%)」、「新聞・雑誌(33.7%)」が続いている。



食に関する情報源

【地域別】

全県において最も回答の多い「テレビ・ラジオ」は、但馬で最も多く(71.9%)、次いで北播磨(71.7%)、丹波(70.2%)が多い。

区分		最大値											最小値											(%)
		テレビ・ラジオ	ウェブサイト	新聞・雑誌	チラシ・リーフレット・パンフ	SNS	書籍(本)	専門家(管理栄養士など)	その他	特になし	無回答													
全 県		67.5	37.3	33.7	20.6	15.3	13.6	6.4	1.6	6.9	0.5													
地域別	神 戸	68.7	40.2	34.9	21.0	13.5	15.3	8.2	2.5	6.0	0.7													
	阪神南	66.4	40.1	29.8	17.3	15.9	14.5	4.8	1.0	6.2	0.0													
	阪神北	65.8	42.1	32.0	20.3	19.0	13.0	7.0	1.3	6.0	0.6													
	東播磨	67.3	35.5	32.7	20.6	15.3	14.6	6.2	1.6	10.0	0.3													
	北播磨	71.7	25.4	37.5	18.2	10.4	12.7	4.9	1.6	8.1	0.3													
	中播磨	64.1	33.8	33.4	22.6	18.1	9.4	5.2	0.7	6.6	0.3													
	西播磨	69.3	31.3	36.8	24.9	12.9	11.7	5.6	0.9	7.9	1.8													
	但 馬	71.9	27.8	40.5	25.4	15.1	11.5	5.4	2.1	8.2	1.5													
	丹 波	70.2	27.3	44.8	23.2	14.6	13.0	6.3	2.2	5.7	1.0													
	淡 路	68.7	32.3	38.3	26.3	14.9	12.0	5.4	1.6	5.4	0.9													
地域間の差		7.8	16.7	15.0	9.0	8.6	5.9	3.4	1.8	4.6	1.8													

食に関する情報源

【性別】

男女ともに「テレビ・ラジオ」が最も多い（男性 62.3%、女性 71.7%）。

(%)

区分		テレビ・ラジオ	ウェブサイト	新聞・雑誌	チラシ・リーフレット・パンフ	SNS	書籍（本）	専門家（管理栄養士など）	その他	特になし	無回答
全 県		67.5	37.3	33.7	20.6	15.3	13.6	6.4	1.6	6.9	0.5
性別	男 性	62.3	39.1	30.2	15.3	11.6	8.7	3.6	1.3	9.8	0.5
	女 性	71.7	36.1	36.6	24.5	17.6	16.9	8.4	1.8	4.6	0.5
	答えたくない	53.2	46.6	20.0	8.6	25.7	18.1	5.3	2.0	14.2	0.0
性別間の差		9.4	3.0	6.4	9.2	6.0	8.2	4.8	0.5	5.2	0.0

食に関する情報源

【年代別】

全ての年代で「テレビ・ラジオ」が最も多い。

区分	テレビ・ラジオ	ウェブサイト	新聞・雑誌	チラシ・リーフレット・パンフ	SNS	最大値	専門家（管理栄養士など）	最小値	特 に ない	無 回 答	（%）
						書籍（本）		その他			
全 県	67.5	37.3	33.7	20.6	15.3	13.6	6.4	1.6	6.9	0.5	
年代別	10・20代	48.3	38.7	5.7	3.4	25.1	9.6	7.6	1.2	5.0	0.0
	30代	57.9	54.1	14.1	3.1	20.1	15.7	2.4	0.0	9.4	0.1
	40代	53.6	53.5	20.1	9.0	23.5	12.3	4.8	2.2	8.2	0.1
	50代	64.4	51.2	25.0	13.2	17.0	12.2	4.2	1.5	9.7	0.2
	60代	79.3	42.8	42.1	23.9	15.9	14.2	8.9	0.6	5.2	0.2
	70代	79.9	22.2	51.8	34.5	9.0	17.2	9.2	3.1	4.8	0.8
	80歳以上	72.7	5.3	55.2	41.3	2.6	12.0	5.5	1.6	6.6	1.9
年代間の差	31.6	48.8	49.5	38.2	22.5	7.6	6.8	3.1	4.9	1.9	

食に関する情報源

【性・年代別】

男女ともに、40代を除く各年代で「テレビ・ラジオ」が最も多く、40代では「ウェブサイト」が最も多い。

区分	テレビ・ラジオ	ウェブサイト	新聞・雑誌	チラシ・リーフレット・パンフ	SNS	最大値		最小値		無回答	
						書籍（本）	専門家（管理栄養士など）	その他	特にない		
全 県	67.5	37.3	33.7	20.6	15.3	13.6	6.4	1.6	6.9	0.5	
男性・年代別	10・20代	50.5	39.7	2.9	1.6	22.5	7.3	8.1	2.9	7.6	0.0
	30代	54.3	50.2	10.1	0.3	9.9	7.8	2.2	0.0	13.1	0.0
	40代	51.3	51.8	13.8	3.5	16.4	4.7	1.8	3.8	11.5	0.0
	50代	58.1	52.8	21.3	5.4	11.3	7.7	3.1	0.3	14.7	0.0
	60代	72.3	44.3	40.8	21.2	13.1	9.0	3.6	0.2	8.3	0.5
	70代	70.2	25.1	49.4	26.5	6.7	13.7	4.7	1.7	7.8	0.0
	80歳以上	70.1	7.4	55.0	41.7	4.2	8.0	2.0	0.5	5.0	3.3
男性・年代間の差	21.8	45.4	52.1	41.4	18.3	9.0	6.3	3.8	9.7	3.3	
女性・年代別	10・20代	49.2	36.3	8.4	5.1	24.3	12.4	6.1	0.0	2.6	0.0
	30代	59.5	57.3	16.2	5.2	25.9	20.2	2.8	0.0	7.3	0.1
	40代	54.5	55.1	24.6	12.5	28.5	17.6	7.1	0.7	6.1	0.1
	50代	70.9	50.2	28.7	19.3	21.6	14.6	5.2	2.5	4.7	0.4
	60代	84.5	41.2	43.1	26.3	18.5	18.5	13.1	0.9	2.6	0.0
	70代	86.7	20.4	53.3	40.1	10.8	19.6	12.4	4.0	2.7	1.4
	80歳以上	74.1	4.3	55.4	41.5	1.9	13.7	7.3	2.2	7.5	0.8
女性・年代間の差	37.5	53.0	47.0	36.4	26.6	7.8	10.3	4.0	4.9	1.4	
答えたくない	53.2	46.6	20.0	8.6	25.7	18.1	5.3	2.0	14.2	0.0	

非常時の食の備え

4 災害時も健康に過ごせる食育について

問7 非常時の食の備え

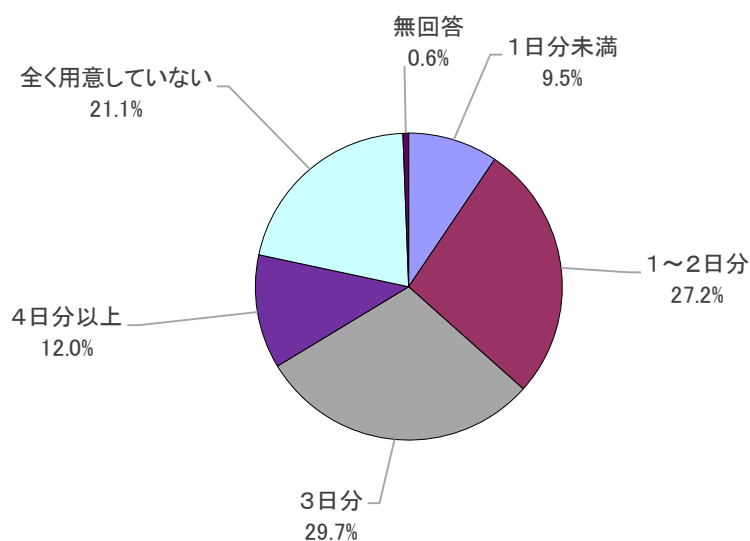
問7

あなたの世帯では、非常用の食料・飲料水を、世帯人数分として何日分を想定して用意していますか。
1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 1日分未満
- 2 1～2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上
- 5 全く用意していない

【全県】

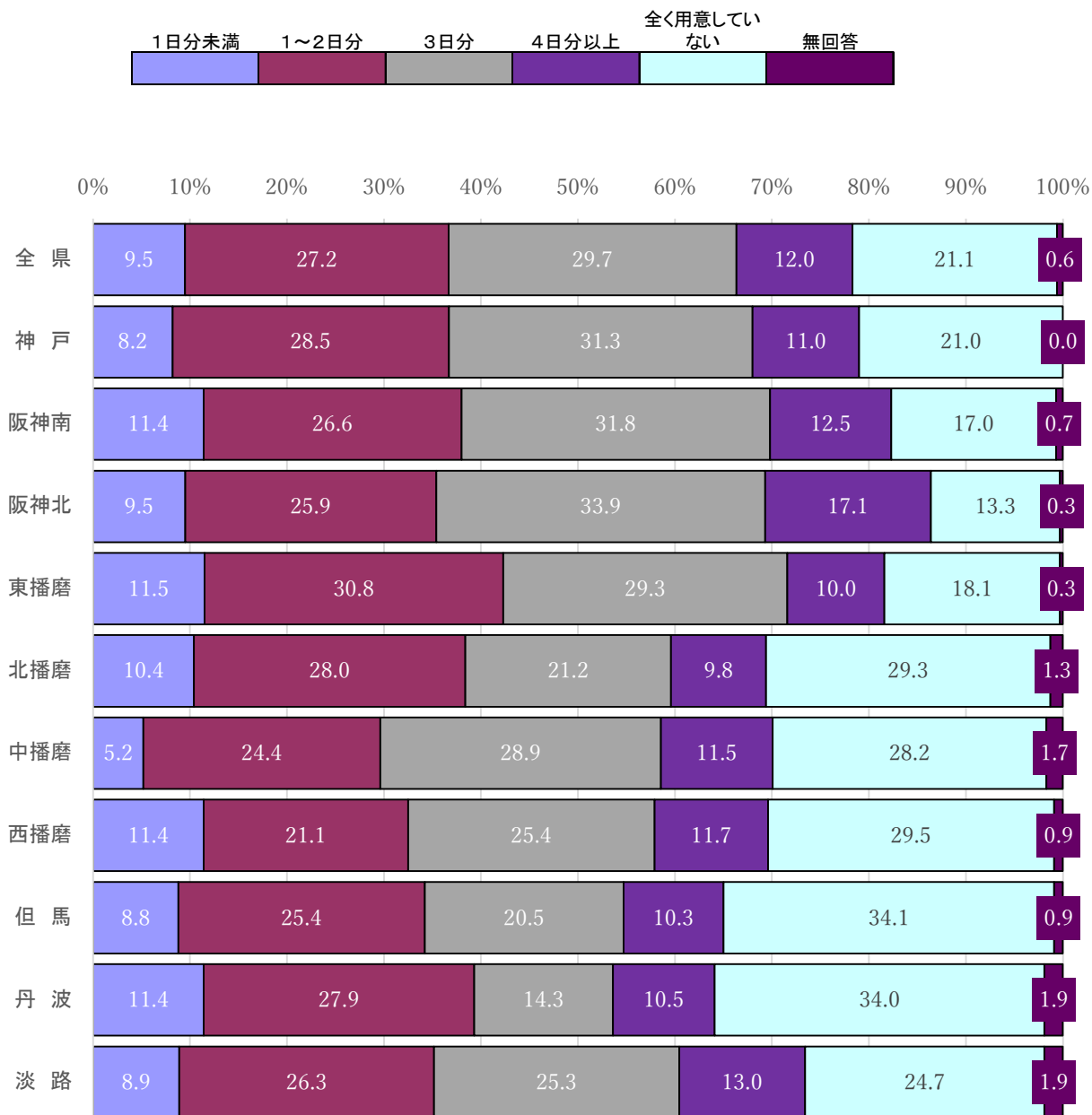
「3日分 (29.7%)」が最も多く、次いで「1～2日分(27.2%)」「全く用意していない(21.1%)」「4日分以上(12.0%)」と続き、最も回答の少ないものは「1日分未満(9.5%)」であった。



非常時の食の備え

【地域別】

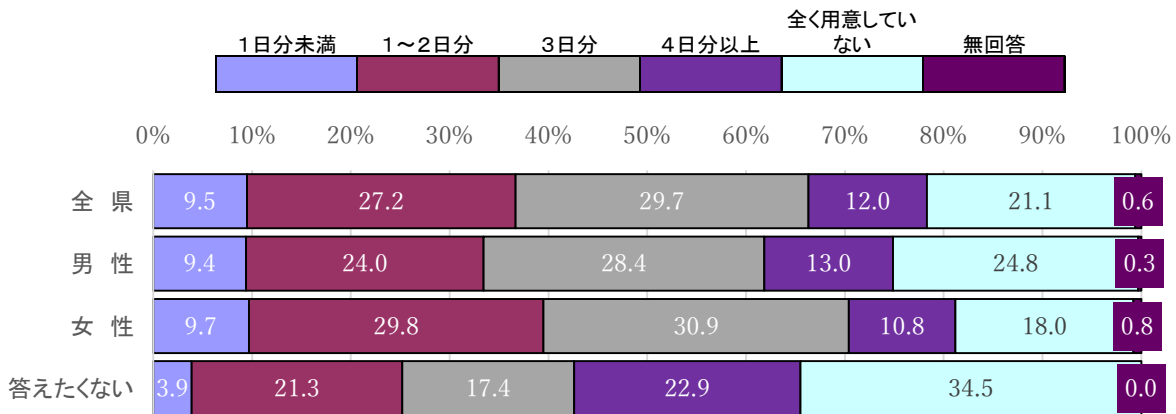
東播磨、淡路では「1～2日分」が最も多く、神戸、阪神南、阪神北、中播磨では「3日分」が最も多く、北播磨、西播磨、但馬、丹波では「全く用意していない」が最も多い。



非常時の食の備え

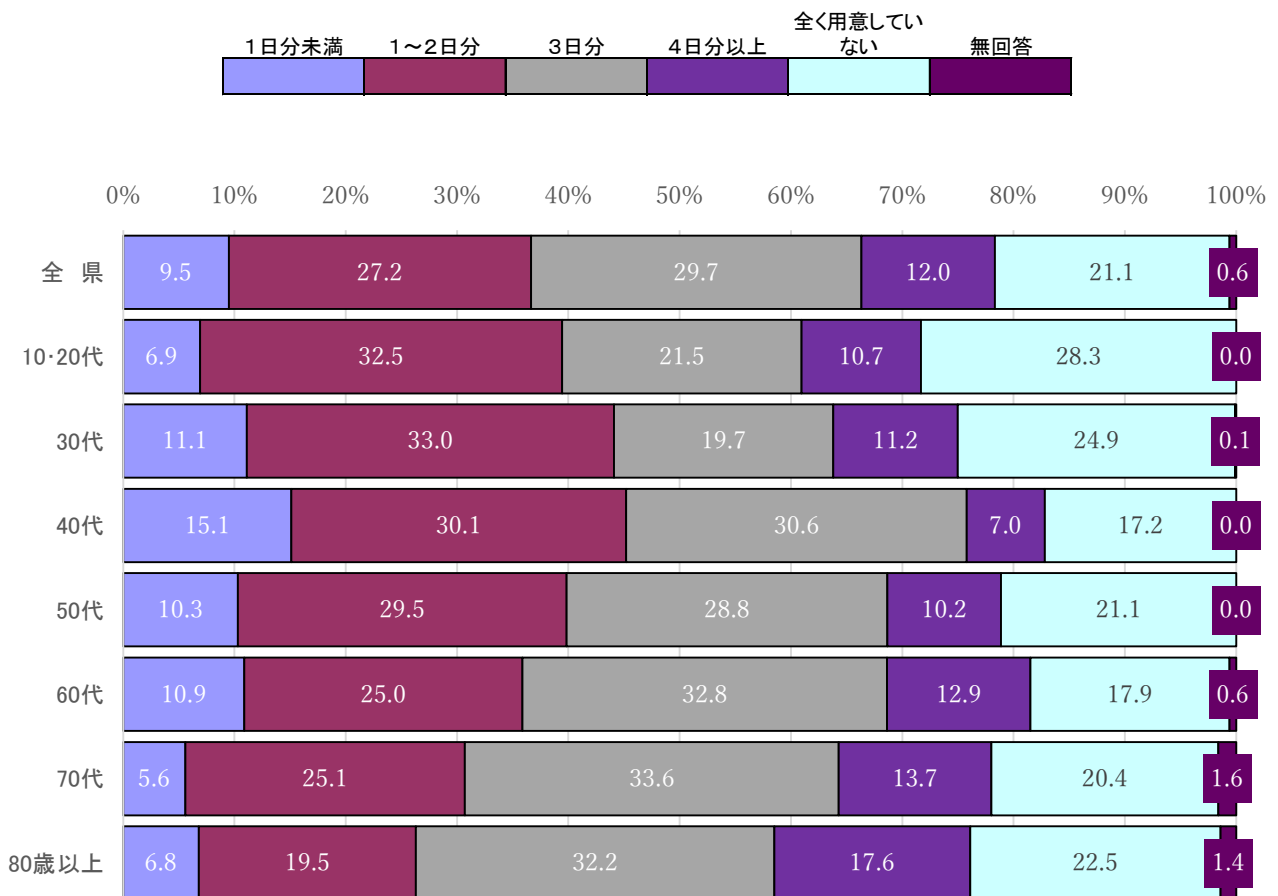
【性別】

男女ともに、「3日分」が最も多い（男性28.4%、女性30.9%）。



【年代別】

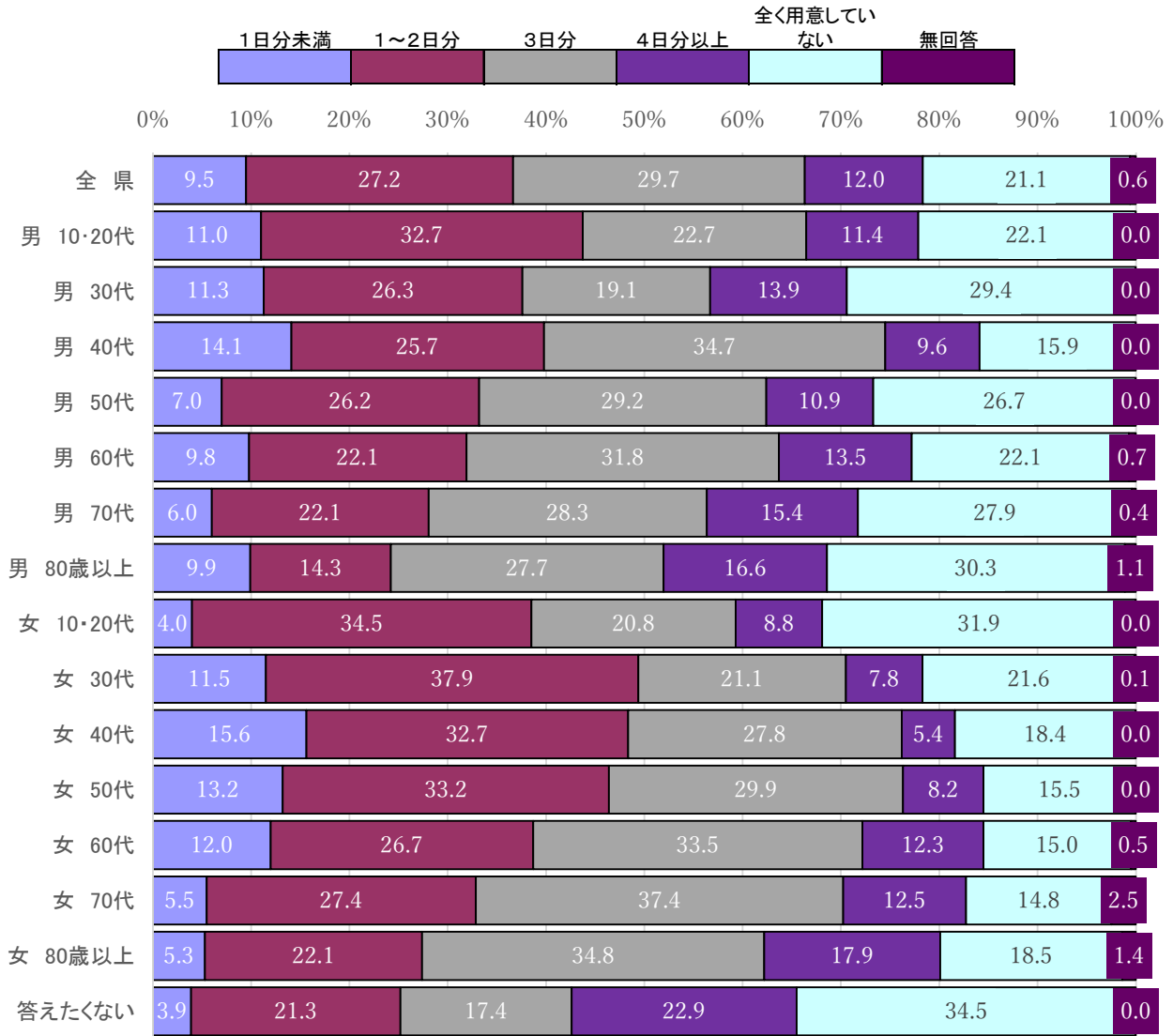
10・20代、30代、50代では、「1～2日分」が最も多く、10・20代、30代、50代を除く各年代では「3日分」が最も多い。



非常時の食の備え

【性・年代別】

男性では、10・20代で「1～2日分」が最も多く、30代と80歳以上で「全く用意していない」が最も多く、40代から70代で「3日分」が最も多い。女性では、10・20代から50代までで「1～2日分」が最も多く、60代から80歳以上で「3日分」が最も多い。



非常時の食の備え

問8 非常時の食の備え

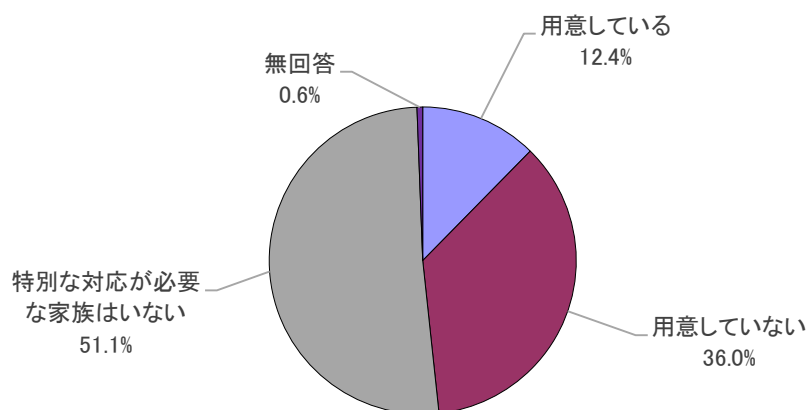
問8

あなたの世帯では、家族の年齢(乳幼児、高齢者)や、健康状態(食物アレルギー、血圧が高い、食べ物を噛みにくいなど)に応じて、非常用の食料を用意していますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 用意している
- 2 用意していない
- 3 特別な対応が必要な家族はいない

【全県】

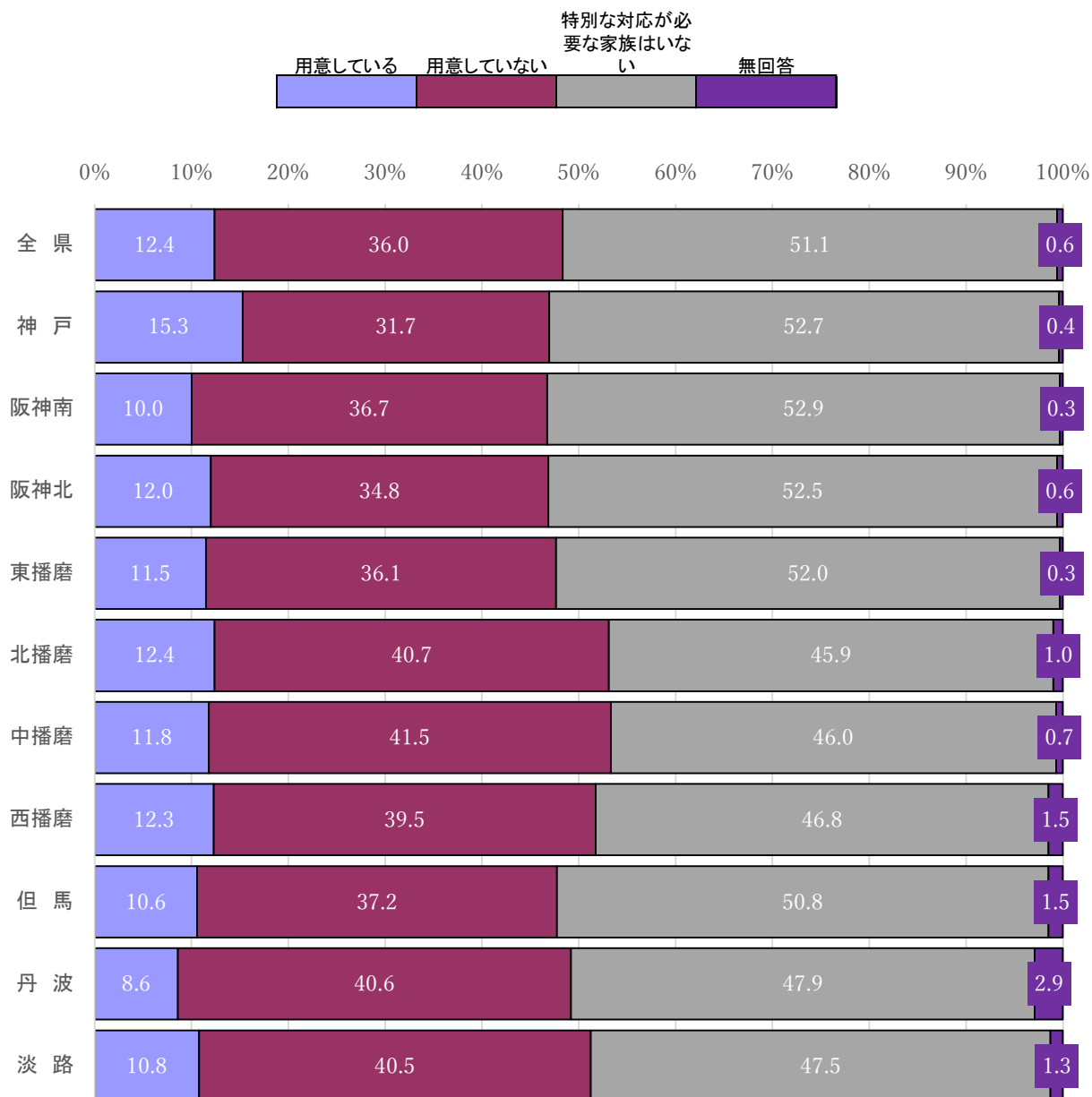
「特別な対応が必要な家族はいない (51.1%)」が最も多く、次いで「用意していない (36.0%)」、「用意している (12.4%)」が続く。



非常時の食の備え

【地域別】

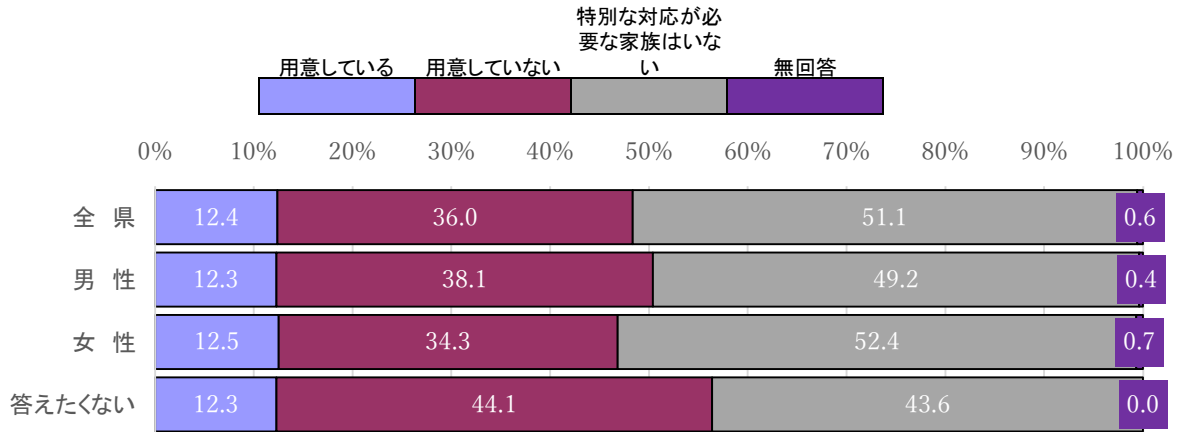
「用意している」は、神戸（15.3%）で最も多く、次いで北播磨（12.4%）、西播磨（12.3%）が多い。
 「用意していない」は、中播磨（41.5%）で最も多く、次いで北播磨（40.7%）、丹波（40.6%）が多い。



非常時の食の備え

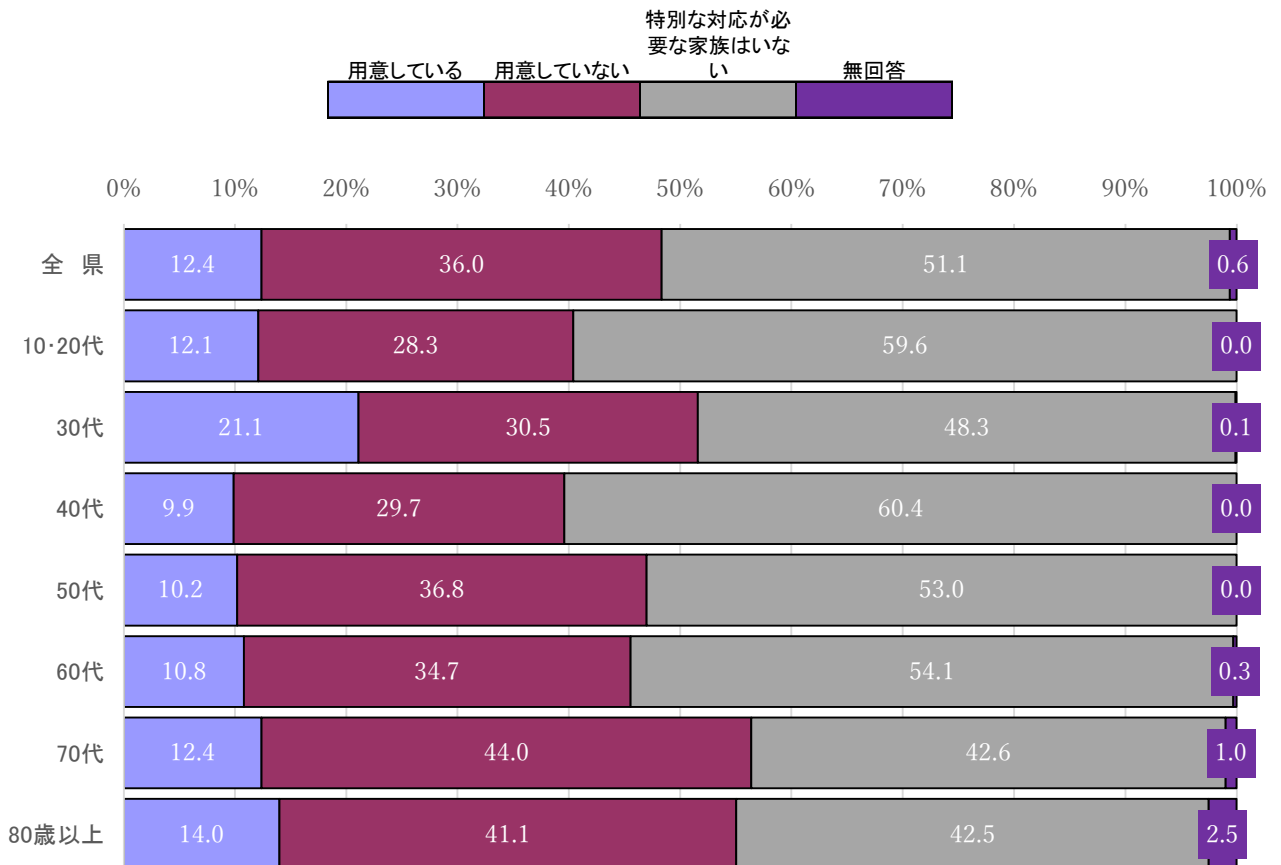
【性別】

「用意している」は男女間で大きな差は見られない。「用意していない」は男性が女性よりも 3.8 ポイント多い（男性 38.1%、女性 34.3%）。



【年代別】

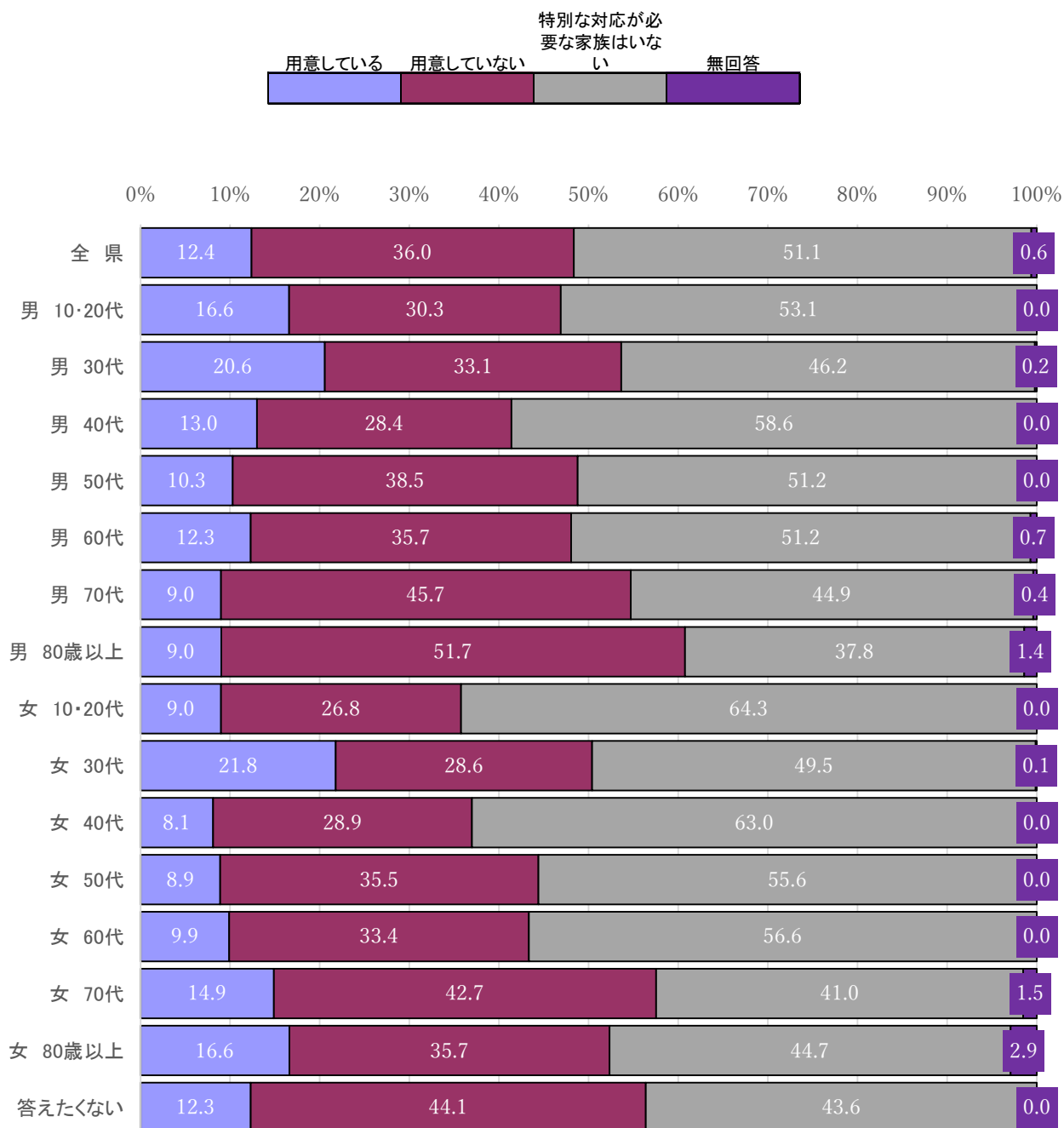
「用意している」は 30 代（21.1%）で最も多く、次いで 80 歳以上（14.0%）、70 代（12.4%）が多い。「用意していない」は 70 代（44.0%）で最も多く、次いで 80 歳以上（41.1%）、50 代（36.8%）が多い。



非常時の食の備え

【性・年代別】

「用意している」は男女ともに30代で最も多い（男性20.6%、女性21.8%）。「用意していない」は男性では80歳以上（51.7%）が最も多く、女性では70代（42.7%）が最も多い。



食文化の継承

5 地域の多様な食文化の継承について

問9-ア 食文化の継承

問9-ア

お住まいの地域の行事食[※]・郷土料理(伝統料理)について、次のア・イのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

ア 知っているものがある

1 はい

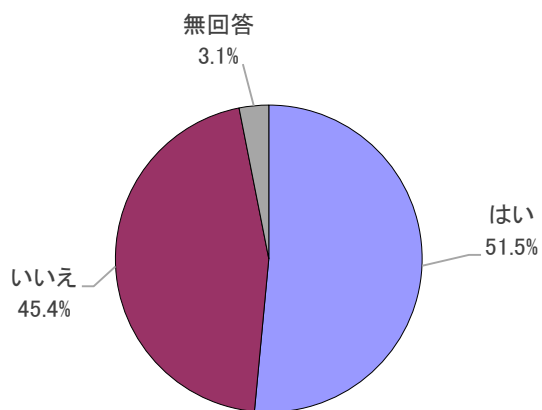
2 いいえ

【※行事食とは】

季節ごとの行事やお祝いの日食べる特別な料理。

【全県】

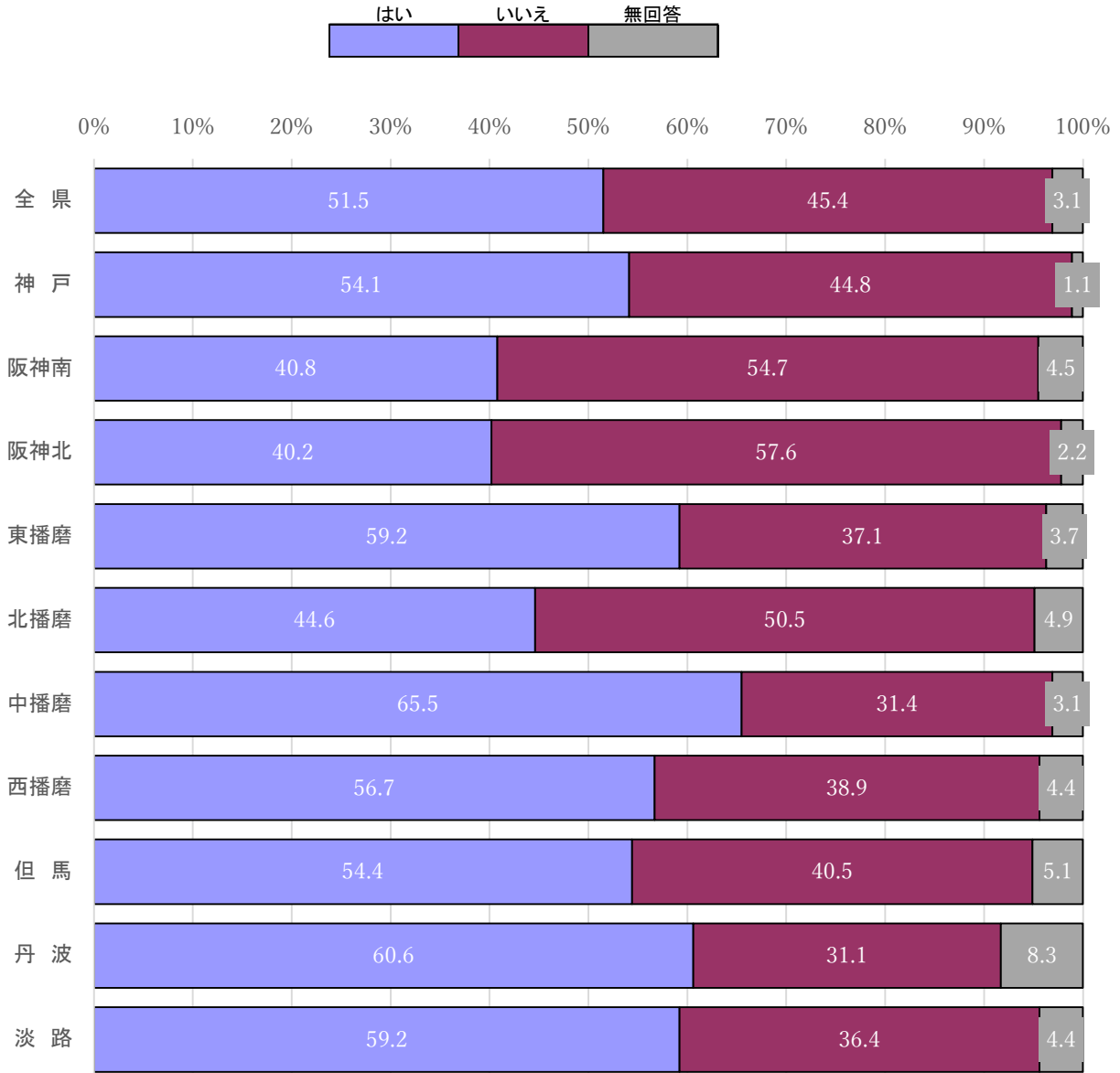
「はい (51.5%)」が「いいえ (45.4%)」より 6.1 ポイント多い。



食文化の継承

【地域別】

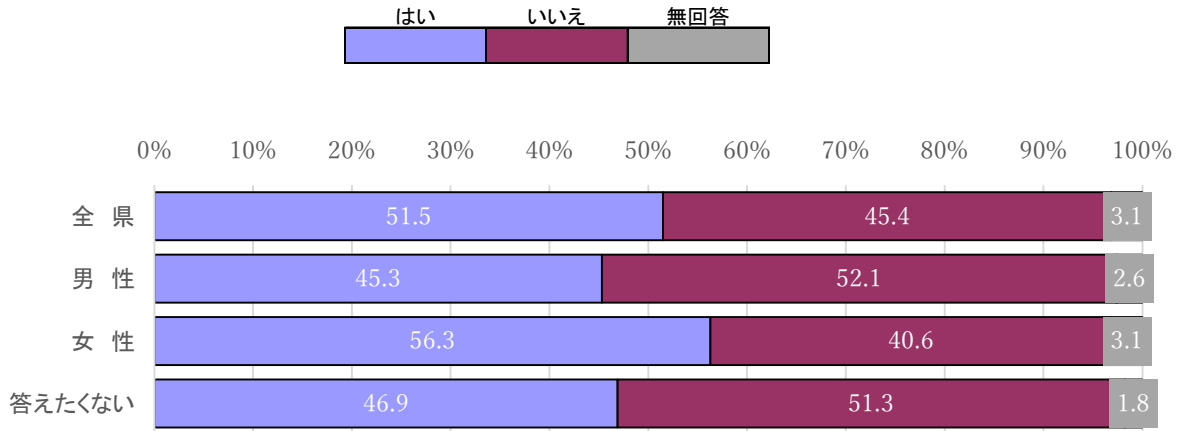
「はい」は中播磨で最も多く（65.5%）、次いで丹波（60.6%）、東播磨、淡路（東播磨、淡路ともに59.2%）が多い。「いいえ」は阪神北で最も多く（57.6%）、次いで阪神南（54.7%）、北播磨（50.5%）が多い。



食文化の継承

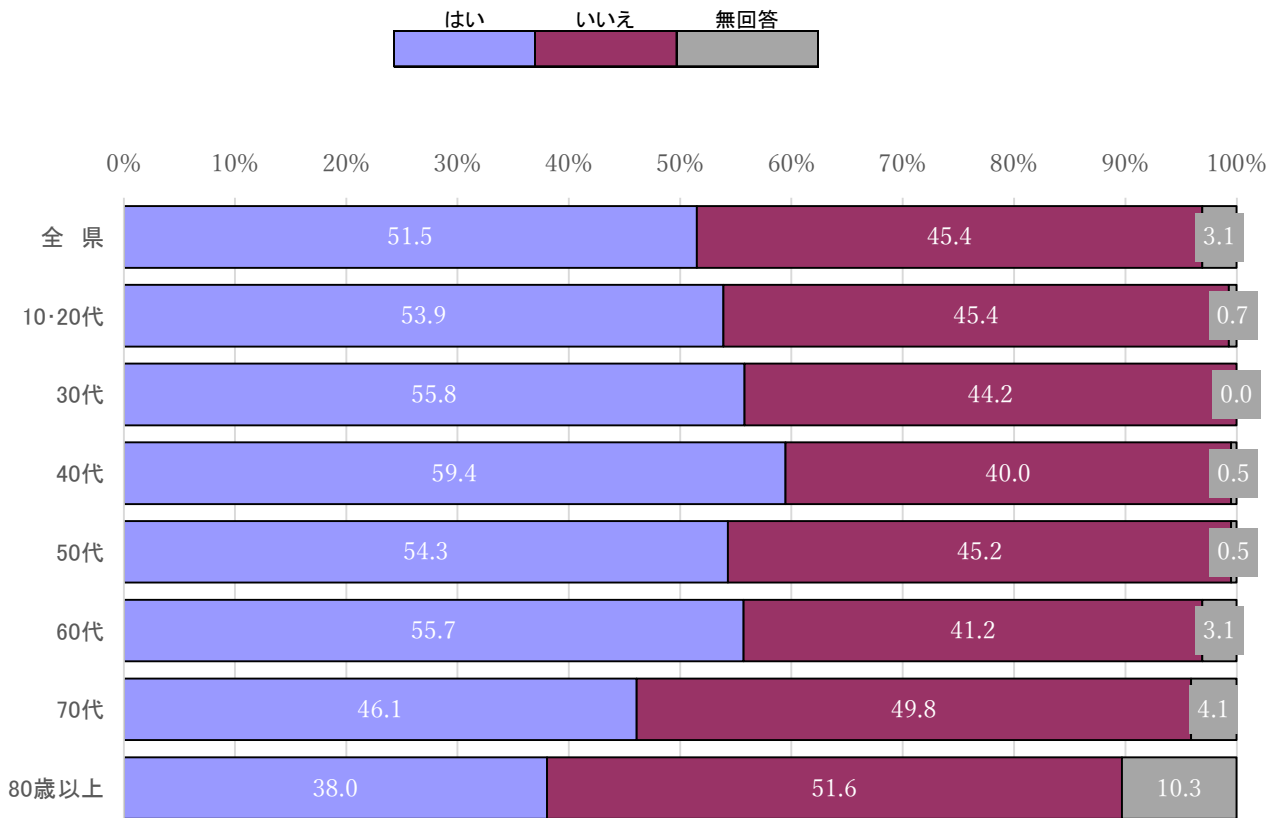
【性別】

「はい」は女性が男性よりも11ポイント多く（男性45.3%、女性56.3%）、「いいえ」は男性が女性よりも11.5ポイント多い（男性52.1%、女性40.6%）。



【年代別】

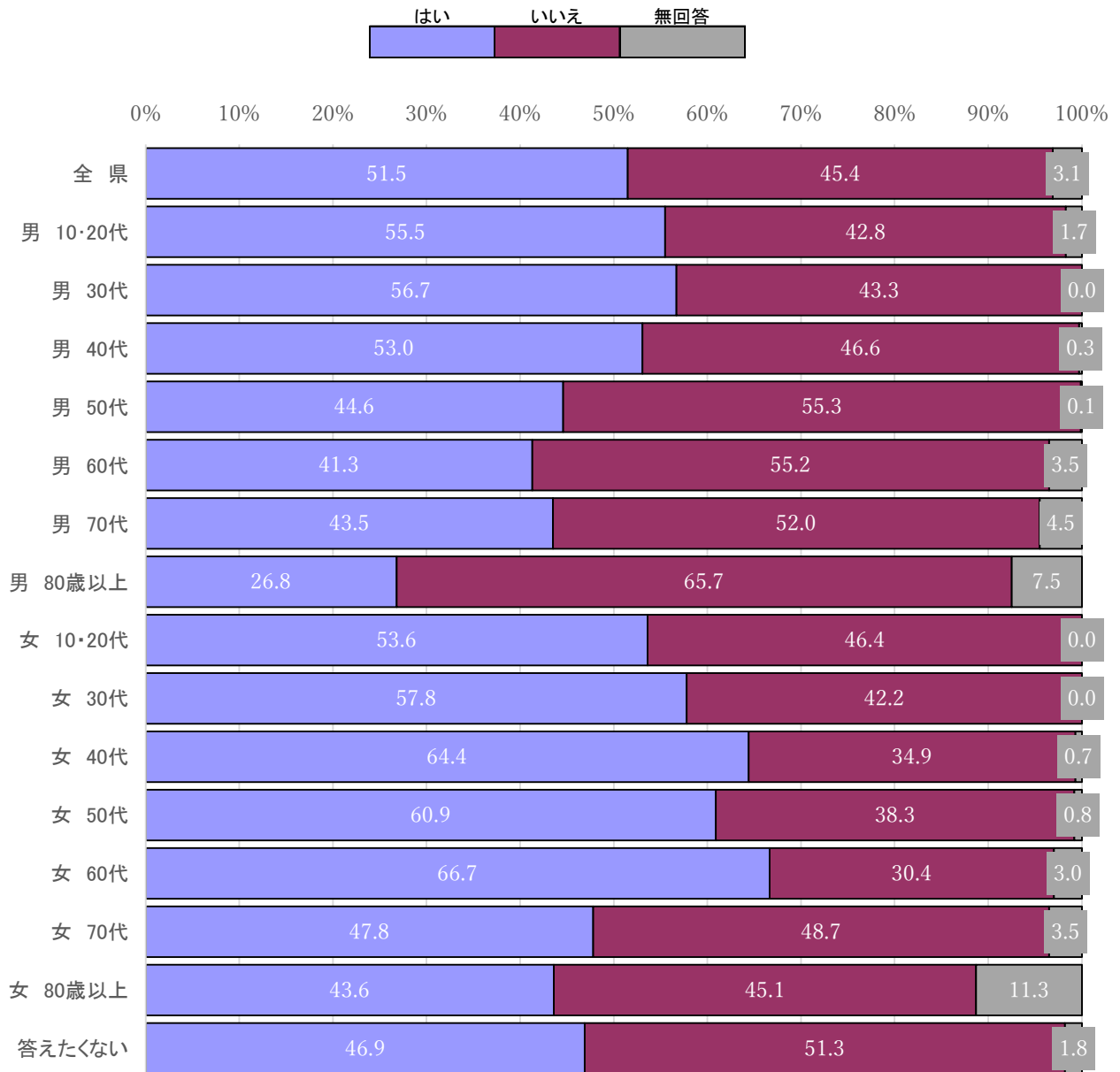
「はい」は40代で最も多く（59.4%）、次いで30代（55.8%）、60代（55.7%）が多い。「いいえ」は80歳以上が最も多く（51.6%）、次いで70代（49.8%）、10・20代（45.4%）が多い。



食文化の継承

【性・年代別】

男性では、「はい」が30代で最も多く（56.7%）、次いで10・20代（55.5%）、40代（53.0%）が多い。女性では「はい」が60代で最も多く（66.7%）、次いで40代（64.4%）、50代（60.9%）が多い。また、「いいえ」は男性では80歳以上（65.7%）が最も多く、次いで50代（55.3%）、60代（55.2%）が多く、女性では「いいえ」は70代（48.7%）が最も多く、次いで10・20代（46.4%）、80歳以上（45.1%）が多い。



食文化の継承

問9-イ 食文化の継承

問9-イ

お住まいの地域の行事食[※]・郷土料理(伝統料理)について、次のア・イのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

イ 作れるものがある

1 はい

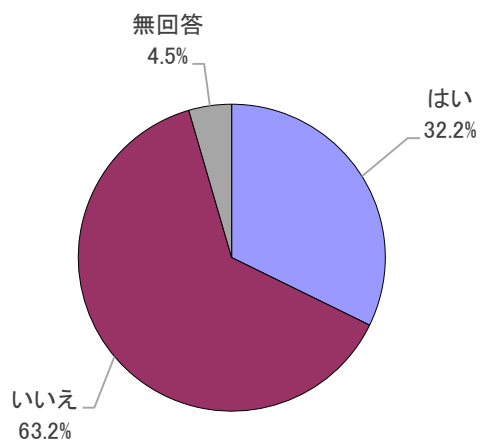
2 いいえ

【※行事食とは】

季節ごとの行事やお祝いの日食べる特別な料理。

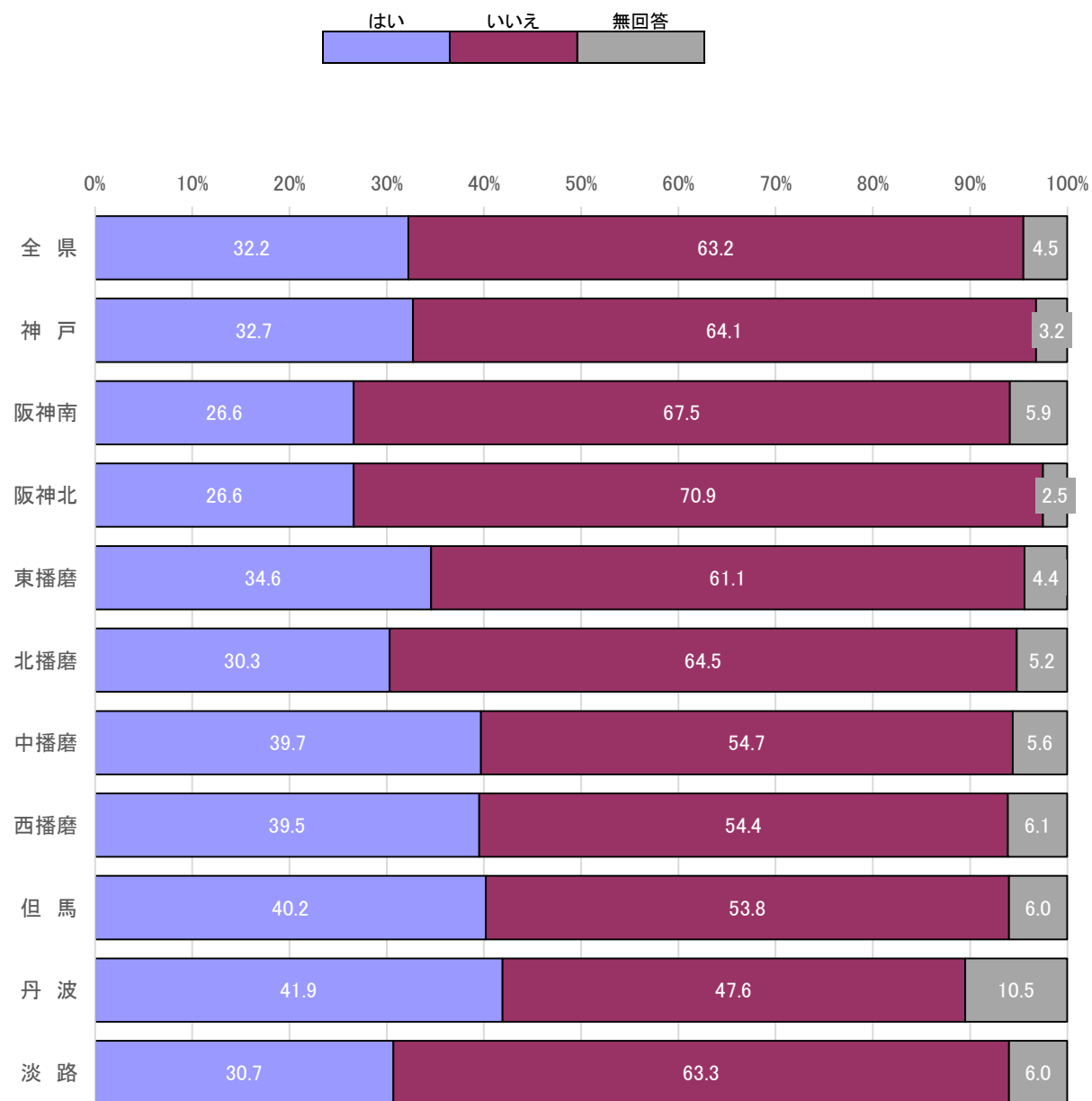
【全県】

「いいえ (63.2%)」が「はい (32.2%)」より 31 ポイント多い。



【地域別】

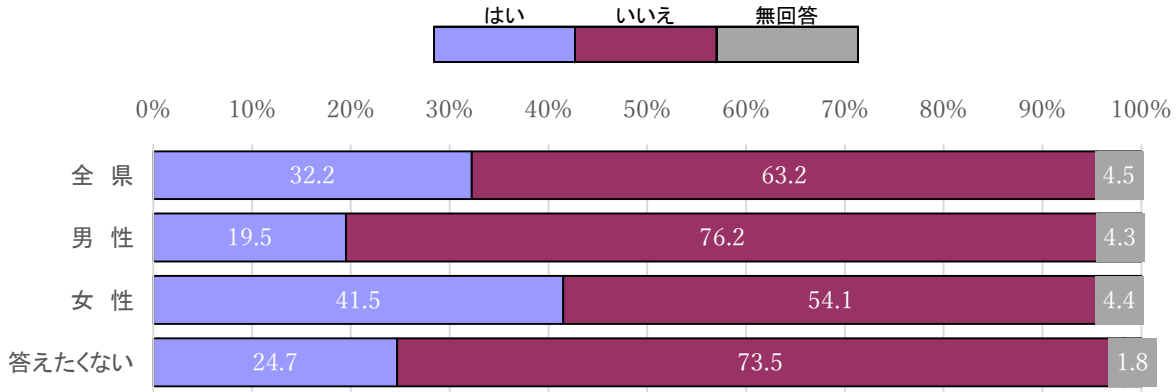
「はい」は丹波で最も多く（41.9%）、次いで但馬（40.2%）、中播磨（39.7%）が多い。「いいえ」は阪神北で最も多く（70.9%）、次いで阪神南（67.5%）、北播磨（64.5%）が多い。



食文化の継承

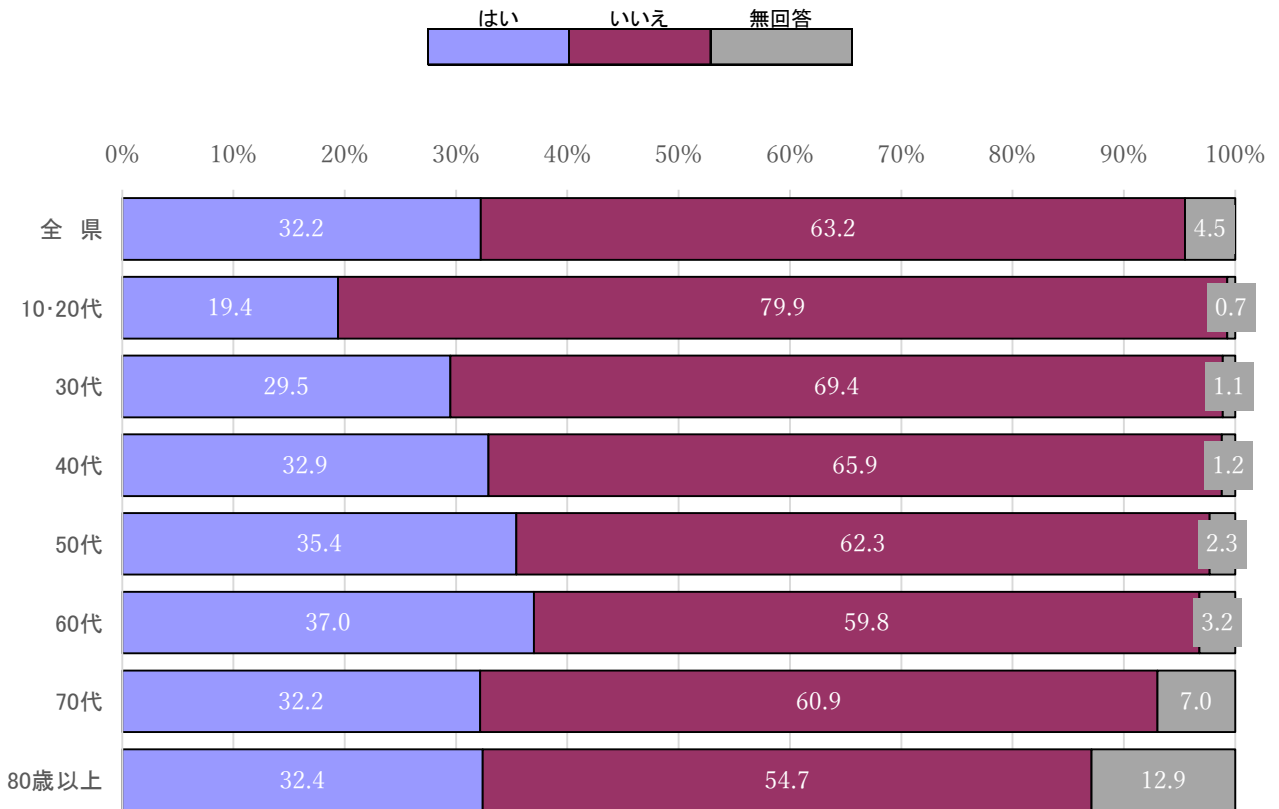
【性別】

「はい」は女性が男性よりも22ポイント多く（男性19.5%、女性41.5%）、「いいえ」は男性が女性よりも22.1ポイント多い（男性76.2%、女性54.1%）。



【年代別】

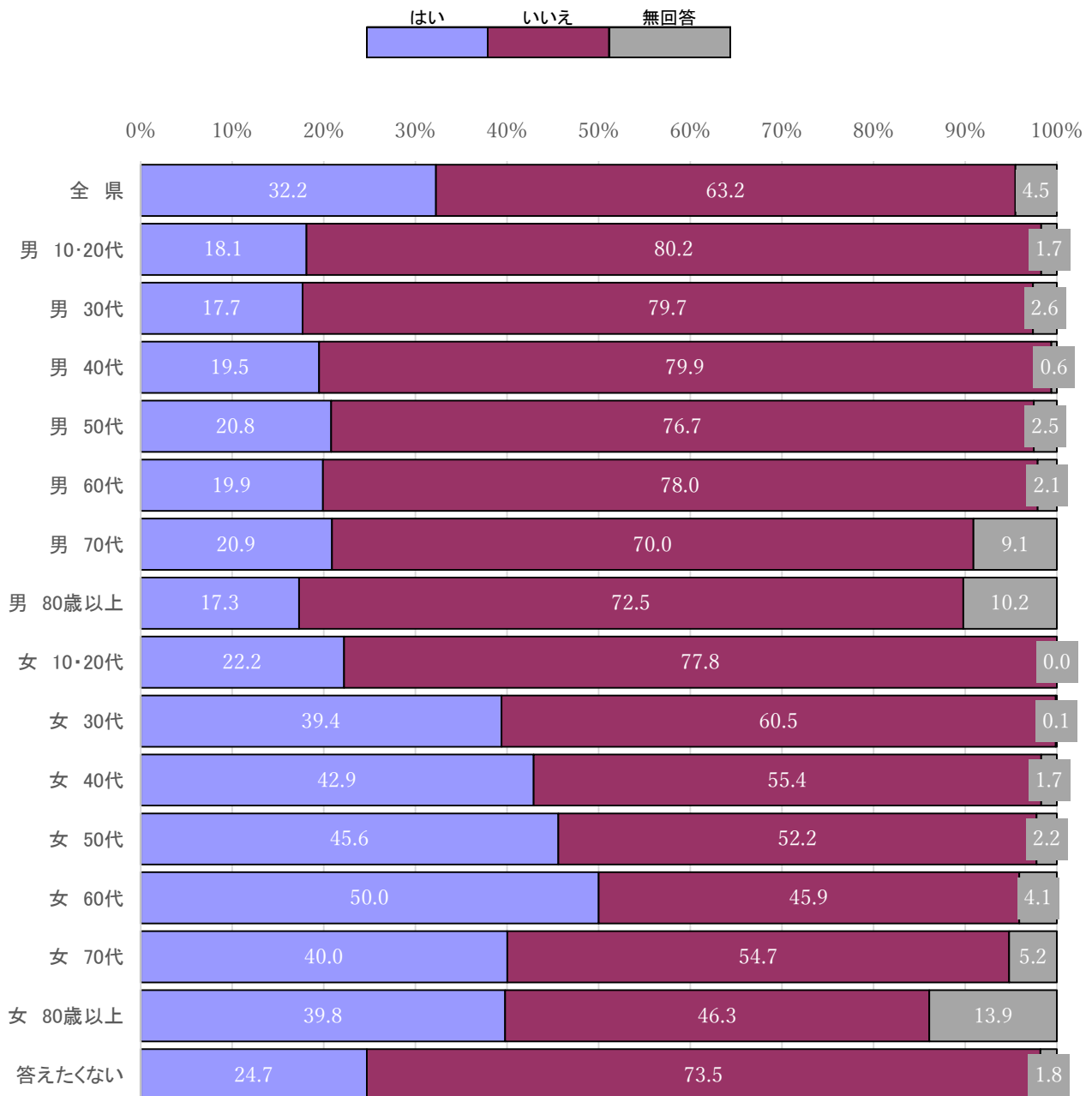
「はい」は60代で最も多く（37.0%）、次いで50代（35.4%）、40代（32.9%）が多い。「いいえ」は10・20代が最も多く（79.9%）、次いで30代（69.4%）、40代（65.9%）が多い。



食文化の継承

【性・年代別】

男性では、「はい」が70代で最も多く(20.9%)、次いで50代(20.8%)、60代(19.9%)が多い。女性では「はい」が60代で最も多く(50.0%)、次いで50代(45.6%)、40代(42.9%)が多い。また、「いいえ」は男性では10・20代(80.2%)が最も多く、次いで40代(79.9%)、30代(79.7%)が多く、女性では「いいえ」は10・20代(77.8%)が最も多く、次いで30代(60.5%)、40代(55.4%)が多い。



食育への関心度

6 県民と一体となった食育推進について

問 10 食育への関心度

問 10

次の食育活動のうち、あなたに関心がある活動を全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える
- 2 生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る
- 3 地元や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を伝承する
- 4 県産農林水産物の積極的な購入、農林漁業などに関する体験活動を行う
- 5 食品廃棄や食品リサイクル、食品ロス削減のための取り組みを進める
- 6 日本型食生活※を送る
- 7 その他
- 8 関心がある活動はない

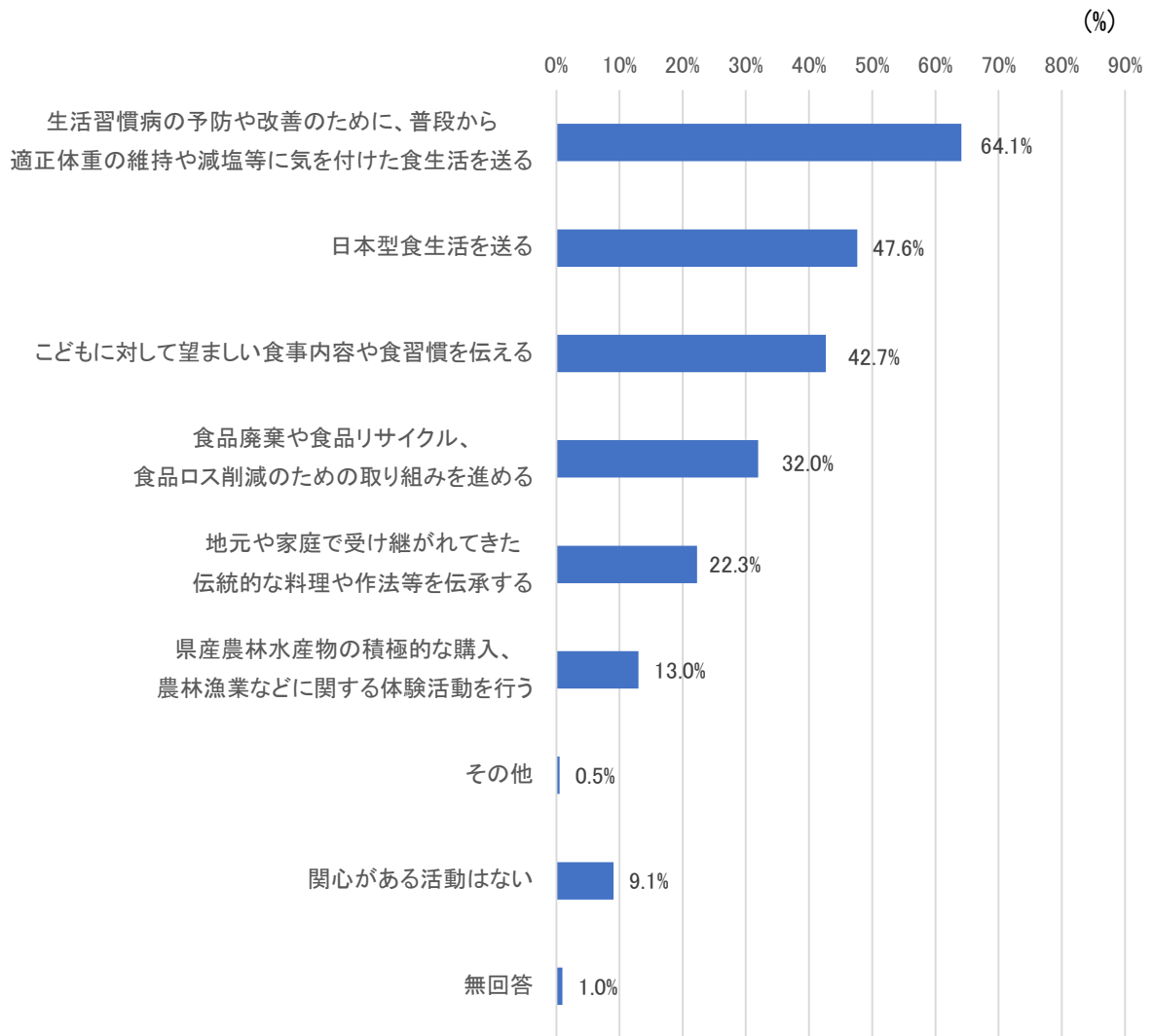
【※日本型食生活とは】

ごはんを中心に、魚、肉、牛乳・乳製品、野菜、海藻、豆類、果物、茶など多様な副食などを組み合わせた食生活であり、一食、一日単位でなくとも、数日から一週間の中で組み立てるものです。惣菜などの中食、パックごはんなどのレトルト食品や冷凍食品などの活用や外食との組合せも可能です。

食育への関心度

【全県】

「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る(64.1%)」が最も多く、「日本型食生活を送る(47.6%)」、「こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える(42.7%)」が続いている。



食育への関心度

【地域別】

全県において最も回答の多い「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」は東播磨(66.7%)が最も多く、次いで神戸(66.5%)、阪神南(63.7%)が多い。

区分	減塩等に気を付けた食生活を送る	生活習慣病の予防や改善のため	日本型食生活を送る	子どもに食習慣を伝えてほしい食事内容	食品廃棄物の削減のためリサイクル、食品ロス削減の取り組みを進める	最大値	最小値	無回答		
						伝統的な家庭料理や受け継がれてきた	入産農林水産物の積極的な購入			
全 県	64.1	47.6	42.7	32.0	22.3	13.0	0.5	9.1	1.0	
地域別	神 戸	66.5	54.4	42.3	33.1	25.3	18.1	0.7	6.8	0.7
	阪神南	63.7	43.3	42.9	33.9	21.8	12.8	1.0	10.0	1.4
	阪神北	63.6	45.9	44.9	35.8	19.9	10.1	0.0	11.1	0.3
	東播磨	66.7	42.7	44.2	31.5	21.8	11.5	0.3	8.4	0.6
	北播磨	62.2	48.9	38.4	27.7	19.2	7.8	1.0	9.8	2.0
	中播磨	58.5	46.7	45.3	30.3	20.9	10.1	0.0	9.8	0.7
	西播磨	63.5	48.5	36.5	26.6	22.8	10.2	0.6	10.5	1.5
	但 馬	61.0	44.7	40.2	23.3	23.0	12.4	0.3	9.4	0.9
	丹 波	61.9	45.1	36.2	22.2	23.2	5.4	1.0	9.2	3.8
	淡 路	63.3	45.3	40.2	28.5	17.1	14.9	0.0	12.7	3.8
地域間の差	8.2	11.7	9.1	13.6	8.2	12.7	1.0	5.9	3.5	

食育への関心度

【性別】

男女ともに、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」が最も多い（男性 57.5%、女性 69.4%）。

区分		減塩等に気を付けた食生活を送る	生活習慣病の予防や改善のため	日本型食生活を送る	子どもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える	食品ロス削減のための取り組みを進める	食品廃棄や食品の取り組みを	地元の家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を伝承する	県産農林水産物の積極的な購入、農漁業などに関する体験活動を行う	その他	関心がある活動はない	無回答
全 県		64.1	47.6	42.7	32.0	22.3	13.0	0.5	9.1	1.0		
性別	男 性	57.5	41.8	36.9	26.4	16.5	10.7	0.1	13.7	0.6		
	女 性	69.4	52.1	46.8	35.6	26.3	14.7	0.8	5.6	1.2		
	答えたくない	50.1	38.7	41.1	46.4	27.9	16.6	0.0	15.3	1.8		
性別間の差		11.9	10.3	9.9	9.2	9.8	4.0	0.7	8.1	0.6		

食育への関心度

【年代別】

30代、40代では「こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える」が最も多く、30代、40代を除く各年代では、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」が最も多い。

区分	減塩等に気を付けた食生活を送る	生活習慣病の予防や改善のため	日本型食生活を送る	こどもに対して望ましい食事内容	食品廃棄物の削減やリサイクル、進め	最大値	伝統的な料理や受け継がれてきた	県産農林水産物の積極的な購入	最小値	関心がある活動はない	無回答
						る伝地的な料理や受け継がれてきた			その他		
全 県	64.1	47.6	42.7	32.0	22.3	13.0	0.5	9.1	1.0		
年代別	10・20代	60.8	32.1	50.5	28.3	24.5	12.4	0.0	12.8	0.0	
	30代	54.0	35.5	64.8	29.1	25.5	13.0	3.0	8.4	0.1	
	40代	53.0	40.7	60.0	31.0	26.1	19.6	0.1	8.7	0.0	
	50代	62.4	44.1	40.2	35.0	27.1	12.8	0.4	11.8	0.2	
	60代	68.3	45.6	41.5	37.9	21.6	13.7	0.1	5.4	0.5	
	70代	73.9	60.5	33.7	35.5	19.1	13.1	0.4	9.1	1.3	
	80歳以上	67.9	63.8	21.6	21.3	14.2	6.5	0.0	7.9	4.6	
年代間の差	20.9	31.7	43.2	16.6	12.9	13.1	3.0	7.4	4.6		

食育への関心度

【性・年代別】

男女ともに、30代、40代では「こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える」が最も多く、30代、40代を除く各年代では、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」が最も多い。

区分	減塩等に気を付けた食生活を送る	生活習慣病の予防や改善のため	日本型食生活を送る	こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える	食品廃棄物の削減のための取り組みを進める	最大値	最小値	無回答		
						地域の伝統的な料理や受け継がれてきた	県産農林水産物の積極的な購入			
全 県	64.1	47.6	42.7	32.0	22.3	13.0	0.5	9.1	1.0	
男性・年代別	10・20代	57.7	33.5	37.2	17.5	15.6	9.3	0.0	16.4	0.0
	30代	45.3	28.8	59.7	22.5	16.9	10.8	0.0	12.2	0.0
	40代	45.6	38.2	55.6	24.7	26.3	18.8	0.2	10.5	0.0
	50代	50.8	33.0	33.5	28.0	20.2	8.8	0.2	18.4	0.0
	60代	64.0	42.0	33.5	31.9	15.6	9.5	0.0	9.9	0.2
	70代	65.8	52.7	31.1	31.7	12.5	10.7	0.0	15.0	0.4
	80歳以上	68.2	59.8	14.4	18.6	7.2	6.6	0.0	12.0	5.0
男性・年代間の差	22.9	31.0	45.3	14.4	19.1	12.2	0.2	8.5	5.0	
女性・年代別	10・20代	63.8	30.7	58.8	32.6	31.1	13.2	0.0	10.4	0.0
	30代	59.3	40.4	69.0	34.6	33.0	15.3	5.2	5.7	0.1
	40代	57.7	41.6	63.5	34.7	25.3	19.8	0.0	7.0	0.1
	50代	72.7	51.9	47.2	39.5	31.8	15.4	0.6	6.2	0.4
	60代	72.8	49.0	47.6	42.4	25.8	17.2	0.3	1.6	0.7
	70代	79.8	66.3	35.3	38.2	23.8	14.9	0.6	4.9	1.6
	80歳以上	68.0	66.0	25.3	22.8	17.9	6.4	0.1	6.0	4.4
女性・年代間の差	22.1	35.6	43.7	19.6	15.1	13.4	5.2	8.8	4.4	
答えたくない	50.1	38.7	41.1	46.4	27.9	16.6	0.0	15.3	1.8	

問 11 実践している食育活動

問 11

次の食育活動のうち、あなたが実践している活動を全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える
- 2 生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る
- 3 地元や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を伝承する
- 4 県産農林水産物の積極的な購入、農林漁業などに関する体験活動を行う
- 5 食品廃棄や食品リサイクル、食品ロス削減のための取り組みを進める
- 6 日本型食生活*を送る
- 7 その他
- 8 実践している活動はない

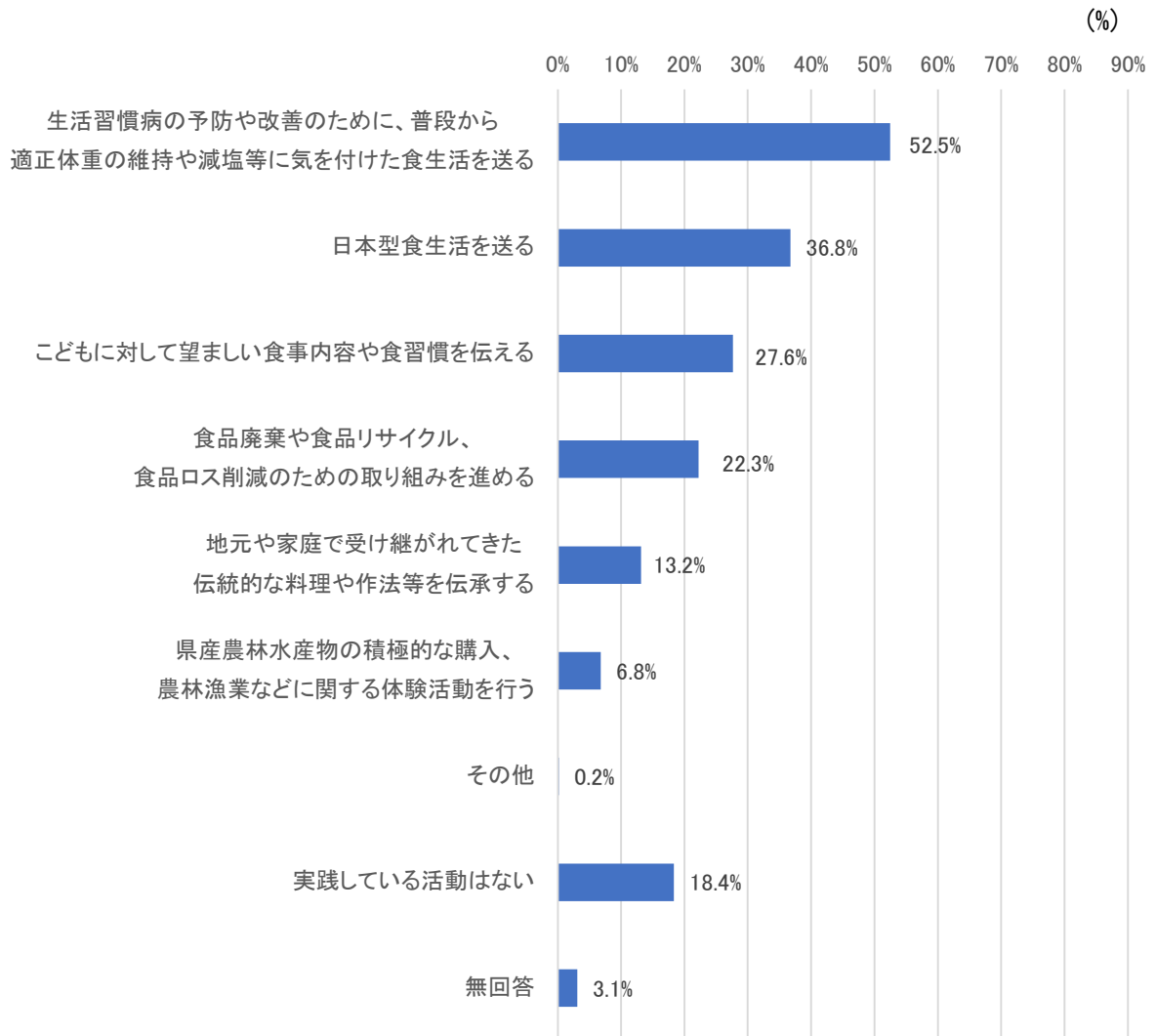
【※日本型食生活とは】

ごはんを中心に、魚、肉、牛乳・乳製品、野菜、海藻、豆類、果物、茶など多様な副食などを組み合わせた食生活であり、一食、一日単位でなくとも、数日から一週間の中で組み立てるものです。惣菜などの中食、パックごはんなどのレトルト食品や冷凍食品などの活用や外食との組合せも可能です。

実践している食育活動

【全県】

「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る(52.5%)」が最も多く、「日本型食生活を送る(36.8%)」、「こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える(27.6%)」が続いている。



実践している食育活動

【地域別】

全県において最も回答の多い「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」は東播磨 (57.6%) が最も多く、次いで阪神南 (54.7%)、神戸 (53.4%) が多い。

区分	減塩等に気を付けた食生活を送る	生活習慣病の予防や改善のため	日本型食生活を送る	子どもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える	食品廃棄物の削減のための取り組みを進める	最大値	最小値	実践している活動はない	無回答	
						伝統的な料理や作法等を継承する	地元や家庭で受け継がれてきた活動を行う			その他
全 県	52.5	36.8	27.6	22.3	13.2	6.8	0.2	18.4	3.1	
地域別	神 戸	53.4	38.8	29.5	23.1	13.9	10.0	0.4	18.1	4.3
	阪神南	54.7	30.4	25.3	26.6	11.8	3.5	0.0	17.6	2.8
	阪神北	50.3	36.4	27.2	20.6	10.8	5.7	0.0	19.3	2.8
	東播磨	57.6	39.6	31.2	23.4	15.0	8.1	0.3	16.8	1.6
	北播磨	50.2	42.0	26.1	19.5	12.7	3.6	0.7	17.9	2.9
	中播磨	44.9	36.2	26.8	17.8	14.3	5.9	0.0	19.9	1.7
	西播磨	52.9	37.1	22.2	18.1	12.3	7.0	0.6	20.8	4.4
	但 馬	51.1	41.7	26.9	15.7	16.9	7.6	0.0	17.8	2.1
	丹 波	47.0	38.1	27.3	18.4	16.2	2.2	1.0	17.1	5.1
	淡 路	50.6	33.9	25.9	23.4	10.1	7.9	0.0	20.9	4.7
地域間の差	12.7	11.6	9.0	10.9	6.8	7.8	1.0	4.1	3.5	

実践している食育活動

【性別】

男女ともに、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」が最も多い（男性 49.1%、女性 55.6%）。

(%)

区分		減塩等に気を付けた食生活を送る	日本型食生活を送る	子どもや食習慣を伝え望ましい食事内容	食品ロス削減のための取り組みを進める	地元や伝統的な料理や作法等を伝承する	県産農林水産物の積極的な購入、農林漁業などに関する体験活動を行う	その他	実践している活動はない	無回答
全 県		52.5	36.8	27.6	22.3	13.2	6.8	0.2	18.4	3.1
性別	男 性	49.1	31.7	22.7	19.4	8.1	5.8	0.2	21.8	1.7
	女 性	55.6	40.5	31.3	24.1	16.6	7.6	0.2	15.6	3.8
	答えたくない	36.4	32.0	23.2	30.7	13.2	6.1	0.0	24.7	6.6
性別間の差		6.5	8.8	8.6	4.7	8.5	1.8	0.0	6.2	2.1

実践している食育活動

【年代別】

30代、40代では「こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える」が最も多く、30代、40代を除く各年代では、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」が最も多い。

区分	減塩等に気を付けた食生活を送る	生活習慣病の予防や改善のため	日本型食生活を送る	こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える	食品廃棄物の削減、食品ロス削減のための取り組みを進める	最大値	伝統的な料理や受け継がれてきた地域や家庭で作法を伝承する	県産農林水産物の積極的な購入、農漁業などに積極的な体験活動を行う	最小値	実践している活動はない	無回答
全 県	52.5	36.8	27.6	22.3	13.2	6.8	0.2	18.4	3.1		
年代別	10・20代	42.7	18.6	18.8	19.0	8.1	4.1	0.0	31.2	0.0	
	30代	37.7	22.9	40.2	15.5	10.0	7.8	1.0	27.8	1.1	
	40代	41.0	27.1	47.9	21.4	14.6	7.6	0.0	19.5	0.0	
	50代	48.0	31.7	28.6	26.4	15.4	6.5	0.2	22.1	1.1	
	60代	62.7	40.4	24.3	29.1	12.1	7.2	0.2	11.8	2.0	
	70代	65.2	49.4	22.8	22.8	15.1	9.5	0.2	13.1	4.7	
	80歳以上	55.8	53.1	14.1	15.5	12.7	3.1	0.0	12.3	11.5	
年代間の差	27.5	34.5	33.8	13.6	7.3	6.4	1.0	19.4	11.5		

実践している食育活動

【性・年代別】

男性では、40代では「こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える」が最も多く、40代を除く各年代では、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」が最も多い。

女性では、30代、40代では、「こどもに対して望ましい食事内容や食習慣を伝える」が最も多く、30代、40代を除く各年代では、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を送る」が最も多い。

区分	減塩等に気を付けた食生活を送る	生活習慣病の予防や改善のため	日本型食生活を送る	こどもに対して望ましい食事内容	食品廃棄物の削減やリサイクル、食品ロス削減のため	最大値	県産農林水産物の積極的な購入、農漁業などに関する体験活動を行う	最小値	実践している活動はない	無回答
						伝統的な料理や受け継がれてきた		その他		
全 県	52.5	36.8	27.6	22.3	13.2	6.8	0.2	18.4	3.1	
男性・年代別	10・20代	42.8	14.2	18.2	15.1	4.2	2.8	0.0	27.7	0.0
	30代	36.4	20.6	32.6	15.8	6.0	4.7	0.0	31.4	2.6
	40代	36.9	22.8	42.0	17.1	10.8	9.3	0.1	20.5	0.0
	50代	40.5	23.8	22.4	18.5	11.1	2.3	0.2	28.8	0.8
	60代	63.7	36.5	17.7	27.6	7.1	8.5	0.2	14.4	1.1
	70代	59.8	44.6	19.5	21.5	8.0	8.1	0.5	16.1	2.7
	80歳以上	51.0	49.3	8.6	13.0	7.6	1.9	0.0	21.6	5.6
男性・年代間の差	27.3	35.1	33.4	14.6	6.9	7.4	0.5	17.0	5.6	
女性・年代別	10・20代	42.7	21.0	18.8	21.6	9.9	5.4	0.0	34.1	0.0
	30代	38.8	24.0	47.1	16.1	13.4	10.3	1.9	24.2	0.1
	40代	44.4	29.6	51.7	23.8	17.8	6.5	0.0	19.1	0.1
	50代	54.4	37.5	34.6	31.1	19.1	8.8	0.2	17.0	0.4
	60代	63.0	43.8	29.0	29.9	15.1	6.3	0.2	9.7	2.7
	70代	68.9	52.9	25.3	23.6	20.1	10.7	0.1	11.1	5.8
	80歳以上	58.4	55.1	17.0	16.8	15.4	3.7	0.0	7.9	14.4
女性・年代間の差	30.1	34.1	34.7	15.0	10.2	7.0	1.9	26.2	14.4	
答えたくない	36.4	32.0	23.2	30.7	13.2	6.1	0.0	24.7	6.6	

減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

問 12-ア 減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

問 12-ア

生活習慣病予防やフレイル[※]予防のため、減塩(または塩分控えめ)食品やたんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)を利用していますか。次のア・イのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

ア 減塩または塩分控えめ食品

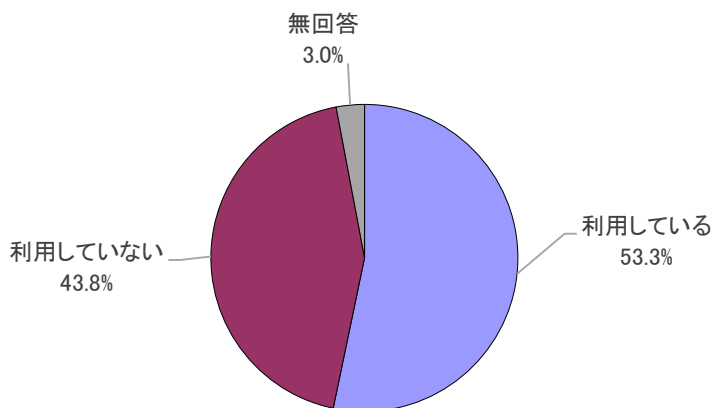
- 1 利用している
- 2 利用していない

【※フレイルとは】

体力や気力の余力が減り、心や体、社会的な機能が低下した状態のこと。

【全県】

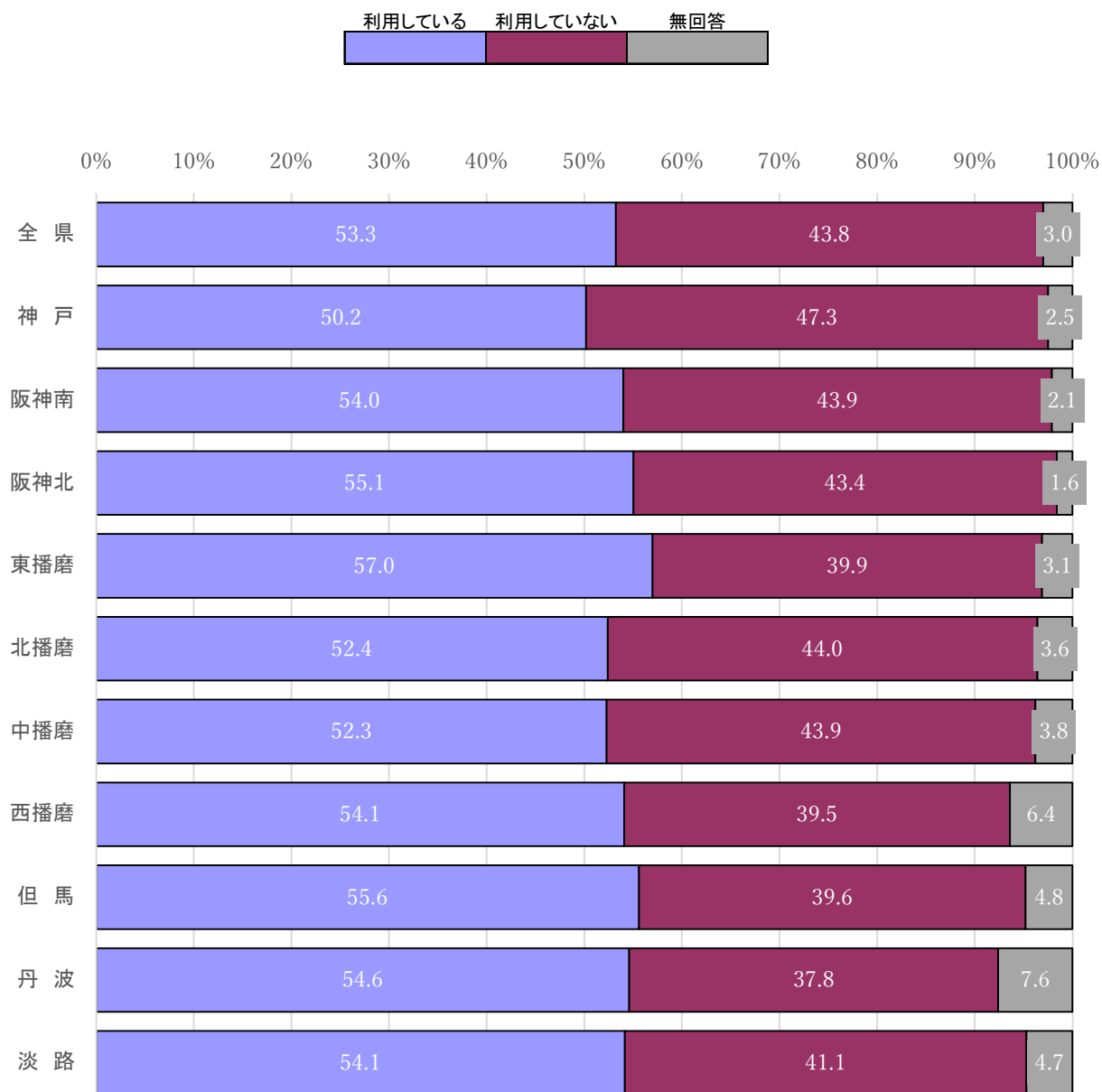
「利用している(53.3%)」が「利用していない(43.8%)」より9.5ポイント多い。



減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

【地域別】

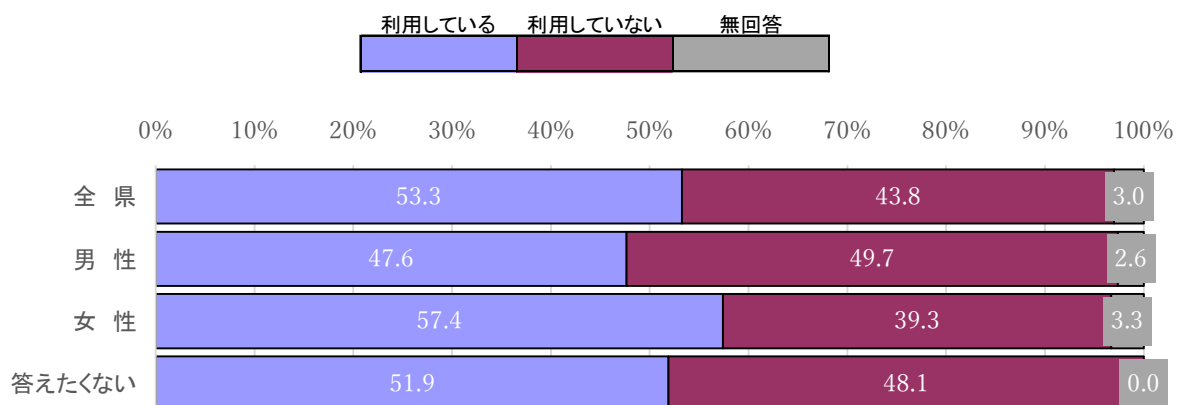
「利用している」は東播磨(57.0%)で最も多く、次いで但馬(55.6%)、阪神北(55.1%)が多い。
 「利用していない」は神戸(47.3%)で最も多く、次いで北播磨(44.0%)、阪神南、中播磨(阪神南、中播磨ともに43.9%)が多い。



減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

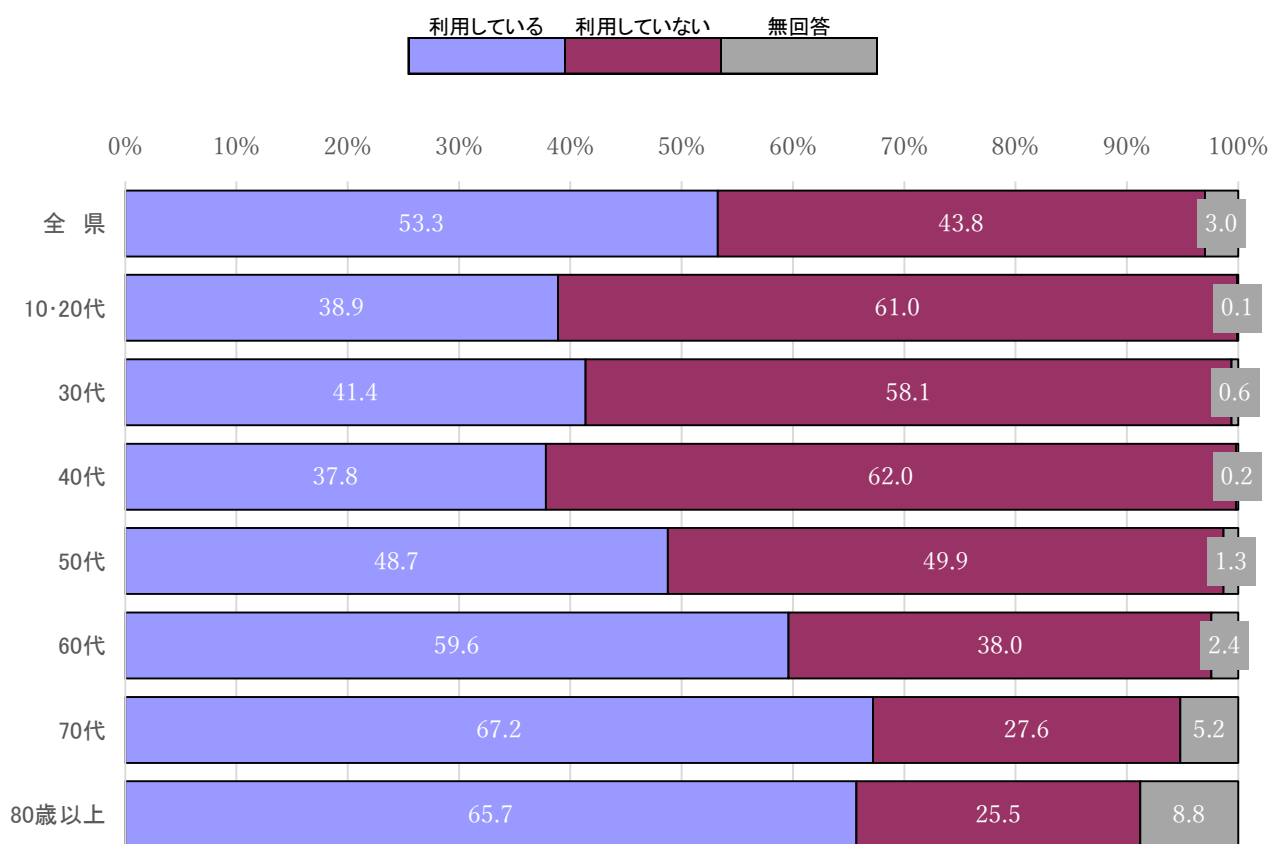
【性別】

「利用している」は女性が男性よりも9.8ポイント多く（男性47.6%、女性57.4%）、「利用していない」は男性が女性よりも10.4ポイント多い（男性49.7%、女性39.3%）。



【年代別】

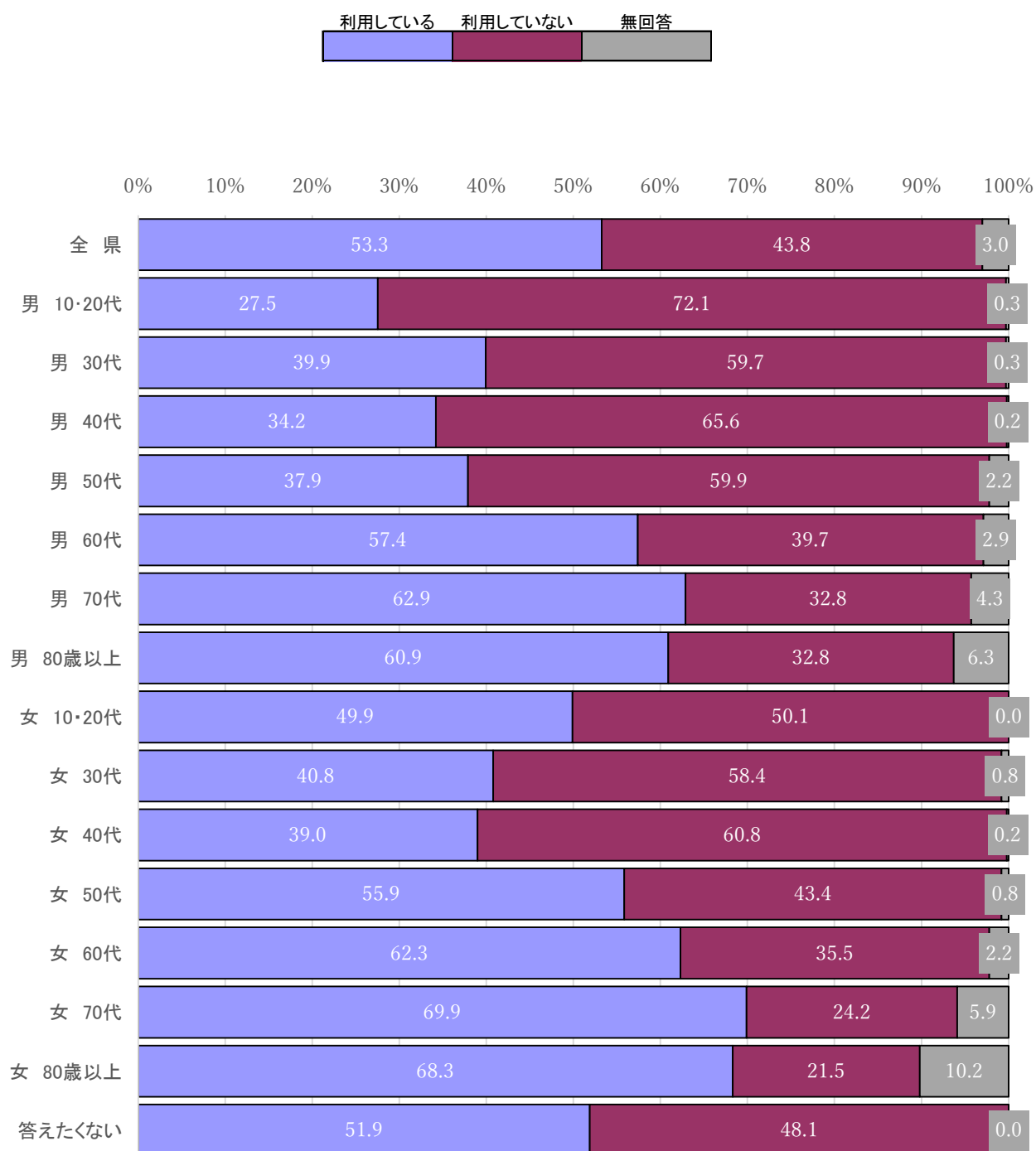
「利用している」は70代で最も多く（67.2%）、次いで80歳以上（65.7%）、60代（59.6%）が多い。「利用していない」は40代で最も多く（62.0%）、次いで10・20代（61.0%）、30代（58.1%）が多い。



減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

【性・年代別】

「利用している」は男女ともに70代で最も多く、次いで80歳以上、60代が多い。「利用していない」は男性では10・20代が最も多く、次いで40代、50代が多い。女性では「利用していない」は40代が最も多く、次いで30代、10・20代が多い。



減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

問 12-イ 減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

問 12-イ

生活習慣病予防やフレイル[※]予防のため、減塩(または塩分控えめ)食品やたんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)を利用していますか。次のア・イのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

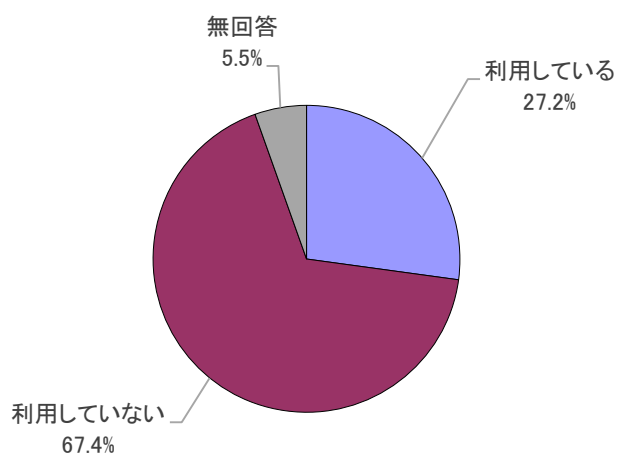
- イ たんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)
- 1 利用している
 - 2 利用していない

【※フレイルとは】

体力や気力の余力が減り、心や体、社会的な機能が低下した状態のこと。

【全県】

「利用していない(67.4%)」が「利用している(27.2%)」より40.2ポイント多い。

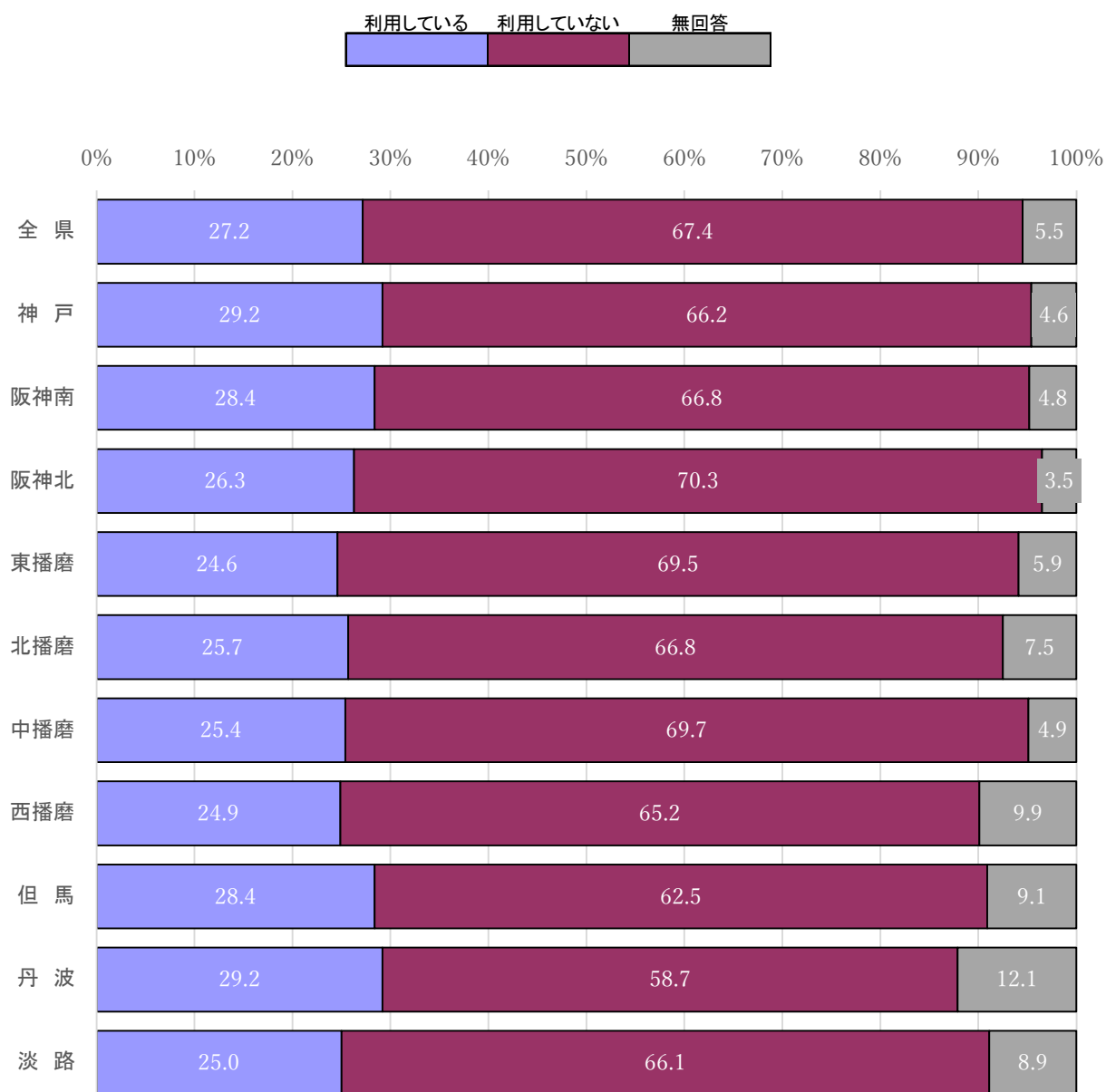


減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

【地域別】

「利用している」は神戸、丹波(神戸、丹波ともに29.2%)で最も多く、次いで阪神南、但馬(阪神南、但馬ともに28.4%)、阪神北(26.3%)が多い。

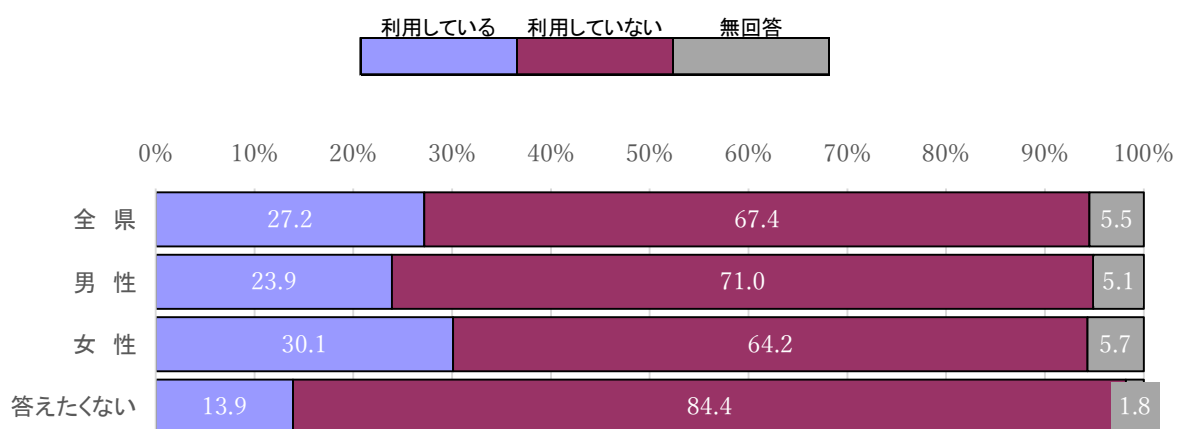
「利用していない」は阪神北(70.3%)で最も多く、次いで中播磨(69.7%)、東播磨(69.5%)が多い。



減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

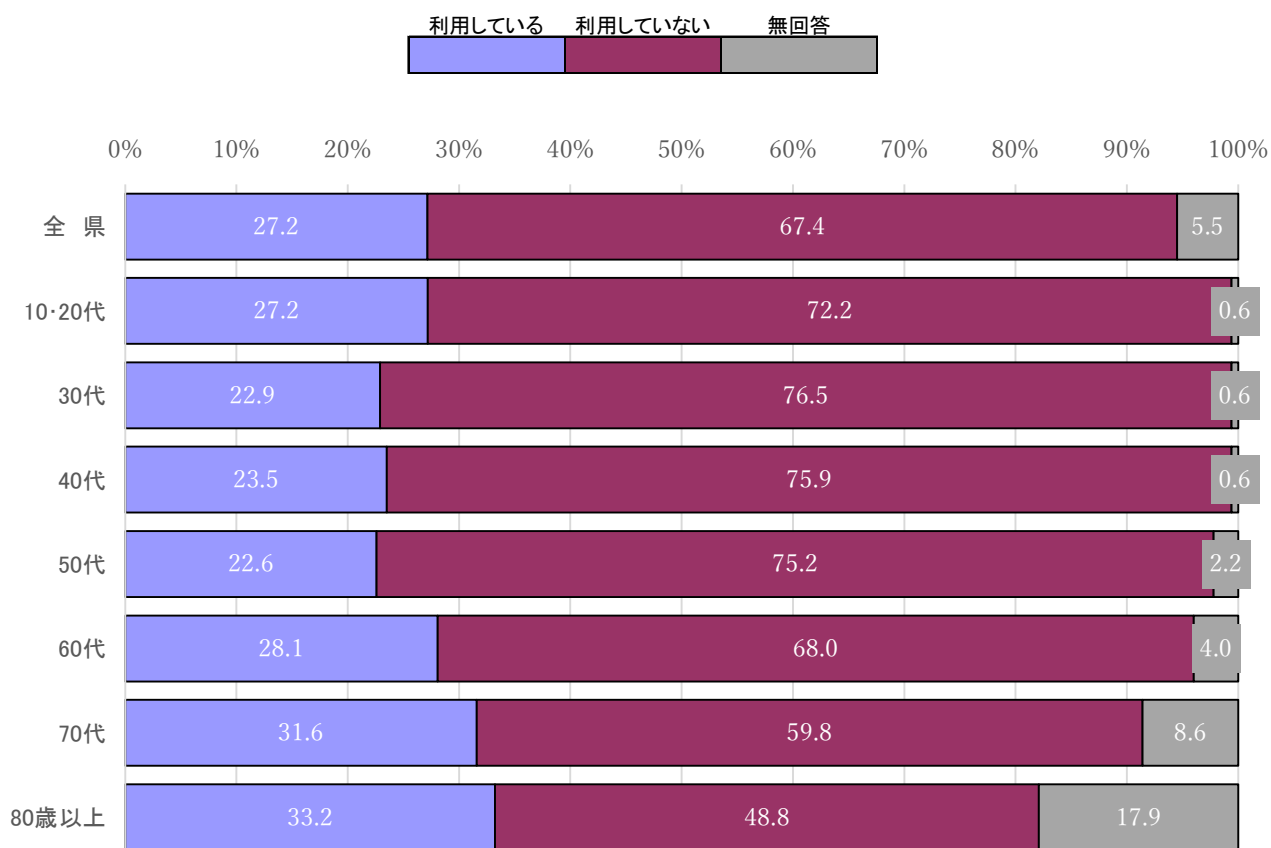
【性別】

「利用している」は女性が男性よりも6.2ポイント多く（男性23.9%、女性30.1%）、「利用していない」は男性が女性よりも6.8ポイント多い（男性71.0%、女性64.2%）。



【年代別】

「利用している」は80歳以上で最も多く（33.2%）、次いで70代（31.6%）、60代（28.1%）が多い。「利用していない」は30代で最も多く（76.5%）、次いで40代（75.9%）、50代（75.2%）が多い。

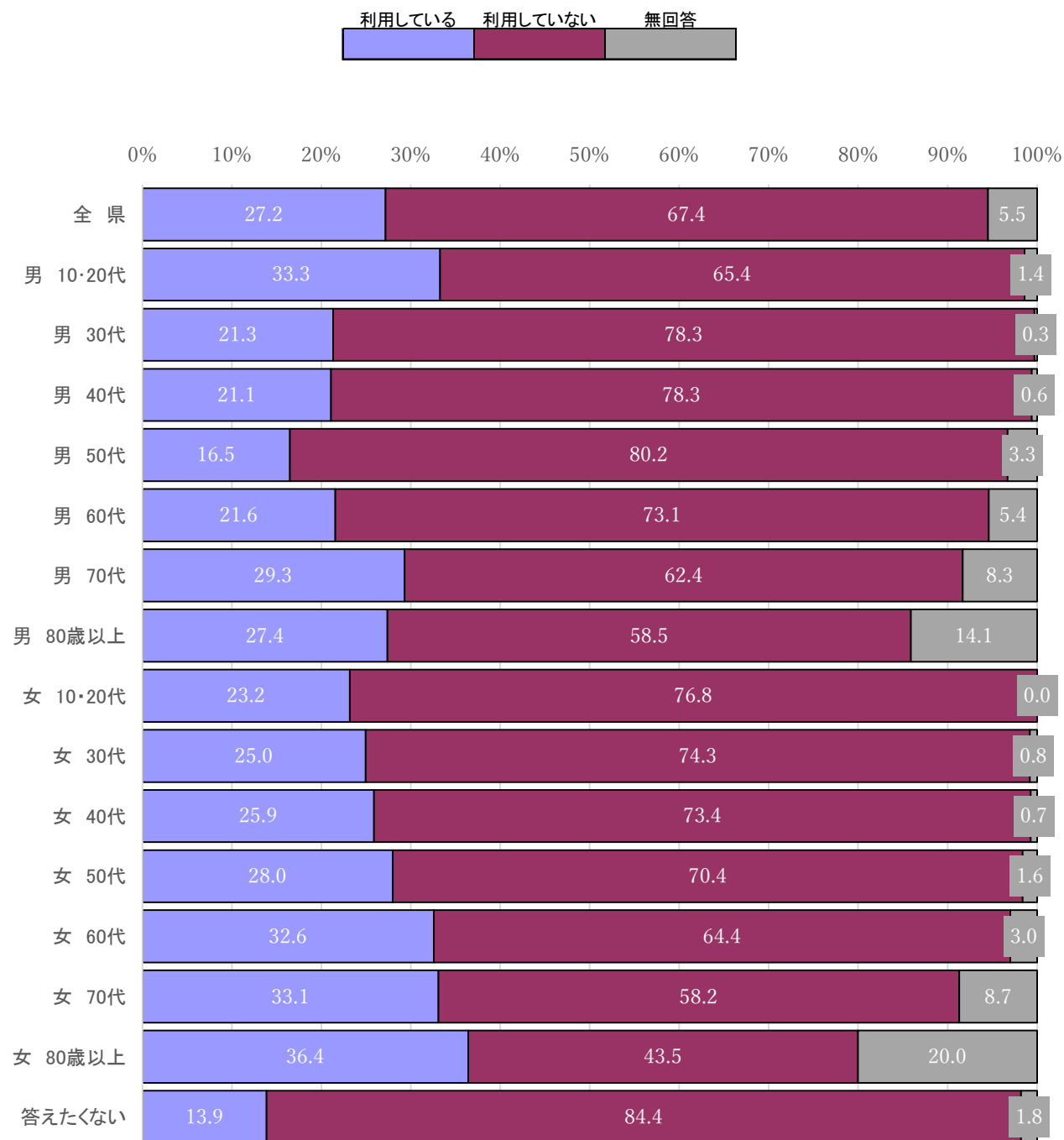


減塩やたんぱく質強化食品の利用状況

【性・年代別】

「利用している」は男性では10・20代が最も多く(33.3%)、次いで70代(29.3%)、80歳以上(27.4%)が多い。女性では「利用している」は80歳以上で最も多く(36.4%)、次いで70代(33.1%)、60代(32.6%)が多い。

「利用していない」は男性では50代が最も多く(80.2%)、次いで30代、40代(30代、40代ともに78.3%)、60代(73.1%)が多い。女性では「利用していない」は10・20代が最も多く(76.8%)、次いで30代(74.3%)、40代(73.4%)が多い。



減塩やたんぱく質強化食品を購入する際に期待すること

問 13 減塩やたんぱく質強化食品を購入する際に期待すること

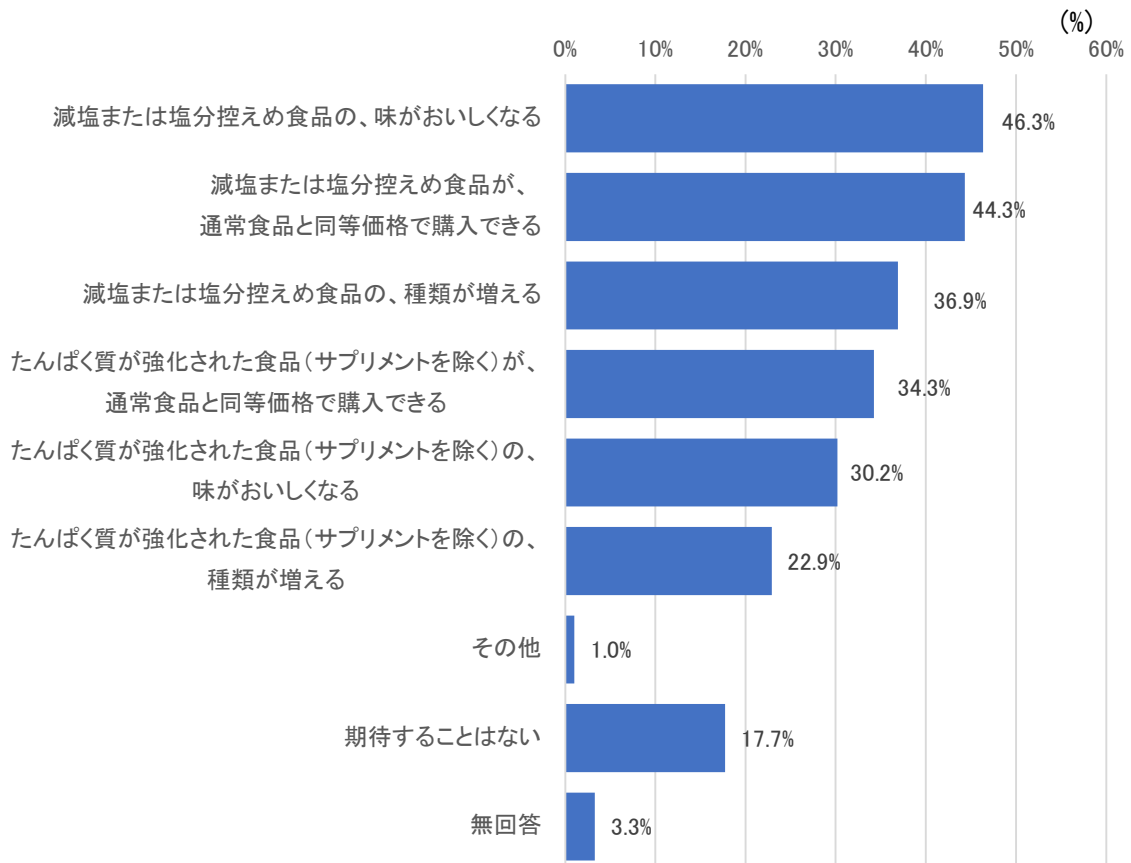
問 13

減塩食品やたんぱく質強化食品(サプリメントを除く)を店で購入する時、あなたが期待することを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 減塩または塩分控えめ食品の、種類が増える
- 2 減塩または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる
- 3 減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる
- 4 たんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)の、種類が増える
- 5 たんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)が、通常食品と同等価格で購入できる
- 6 たんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)の、味がおいしくなる
- 7 その他
- 8 期待することはない

【全県】

「減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる(46.3%)」が最も多く、「減塩または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる(44.3%)」、「減塩または塩分控えめ食品の、種類が増える(36.9%)」が続いている。



減塩やたんぱく質強化食品を購入する際に期待すること

【地域別】

全県において最も回答の多い「減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる」は東播磨(48.3%)が最も多く、次いで神戸(48.0%)、中播磨(47.4%)が多い。

区分	減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる	減塩または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる	減塩または塩分控えめ食品の種類が増える	たんぱく質が強化された食品(たんぱく質を除去した食品と同等価格で購入できる)	最大値	最小値	期待することはない	無回答		
					たんぱく質が強化された食品(たんぱく質を除去した食品)の、味がおいしくなる	たんぱく質が強化された食品の種類が増える			その他	
全 県	46.3	44.3	36.9	34.3	30.2	22.9	1.0	17.7	3.3	
地域別	神 戸	48.0	42.0	33.1	33.5	30.6	25.3	0.7	17.8	3.6
	阪神南	45.0	45.3	37.0	33.2	29.4	20.1	1.0	20.1	2.8
	阪神北	45.6	46.2	37.3	34.8	31.6	21.5	1.3	15.2	3.5
	東播磨	48.3	47.7	39.9	39.9	32.7	26.5	1.2	18.1	1.6
	北播磨	43.6	43.6	39.7	34.9	28.3	21.8	2.0	17.9	2.6
	中播磨	47.4	44.3	37.6	35.2	29.3	22.6	1.0	17.4	3.8
	西播磨	43.0	41.2	43.0	28.7	26.3	19.9	1.2	14.9	5.3
	但 馬	42.3	42.9	39.6	30.5	30.8	21.8	0.0	19.6	3.6
	丹 波	41.3	43.5	39.4	31.7	27.6	20.6	1.0	17.1	6.3
	淡 路	46.8	44.6	37.3	30.1	26.6	18.4	0.9	14.9	6.0
地域間の差	7.0	6.5	9.9	11.2	6.4	8.1	2.0	5.2	4.7	

減塩やたんぱく質強化食品を購入する際に期待すること

【性別】

男性では、「減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる」が最も多く(40.2%)、女性では、「減塩または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる」が最も多い(52.0%)。

区分		減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる	通常食品または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる	減塩または塩分控えめ食品の、種類が増える	たんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)が、通常食品と同等価格で購入できる	たんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)の、味がおいしくなる	たんぱく質が強化された食品(サプリメントを除く)の、種類が増える	その他	期待することはない	無回答
全 県		46.3	44.3	36.9	34.3	30.2	22.9	1.0	17.7	3.3
性別	男 性	40.2	34.1	33.1	27.7	24.9	17.9	0.7	23.8	2.2
	女 性	50.9	52.0	40.3	39.3	34.2	26.8	1.3	12.8	3.9
	答えたくない	43.5	42.0	29.3	31.3	27.0	22.2	0.0	29.6	2.4
性別間の差		10.7	17.9	7.2	11.6	9.3	8.9	0.6	11.0	1.7

減塩やたんぱく質強化食品を購入する際に期待すること

【年代別】

50代、70代では「減塩または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる」が最も多く、80歳以上では「減塩または塩分控えめ食品の、種類が増える」が最も多い。10・20代から40代、60代では「減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる」が最も多い。

区分	減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる	通常食品または塩分控えめ食品が、減塩または塩分控えめ食品と同等価格で購入できる	減塩または塩分控えめ食品の種類が増える	たんぱく質強化された食品が、通常食品と同等価格で購入できる	たんぱく質強化された食品の味		たんぱく質強化された食品の種類が増える	その他	期待することはない	無回答
					最大値	最小値				
全 県	46.3	44.3	36.9	34.3	30.2	22.9	1.0	17.7	3.3	
年代別	10・20代	40.5	34.6	22.3	33.7	34.0	18.3	0.1	23.9	0.1
	30代	46.9	38.9	25.8	35.9	36.6	20.1	1.2	24.4	0.5
	40代	42.7	42.4	26.7	36.8	33.7	23.2	2.0	19.3	0.1
	50代	48.0	48.6	35.8	36.0	29.0	23.8	1.8	18.2	1.2
	60代	51.3	49.7	39.8	33.3	25.4	22.0	0.7	15.5	1.4
	70代	48.3	52.7	49.0	36.8	30.4	26.5	0.8	14.7	4.5
	80歳以上	42.9	33.4	47.2	27.1	27.7	23.8	0.2	12.8	13.7
年代間の差	10.8	19.3	26.7	9.7	11.2	8.2	1.9	11.6	13.6	

減塩やたんぱく質強化食品を購入する際に期待すること

【性・年代別】

男性では、80歳以上を除く各年代で「減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる」が最も多く、80歳以上は「減塩または塩分控えめ食品の、種類が増える」が最も多い。

女性では、30代で「減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる」が最も多く、10・20代、50代から70代では「減塩または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる」が最も多く、80歳以上では「減塩または塩分控えめ食品の、種類が増える」が最も多かった。40代では「減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる」、「減塩または塩分控えめ食品が、通常食品と同等価格で購入できる」が最も多かった。

区分	減塩または塩分控えめ食品の、味がおいしくなる	通常食品または塩分控えめ食品が、購入できる	減塩または塩分控えめ食品の、種類が増える	たんぱく質強化された食品と同等価格で購入できる	最大値	たんぱく質強化された食品の、味がおいしくなる	たんぱく質強化された食品の種類が増える	最小値	期待することはない	無回答
					(%)			(%)		
全 県	46.3	44.3	36.9	34.3	30.2	22.9	1.0	17.7	3.3	
男性・年代別	10・20代	46.3	28.1	17.7	40.4	34.6	21.6	0.0	15.5	0.2
	30代	41.4	36.1	21.7	34.1	33.4	16.2	0.0	24.2	0.9
	40代	36.9	34.9	23.5	24.8	27.1	15.6	1.9	27.6	0.0
	50代	34.3	26.2	30.2	20.5	18.6	17.1	1.9	30.9	0.9
	60代	44.3	38.2	43.4	23.5	17.1	17.5	0.5	21.8	2.4
	70代	44.1	43.4	41.4	31.9	29.4	20.6	0.0	21.8	2.2
	80歳以上	33.2	25.7	41.7	25.0	20.2	15.7	0.0	21.6	9.4
男性・年代間の差	13.1	17.7	25.7	19.9	17.5	6.0	1.9	15.4	9.4	
女性・年代別	10・20代	37.1	40.1	24.4	27.6	33.2	13.4	0.2	29.9	0.0
	30代	51.1	42.0	28.4	35.5	37.8	21.9	2.1	24.6	0.1
	40代	46.5	46.5	29.0	45.5	38.4	29.0	2.2	13.7	0.2
	50代	57.9	64.9	40.0	48.7	38.0	30.1	1.9	7.7	1.4
	60代	56.3	59.0	38.0	41.0	31.1	24.9	0.9	10.3	0.7
	70代	51.3	59.4	54.8	40.3	31.3	30.7	1.4	9.7	5.8
	80歳以上	47.6	37.2	50.1	28.4	31.7	28.1	0.3	8.0	15.9
女性・年代間の差	20.8	27.7	30.4	21.1	7.3	17.3	2.0	22.2	15.9	
答えたくない	43.5	42.0	29.3	31.3	27.0	22.2	0.0	29.6	2.4	

問 14-ア 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-ア

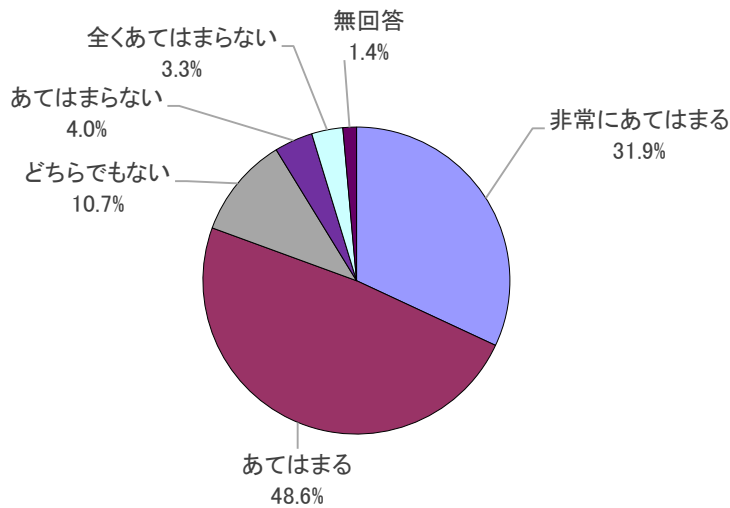
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

ア 「消費期限」「アレルギー表示」など容器包装に記載されている食品表示を確認する

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

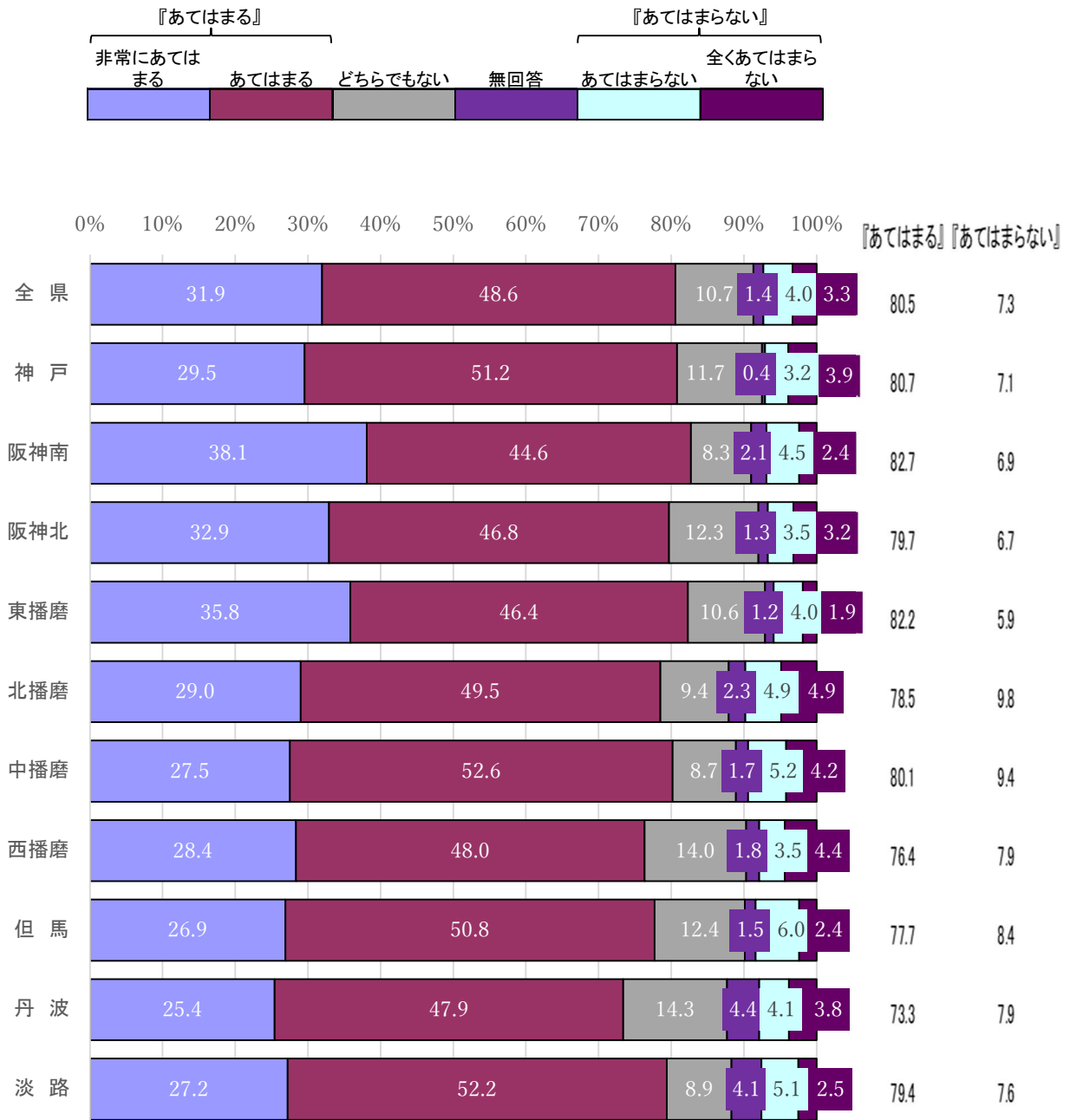
「非常にあてはまる (31.9%)」と、「あてはまる (48.6%)」を合わせた『あてはまる』は 80.5%で、「あてはまらない (4.0%)」と、「全くあてはまらない (3.3%)」を合わせた『あてはまらない』は、7.3%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	80.5%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	7.3%

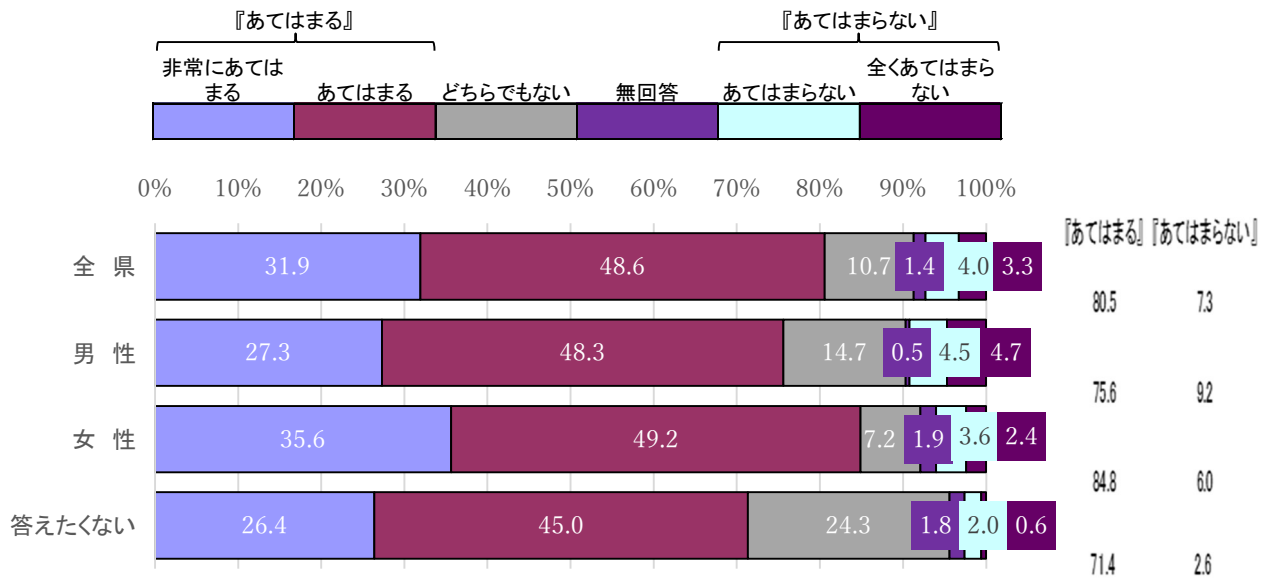
【地域別】

『あてはまる』は阪神南（82.7%）が最も多く、次いで東播磨（82.2%）、神戸（80.7%）が多い。



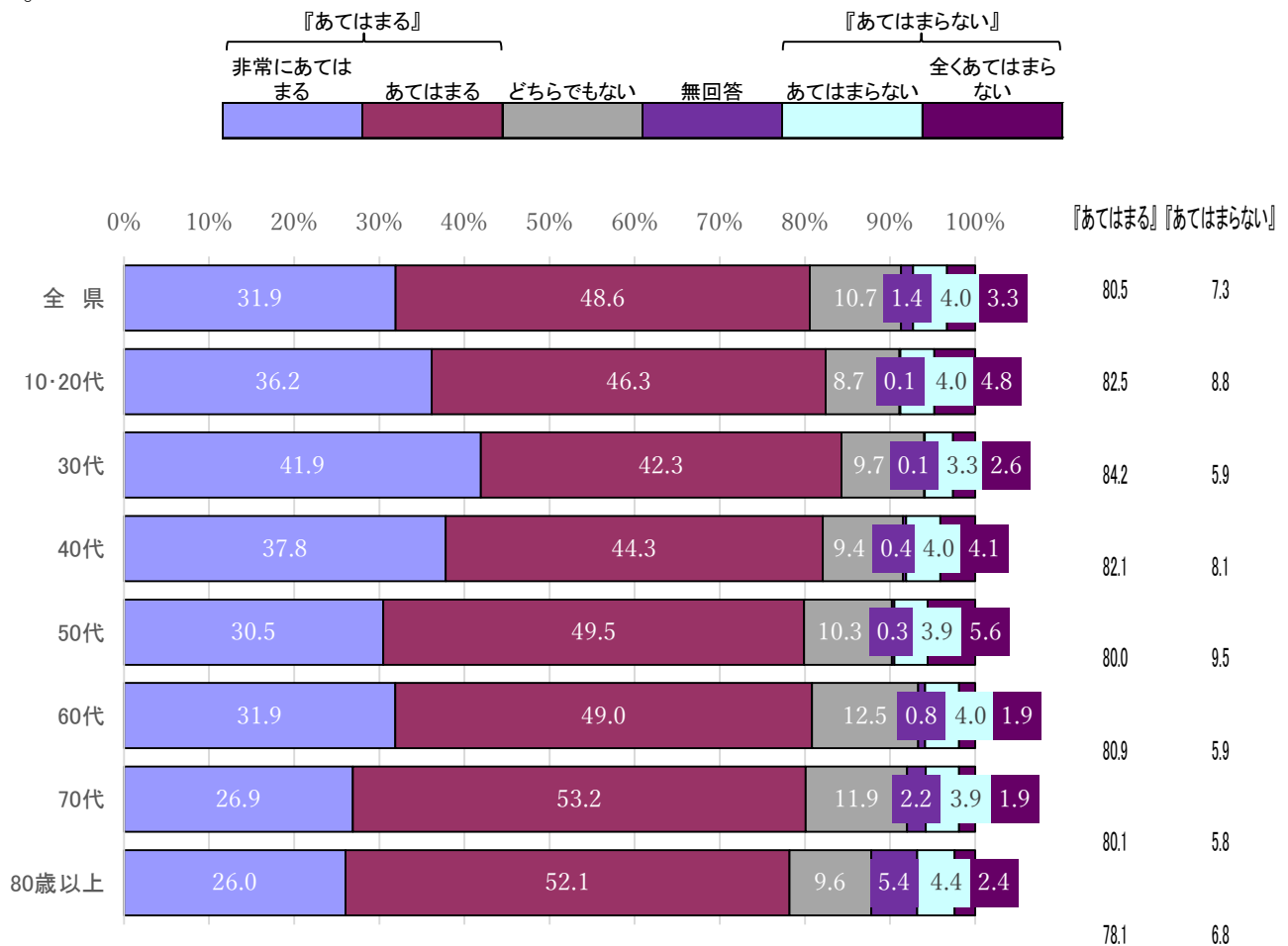
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも9.2ポイント多い（男性75.6%、女性84.8%）。



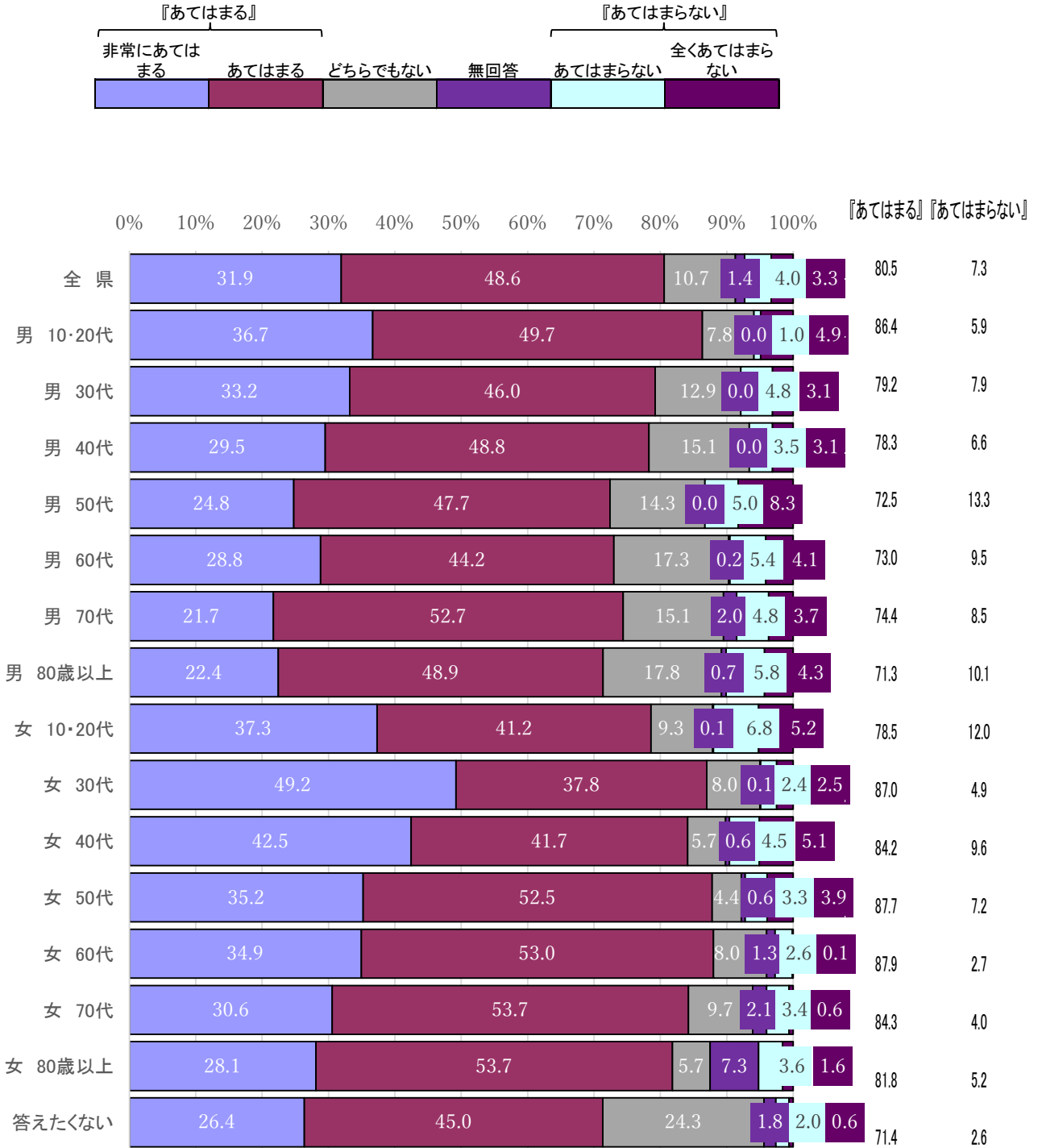
【年代別】

『あてはまる』は、30代（84.2%）が最も多く、次いで10・20代（82.5%）、40代（82.1%）が多い。



【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は10・20代（86.4%）、女性は60代（87.9%）が最も多い。



問 14-イ 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-イ

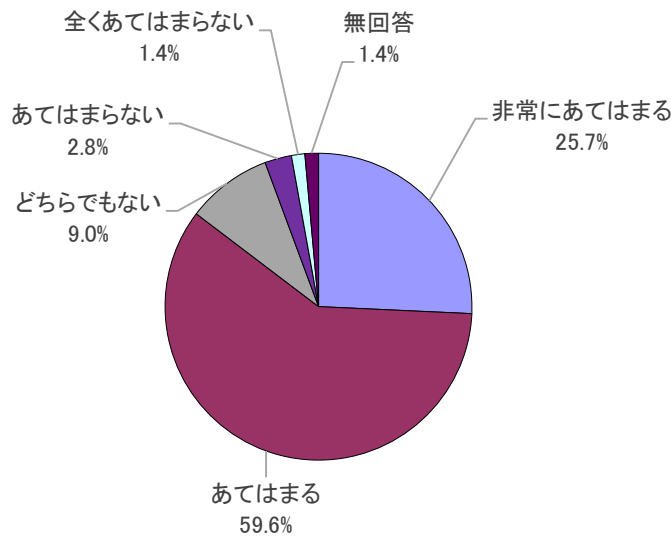
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

イ 食品に表示されている「保存方法」や「使用方法」を守る

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

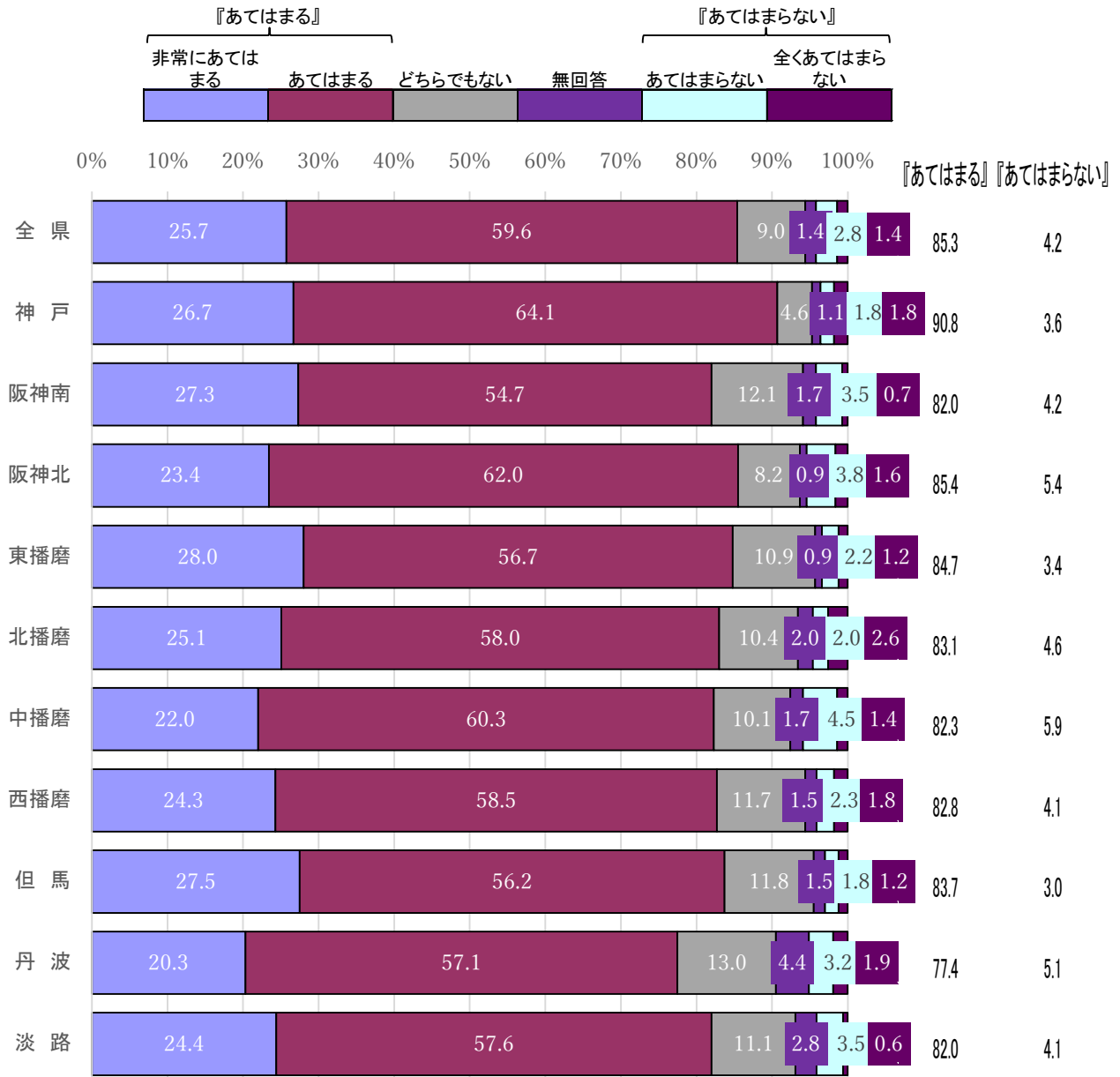
「非常にあてはまる (25.7%)」と、「あてはまる (59.6%)」を合わせた『あてはまる』は 85.3%で、「あてはまらない (2.8%)」と、「全くあてはまらない (1.4%)」を合わせた『あてはまらない』は、4.2%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	85.3%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	4.2%

【地域別】

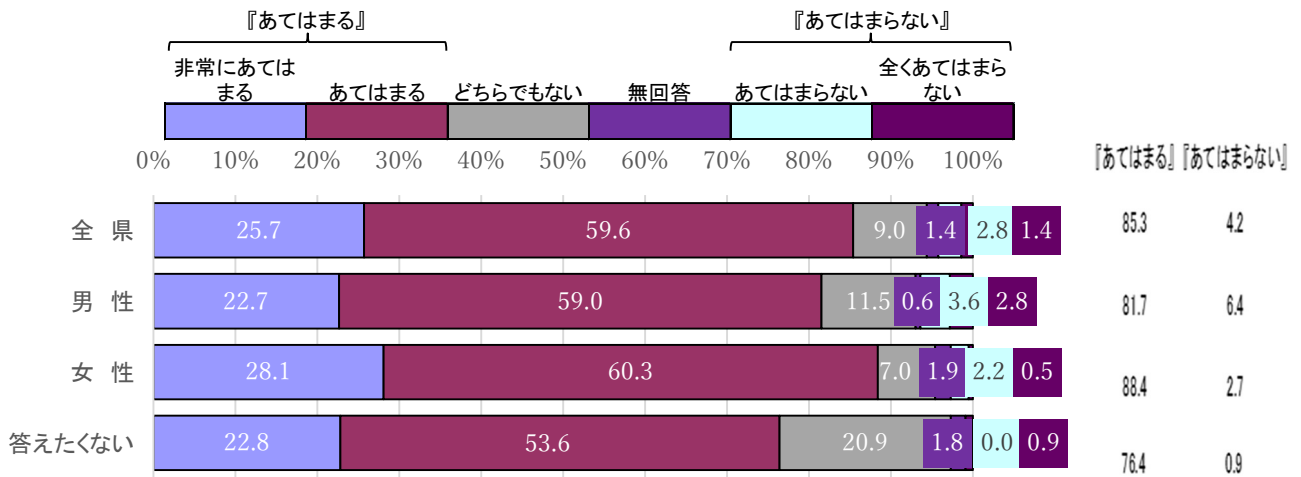
『あてはまる』は神戸（90.8%）が最も多く、次いで阪神北（85.4%）、東播磨（84.7%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

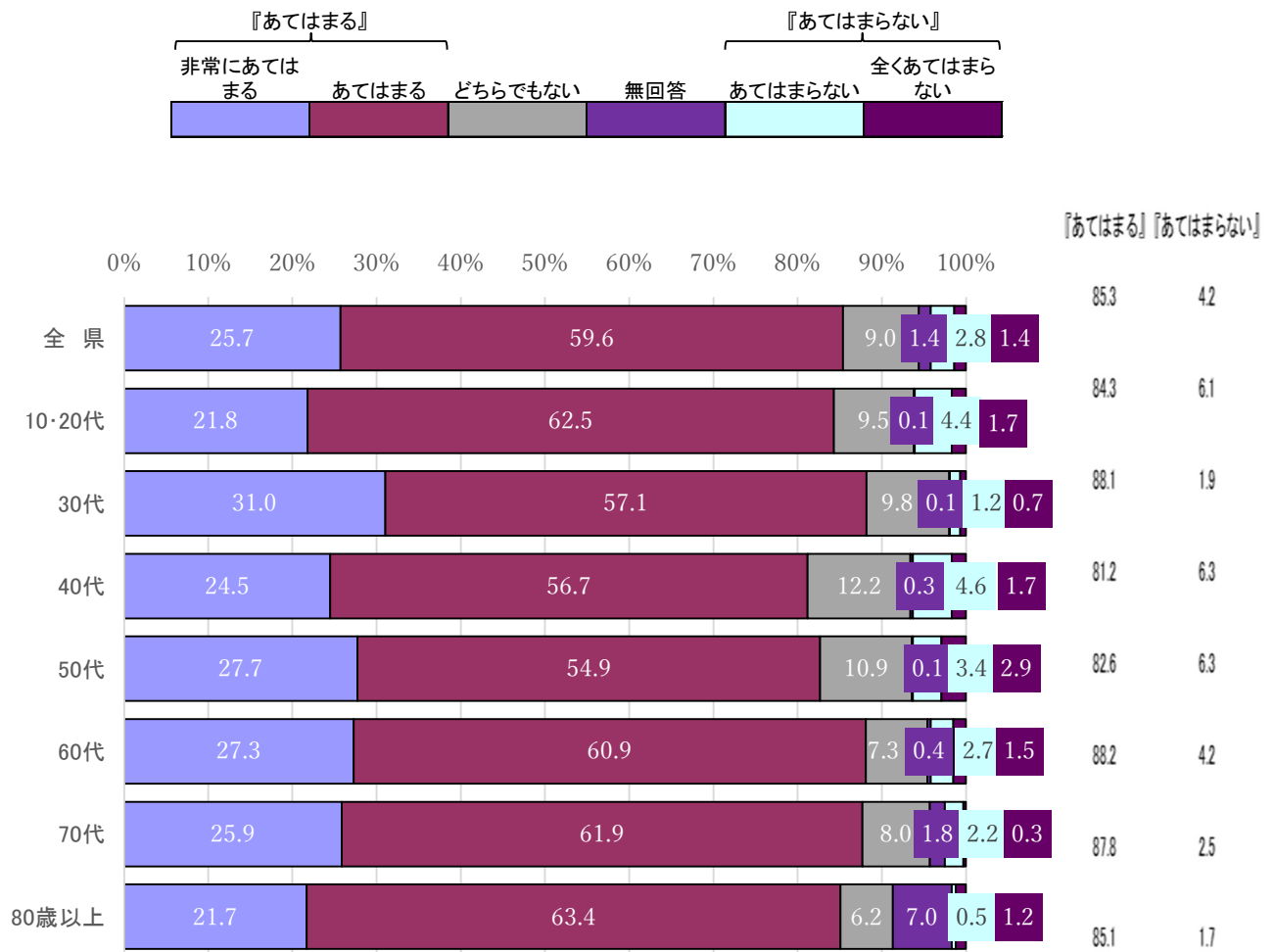
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも6.7ポイント多い（男性81.7%、女性88.4%）。



【年代別】

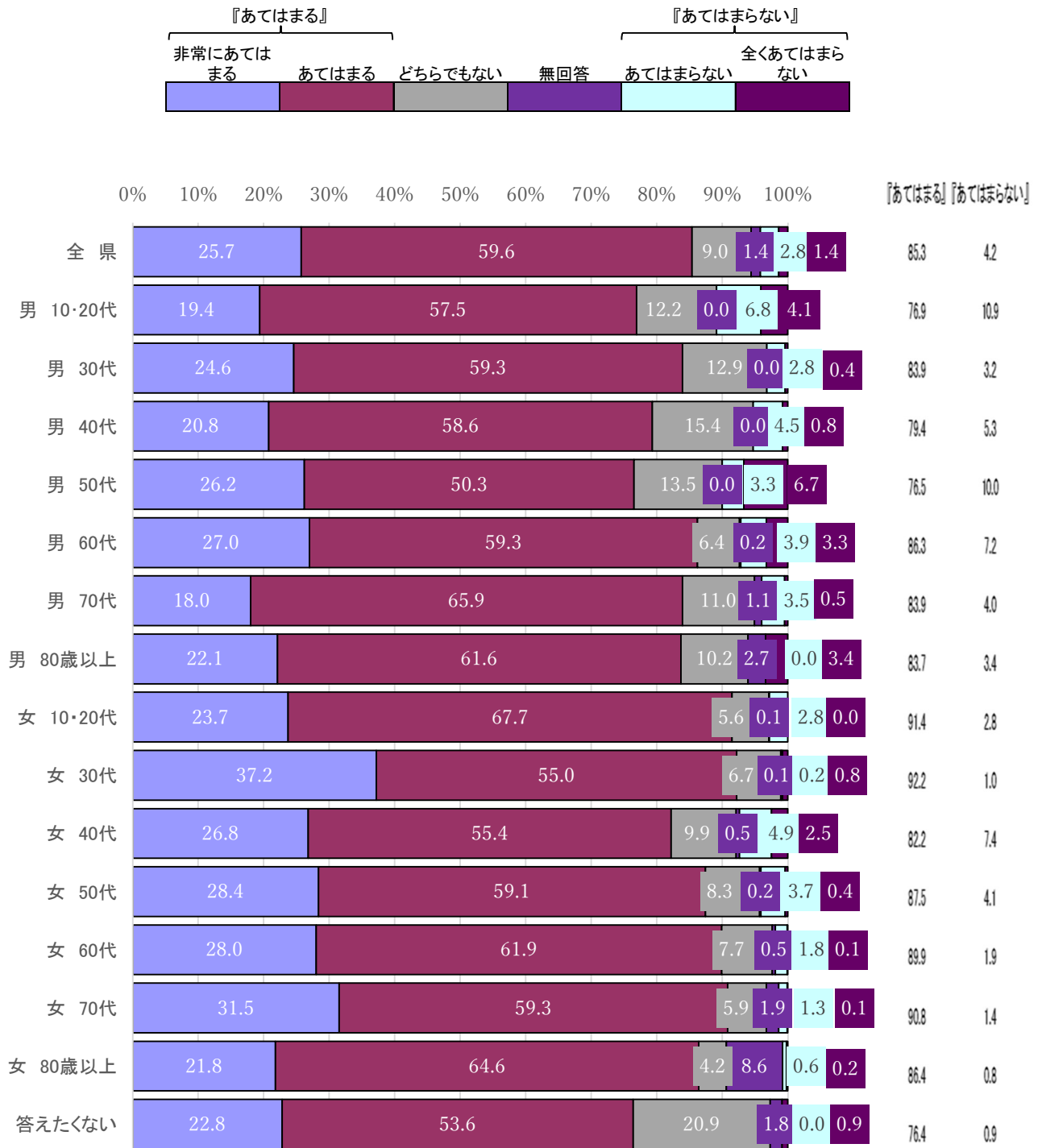
『あてはまる』は、60代（88.2%）が最も多く、次いで30代（88.1%）、70代（87.8%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は60代（86.3%）、女性は30代（92.2%）が最も多い。



問 14-ウ 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-ウ

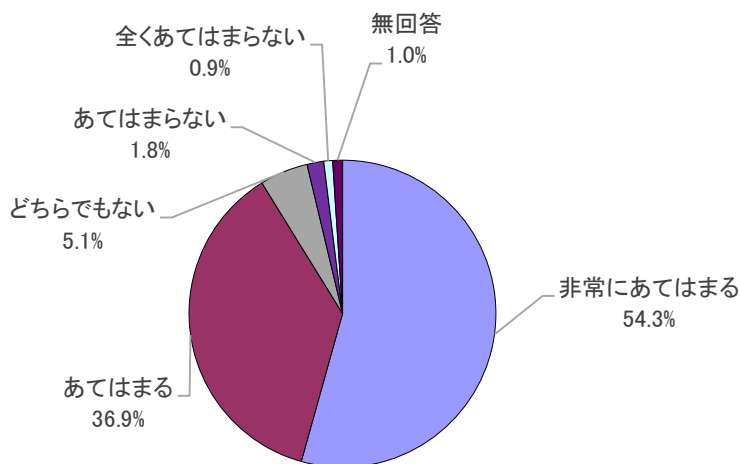
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

ウ 調理前や調理中(魚、肉、卵等、生の食材を扱った後)、食事前に手洗いをする

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

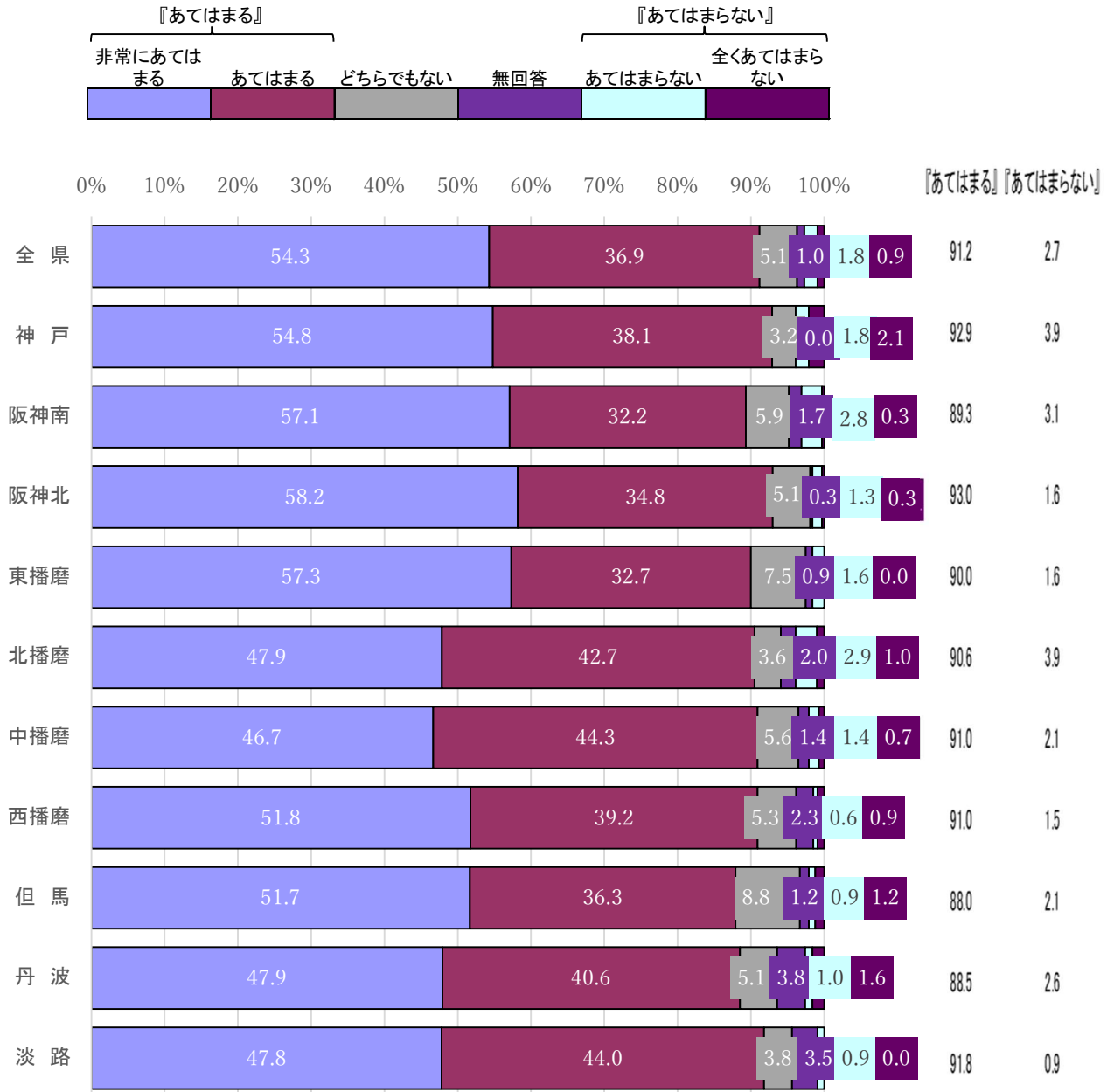
「非常にあてはまる (54.3%)」と、「あてはまる (36.9%)」を合わせた『あてはまる』は 91.2%で、「あてはまらない (1.8%)」と、「全くあてはまらない (0.9%)」を合わせた『あてはまらない』は、2.7%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	91.2%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	2.7%

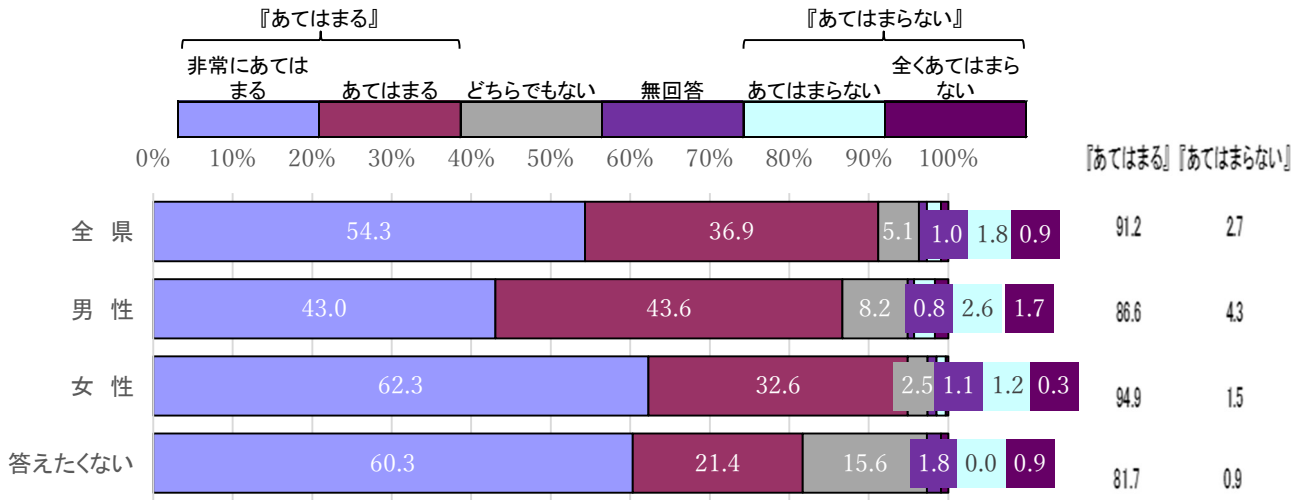
【地域別】

『あてはまる』は阪神北（93.0%）が最も多く、次いで神戸（92.9%）、淡路（91.8%）が多い。



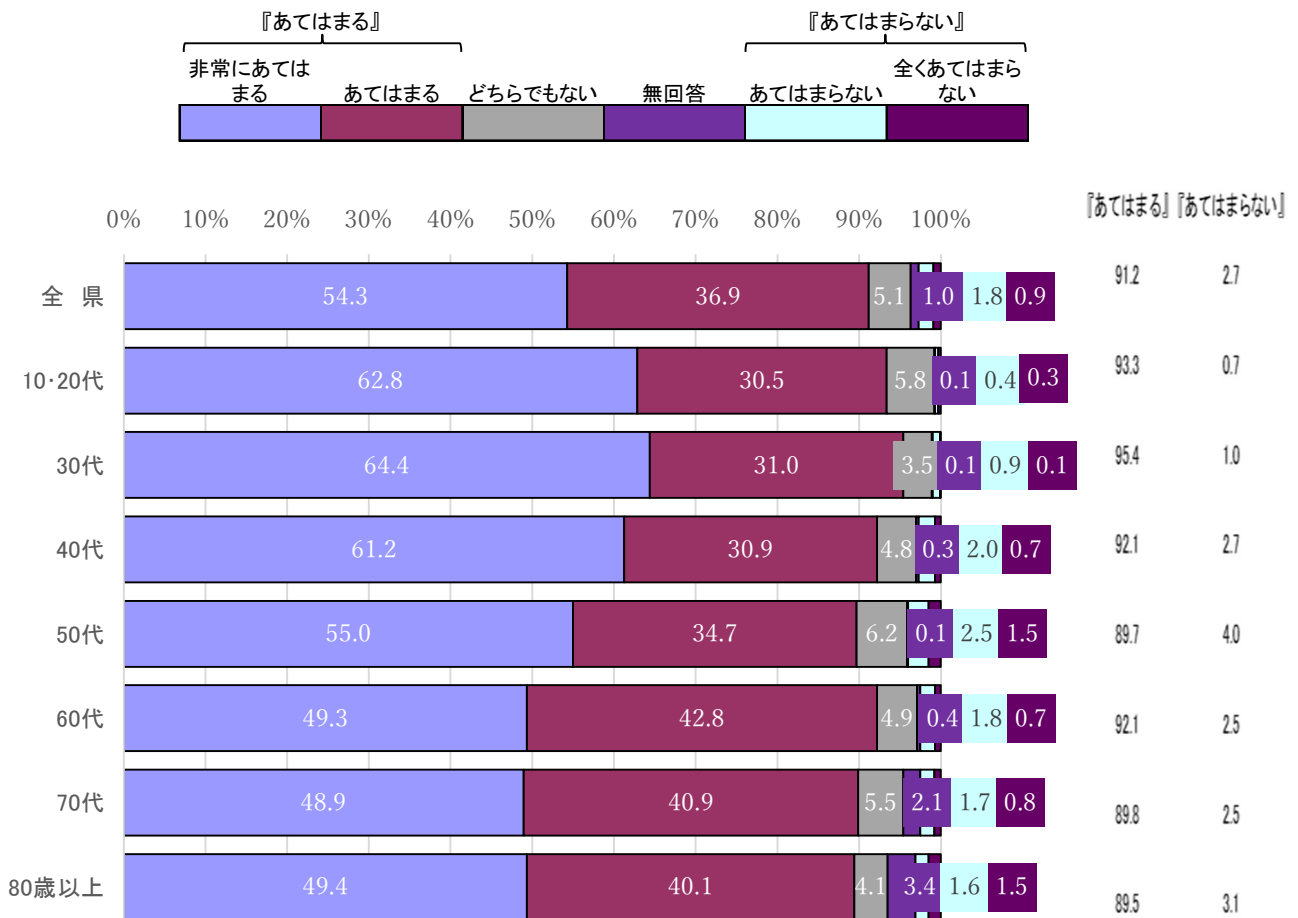
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも8.3ポイント多い（男性86.6%、女性94.9%）。



【年代別】

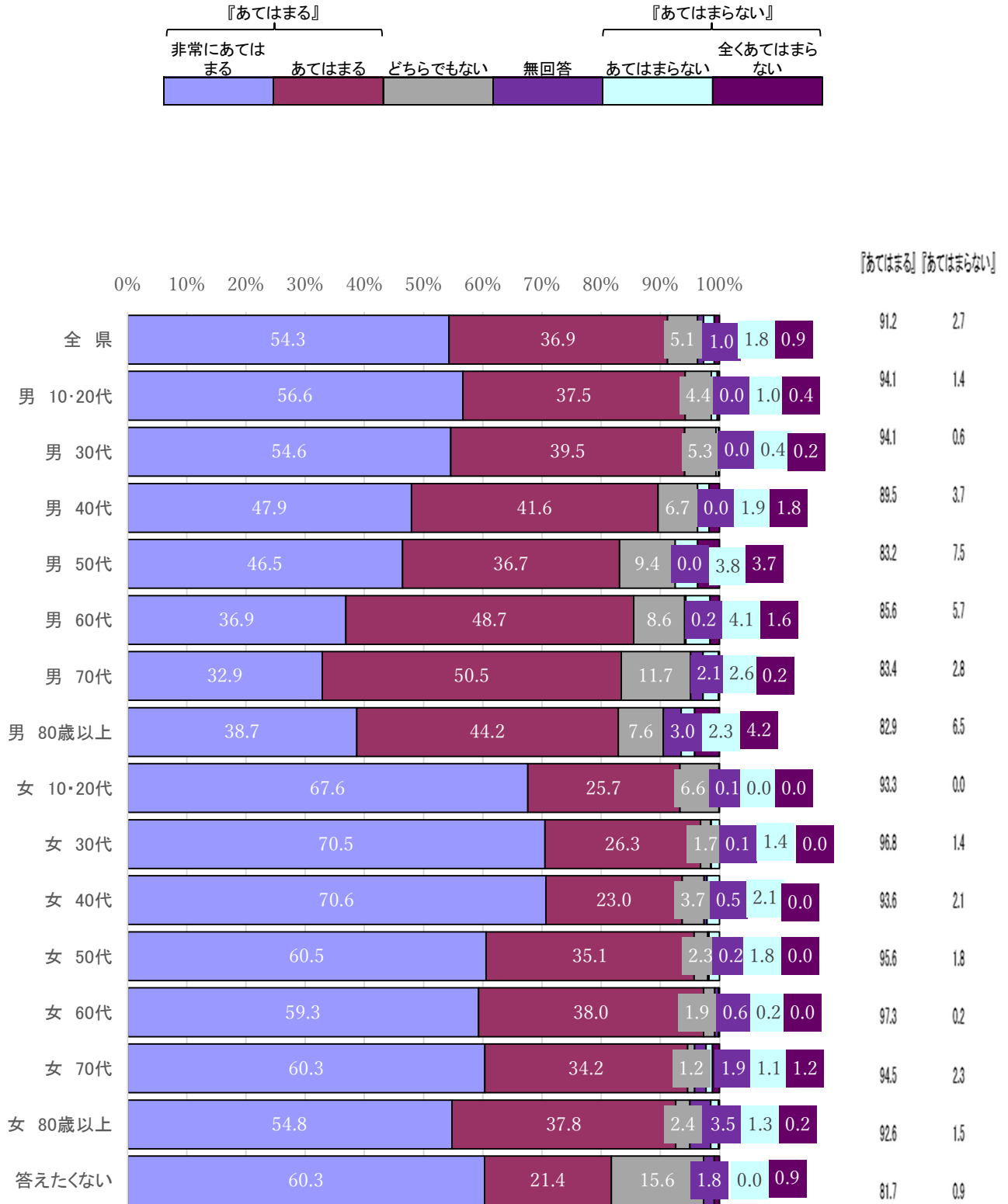
『あてはまる』は、30代（95.4%）が最も多く、次いで10・20代（93.3%）、40代、60代（40代、60代ともに92.1%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は10・20代、30代（10・20代、30代ともに94.1%）、女性は60代（97.3%）が最も多い。



問 14-エ 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-工

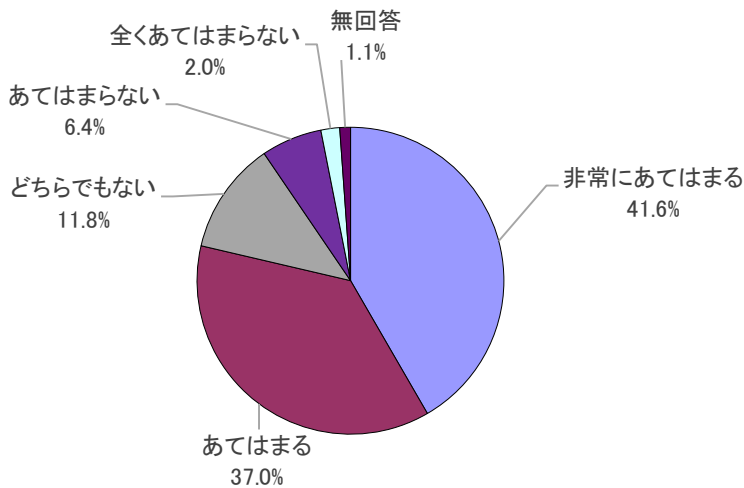
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

工 生肉や生魚を扱った包丁、まな板などの器具は、専用のもを使うか、他の調理に使用する場合には熱湯をかける(またはよく洗う)

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

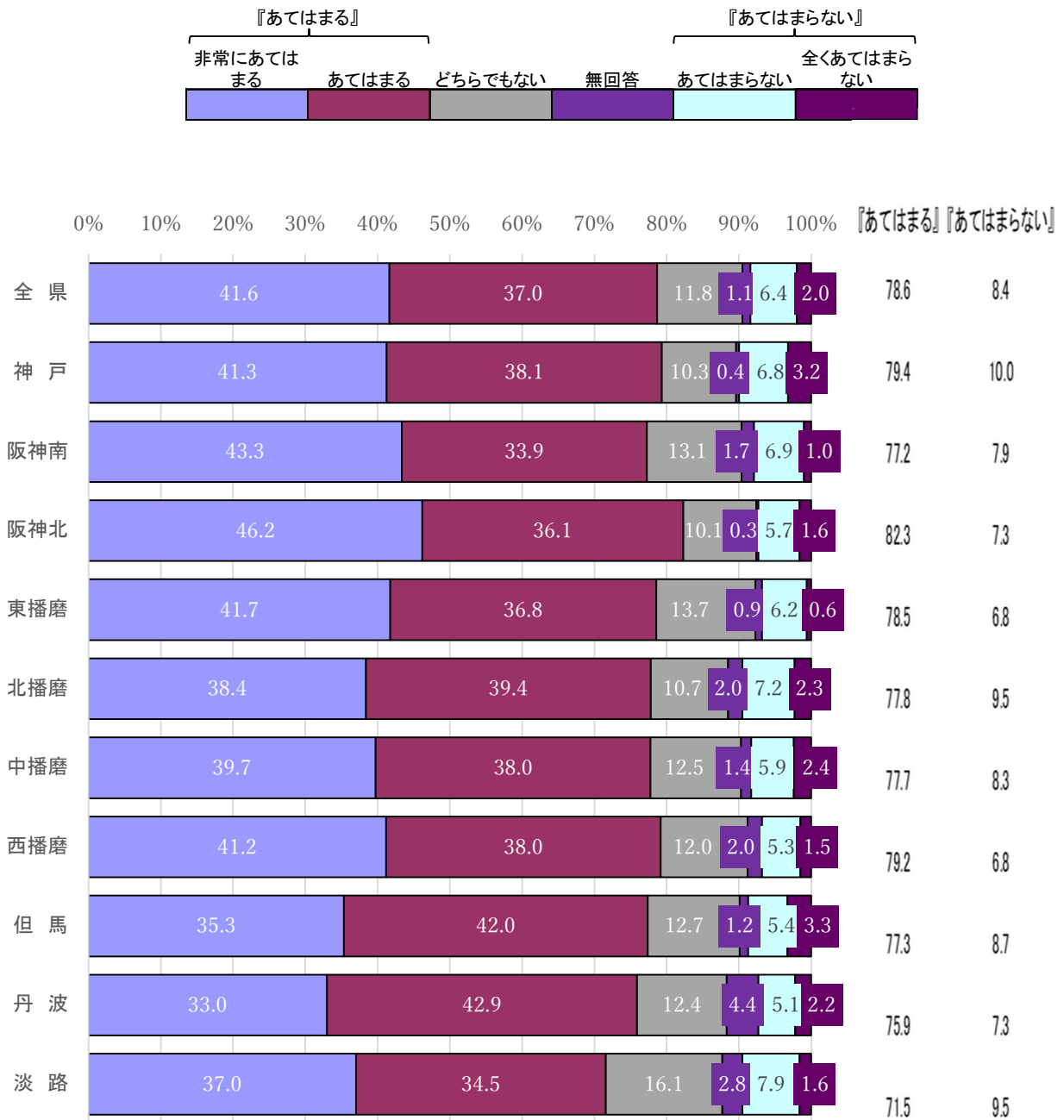
「非常にあてはまる (41.6%)」と、「あてはまる (37.0%)」を合わせた『あてはまる』は 78.6%で、「あてはまらない (6.4%)」と、「全くあてはまらない (2.0%)」を合わせた『あてはまらない』は、8.4%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	78.6%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	8.4%

【地域別】

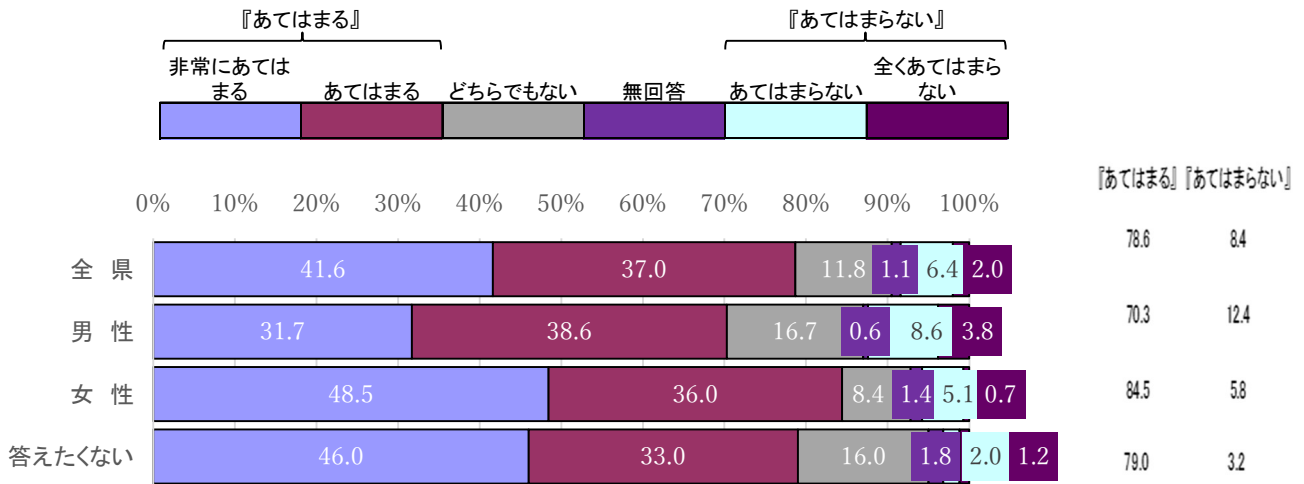
『あてはまる』は阪神北（82.3%）が最も多く、次いで神戸（79.4%）、西播磨（79.2%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

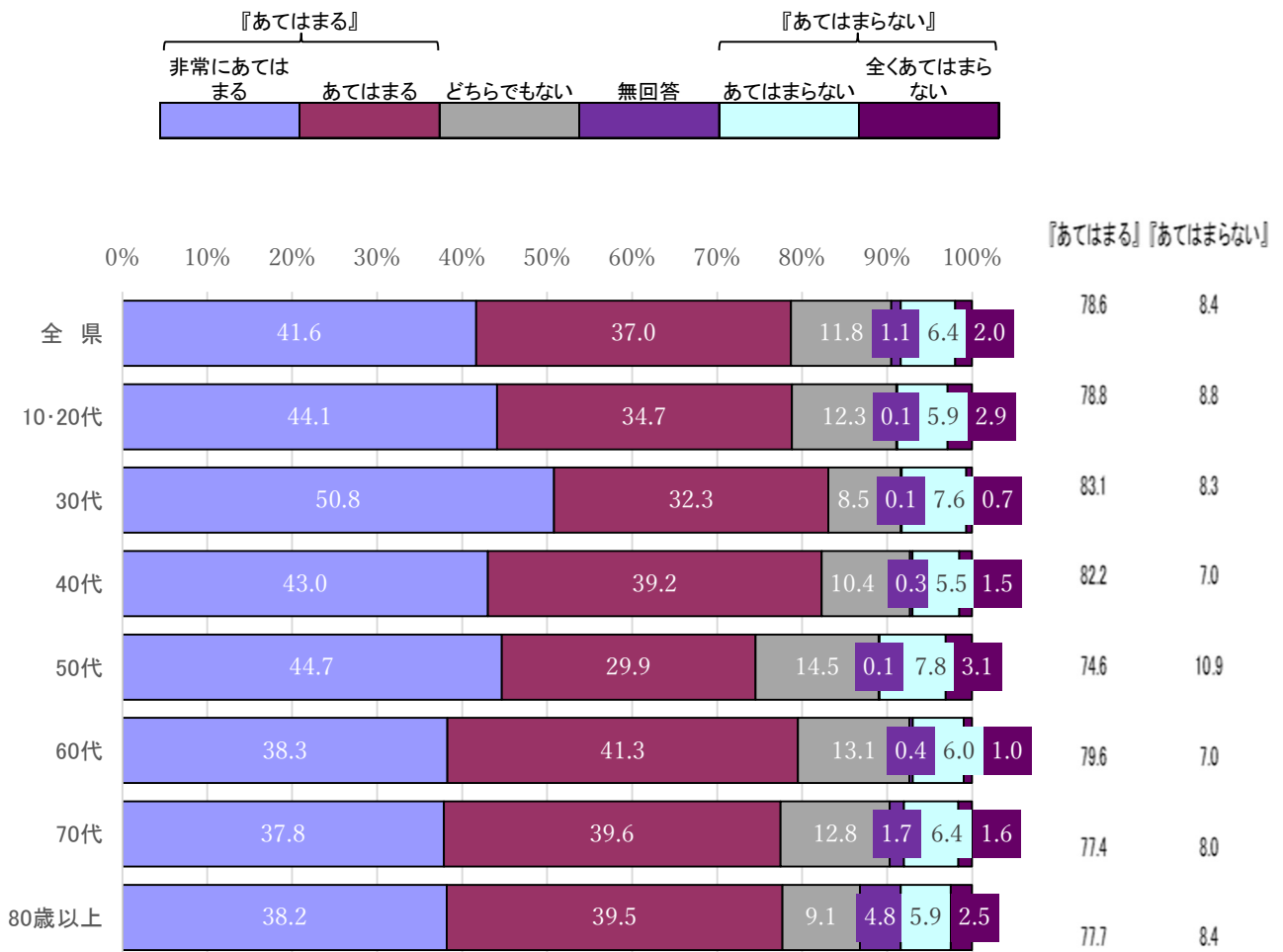
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも14.2ポイント多い（男性70.3%、女性84.5%）。



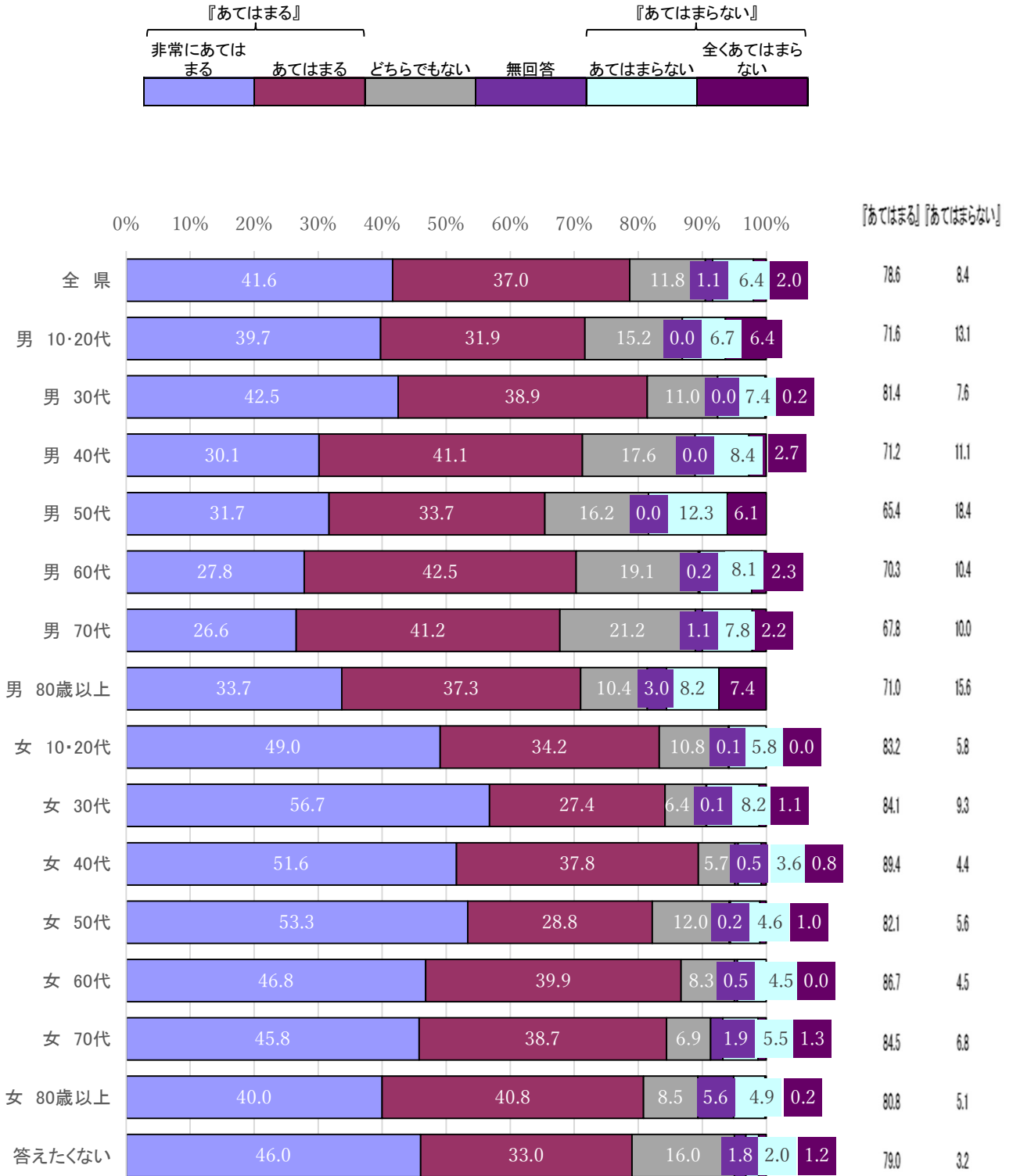
【年代別】

『あてはまる』は、30代（83.1%）が最も多く、次いで40代（82.2%）、60代（79.6%）が多い。



【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は30代（81.4%）、女性は40代（89.4%）が最も多い。



問 14-オ 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-オ

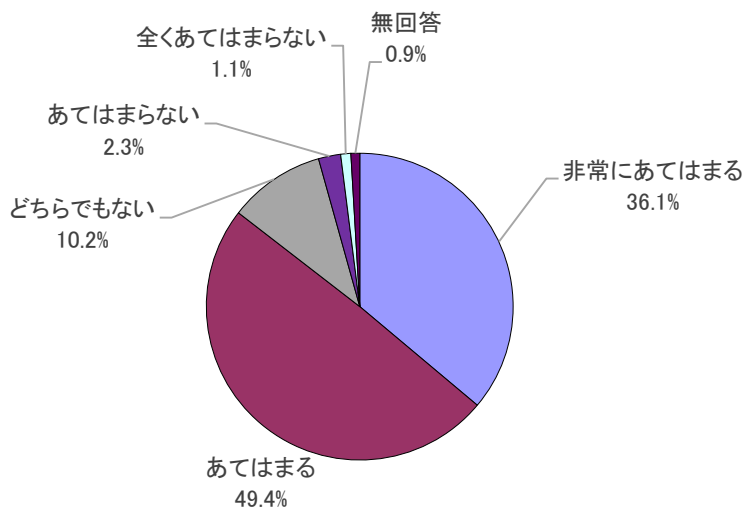
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

オ 料理は、長時間、室温で放置しない

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

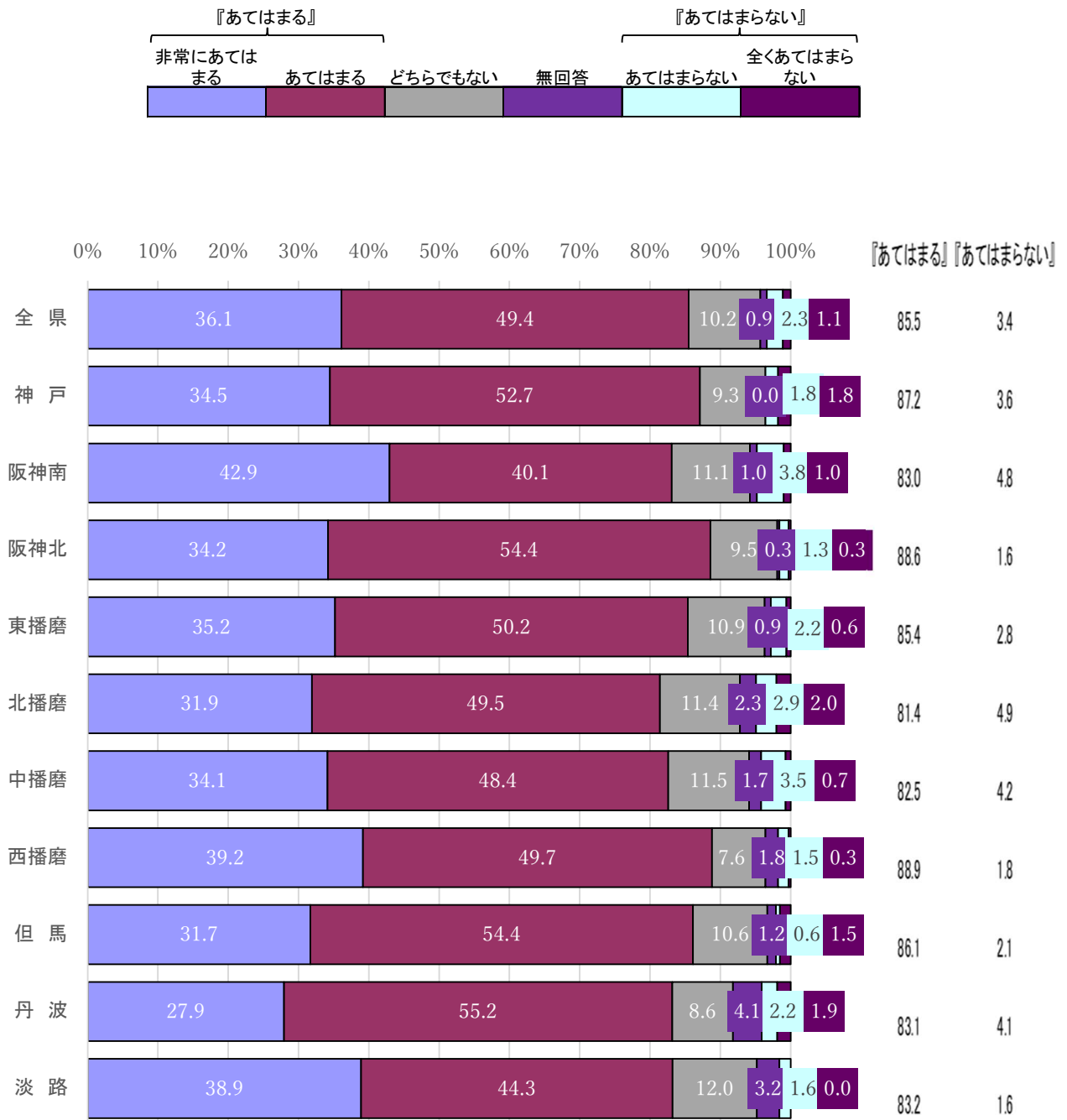
「非常にあてはまる (36.1%)」と、「あてはまる (49.4%)」を合わせた『あてはまる』は 85.5%で、「あてはまらない (2.3%)」と、「全くあてはまらない (1.1%)」を合わせた『あてはまらない』は、3.4%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	85.5%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	3.4%

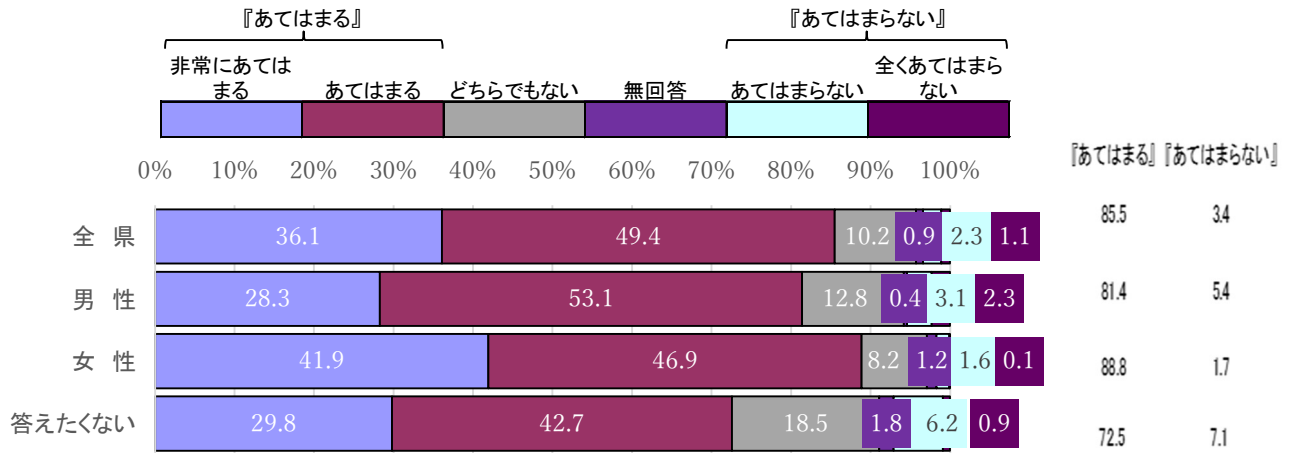
【地域別】

『あてはまる』は西播磨（88.9%）が最も多く、次いで阪神北（88.6%）、神戸（87.2%）が多い。



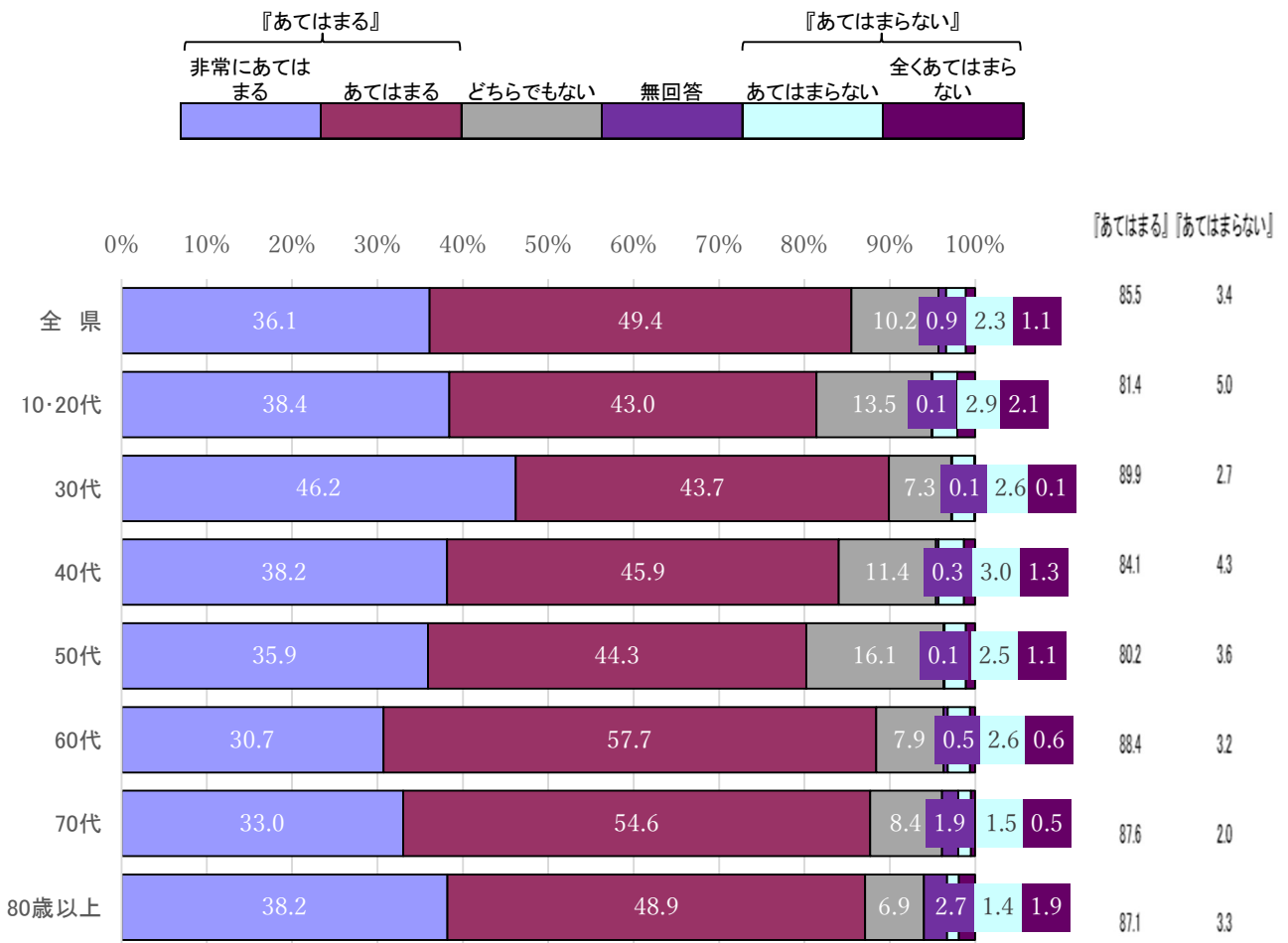
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも7.4ポイント多い（男性81.4%、女性88.8%）。



【年代別】

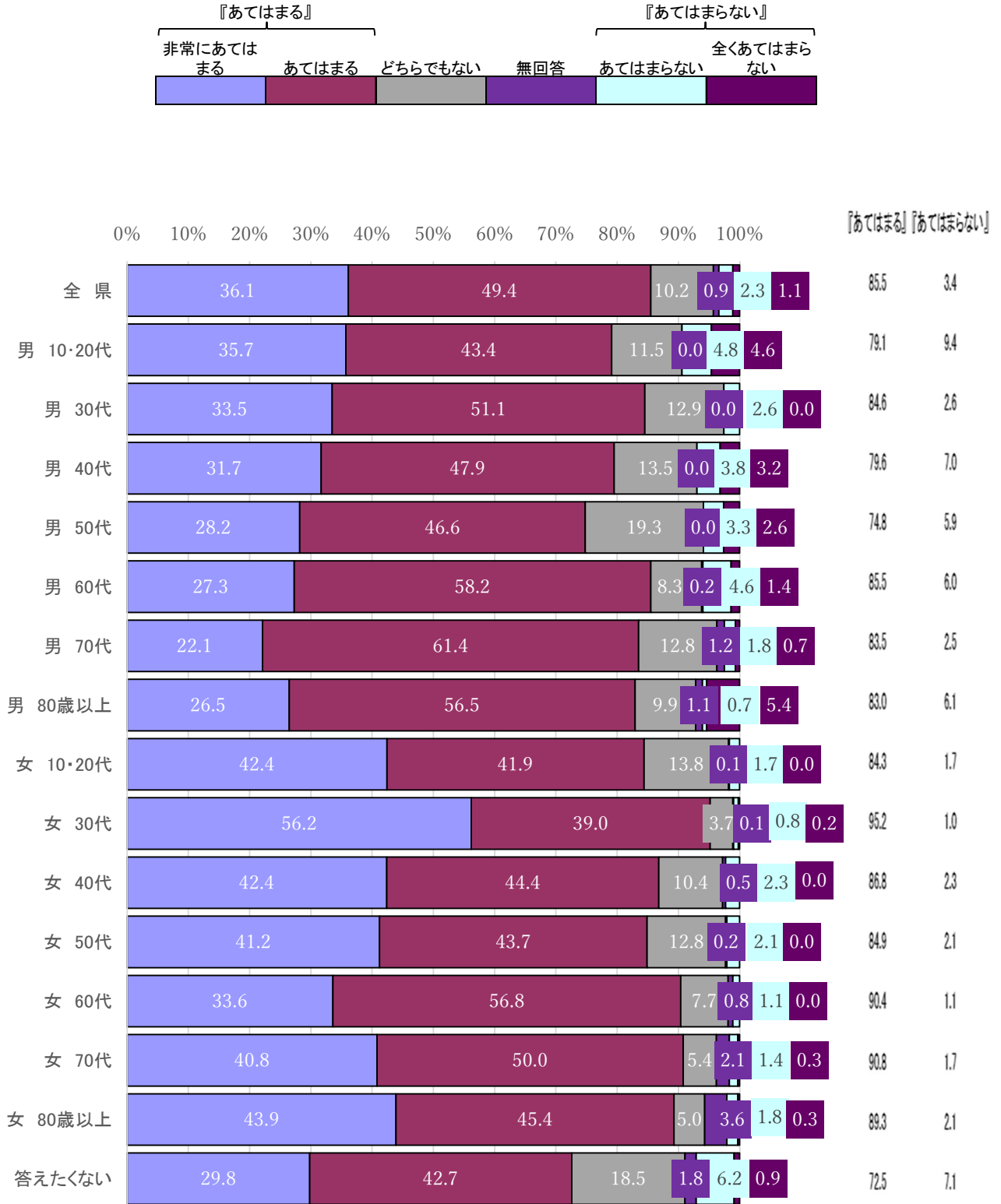
『あてはまる』は、30代（89.9%）が最も多く、次いで60代（88.4%）、70代（87.6%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は60代（85.5%）、女性は30代（95.2%）が最も多い。



問 14-カ 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-カ

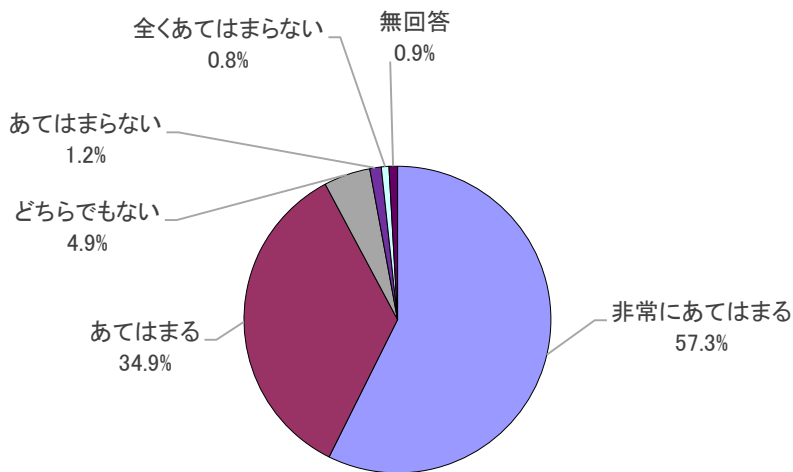
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

カ 生の状態(生食用として販売されているものは除く)や加熱が不十分な状態で肉を食べない

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

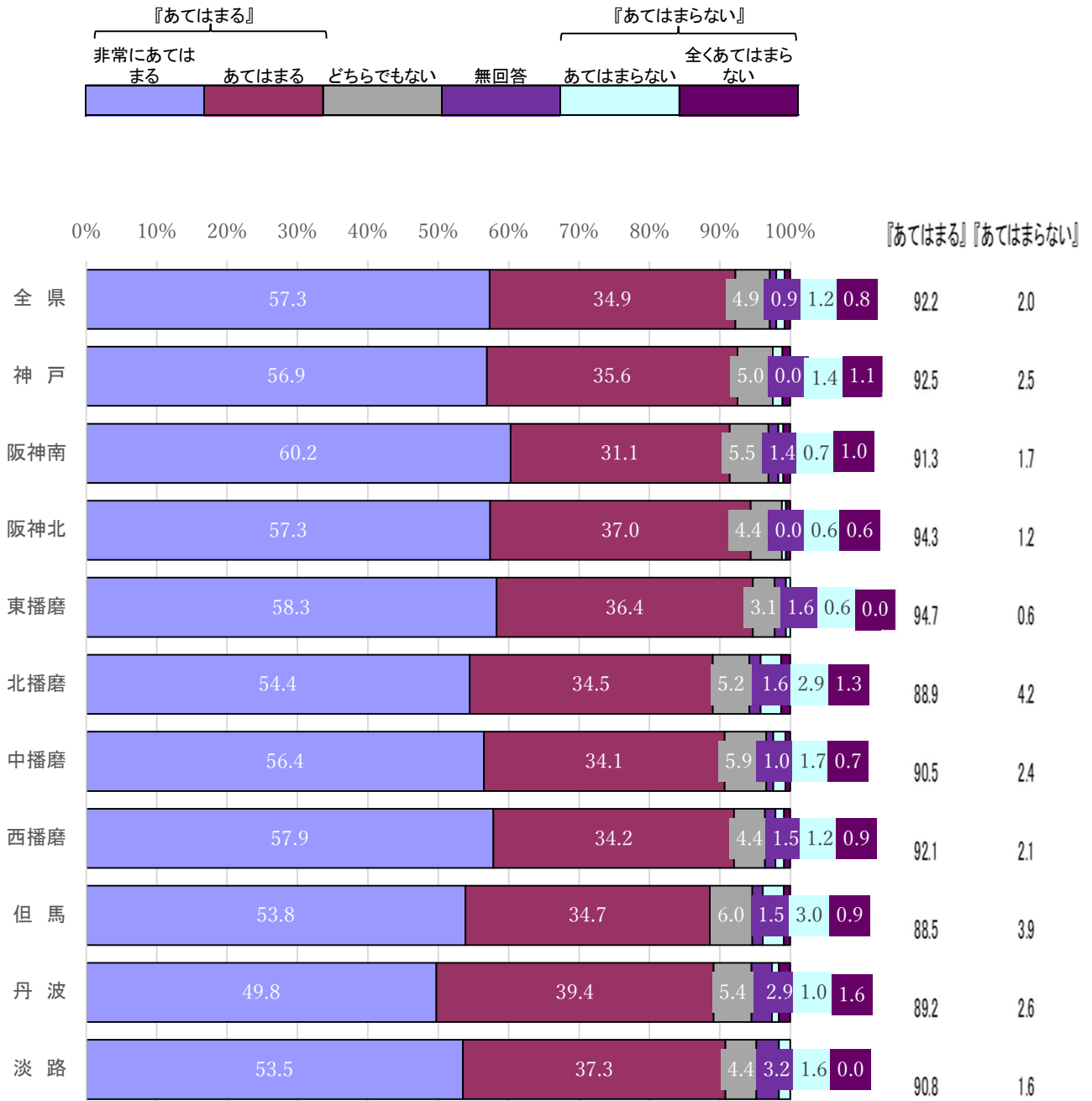
「非常にあてはまる (57.3%)」と、「あてはまる (34.9%)」を合わせた『あてはまる』は 92.2%で、「あてはまらない (1.2%)」と、「全くあてはまらない (0.8%)」を合わせた『あてはまらない』は、2.0%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	92.2%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	2.0%

【地域別】

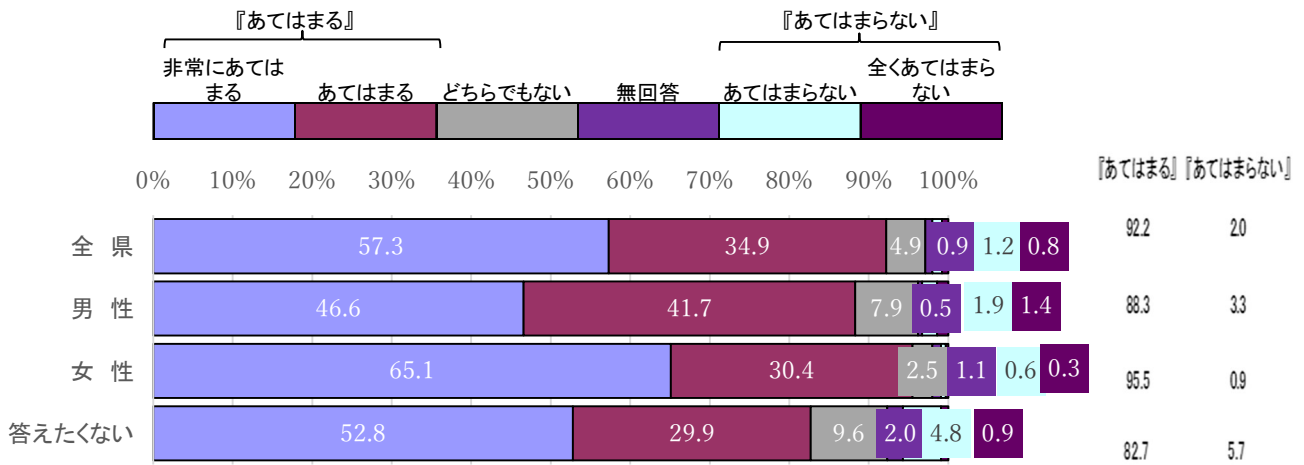
『あてはまる』は東播磨（94.7%）が最も多く、次いで阪神北（94.3%）、神戸（92.5%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

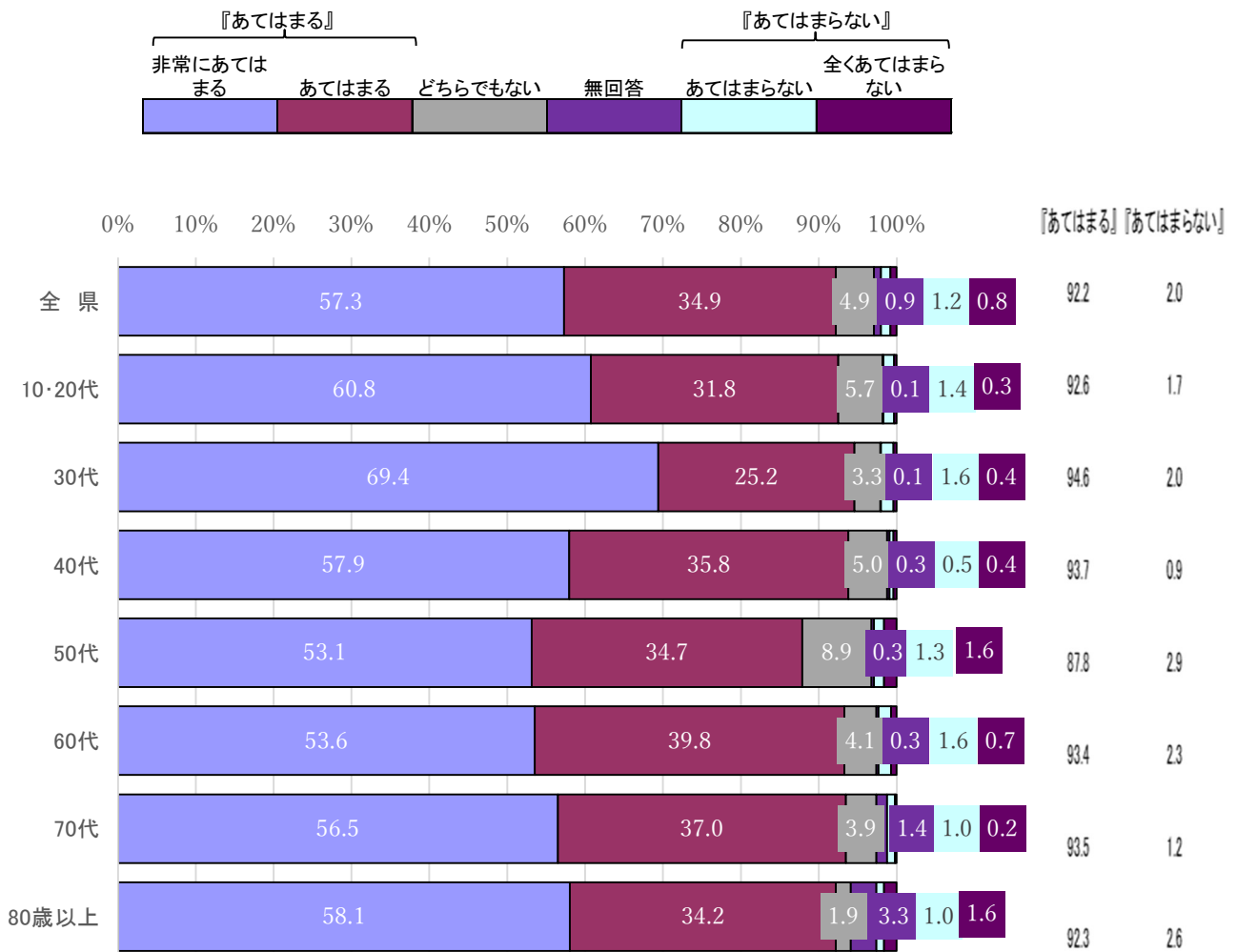
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも7.2ポイント多い（男性88.3%、女性95.5%）。



【年代別】

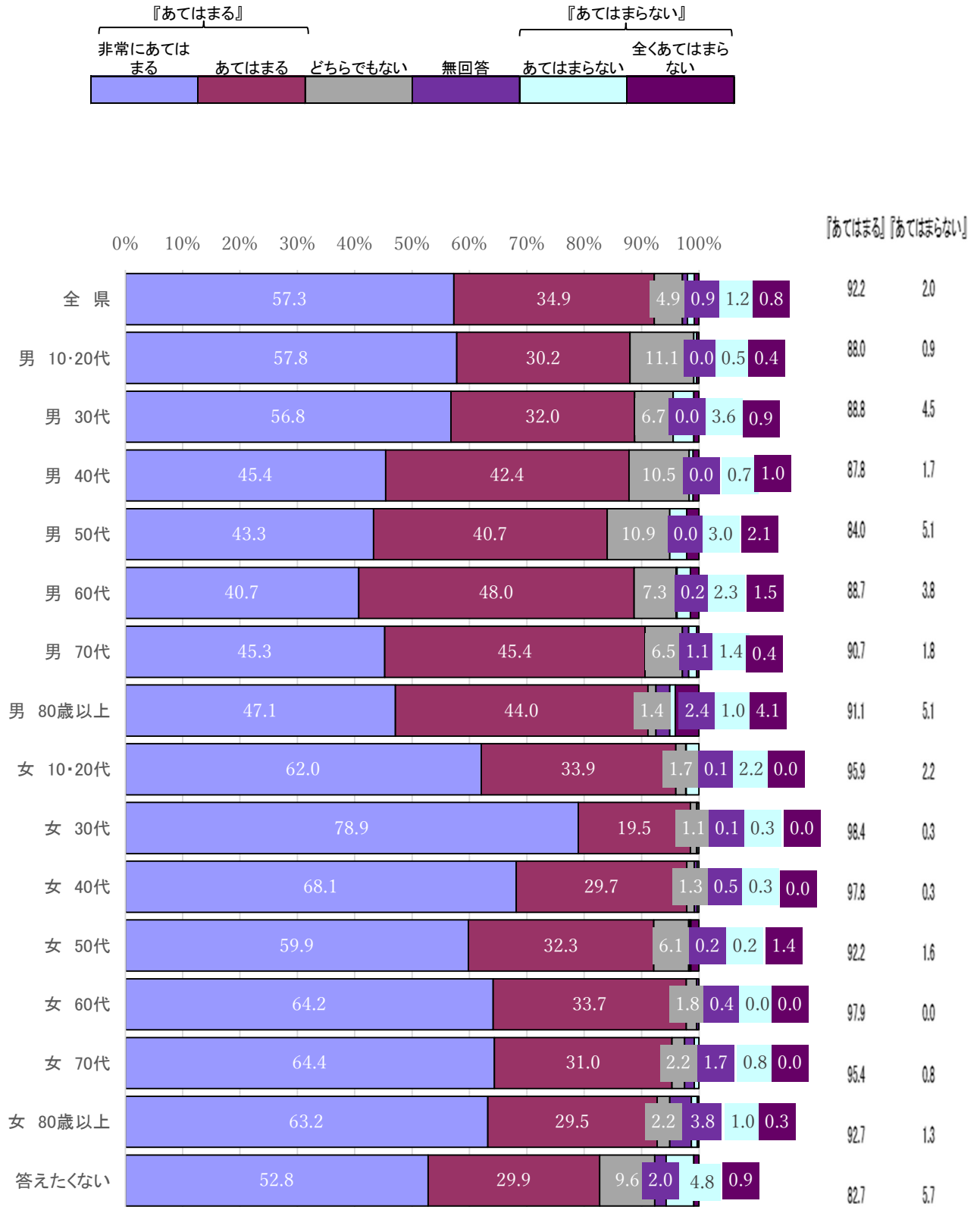
『あてはまる』は、30代（94.6%）が最も多く、次いで40代（93.7%）、70代（93.5%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は80歳以上（91.1%）、女性は30代（98.4%）が最も多い。



問 14-キ 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-キ

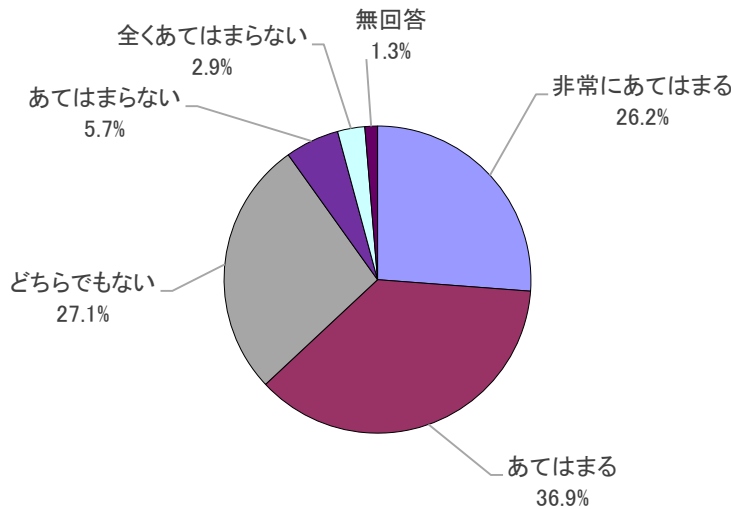
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

キ 健康食品に医薬品と同じような効果を期待しない

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

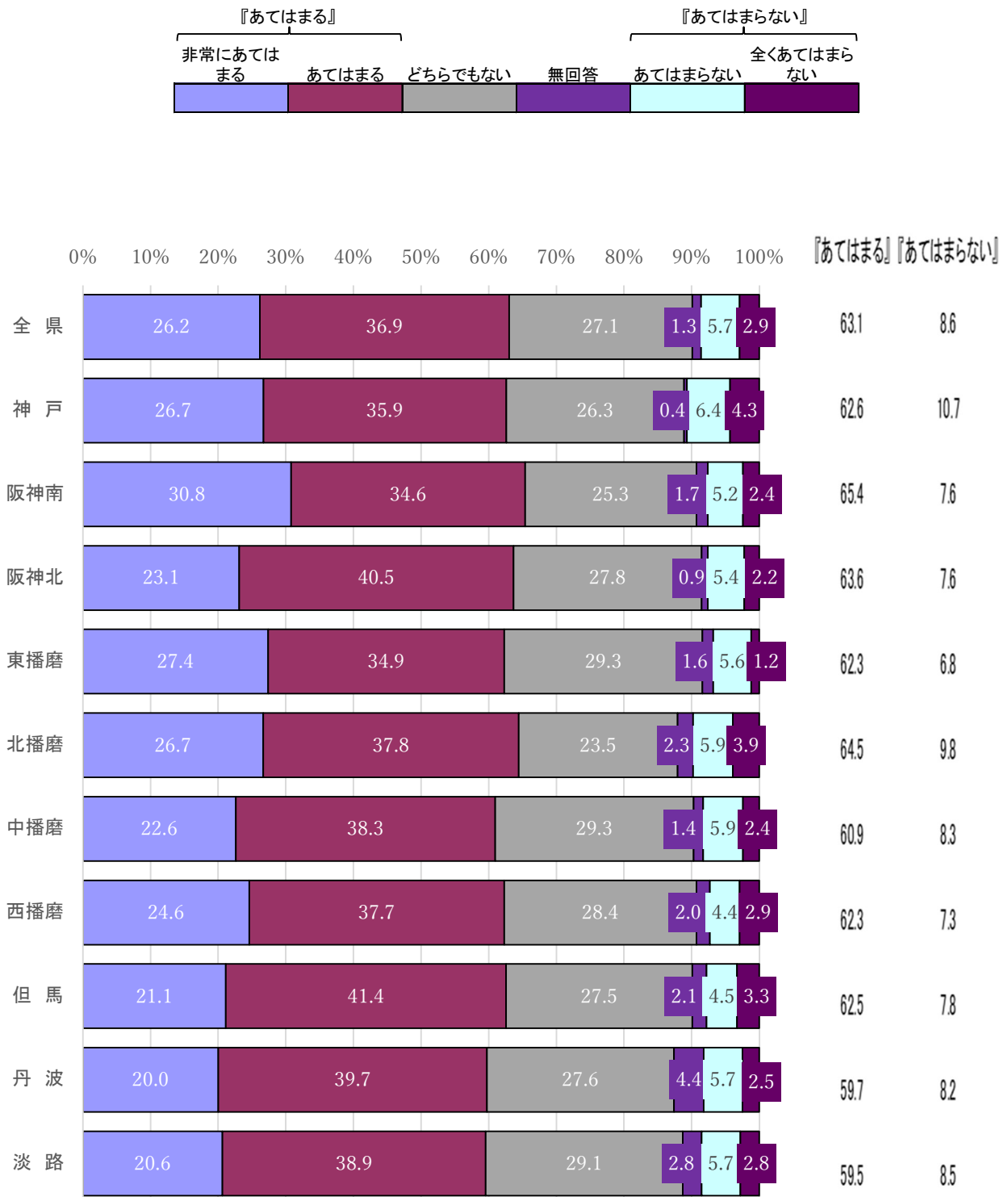
「非常にあてはまる (26.2%)」と、「あてはまる (36.9%)」を合わせた『あてはまる』は 63.1%で、「あてはまらない(5.7%)」と、「全くあてはまらない (2.9%)」を合わせた『あてはまらない』は、8.6%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	63.1%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	8.6%

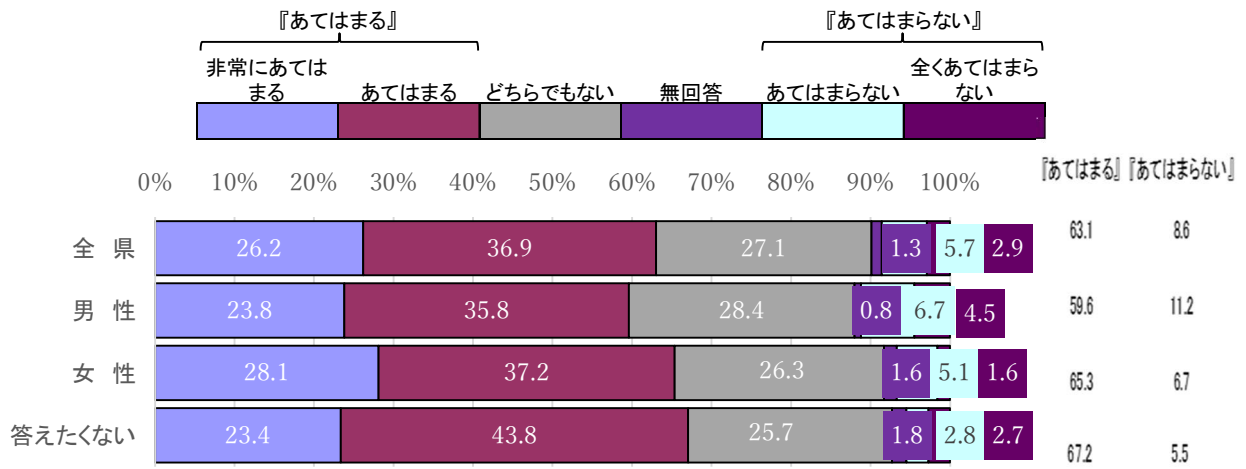
【地域別】

『あてはまる』は阪神南（65.4%）が最も多く、次いで北播磨（64.5%）、阪神北（63.6%）が多い。



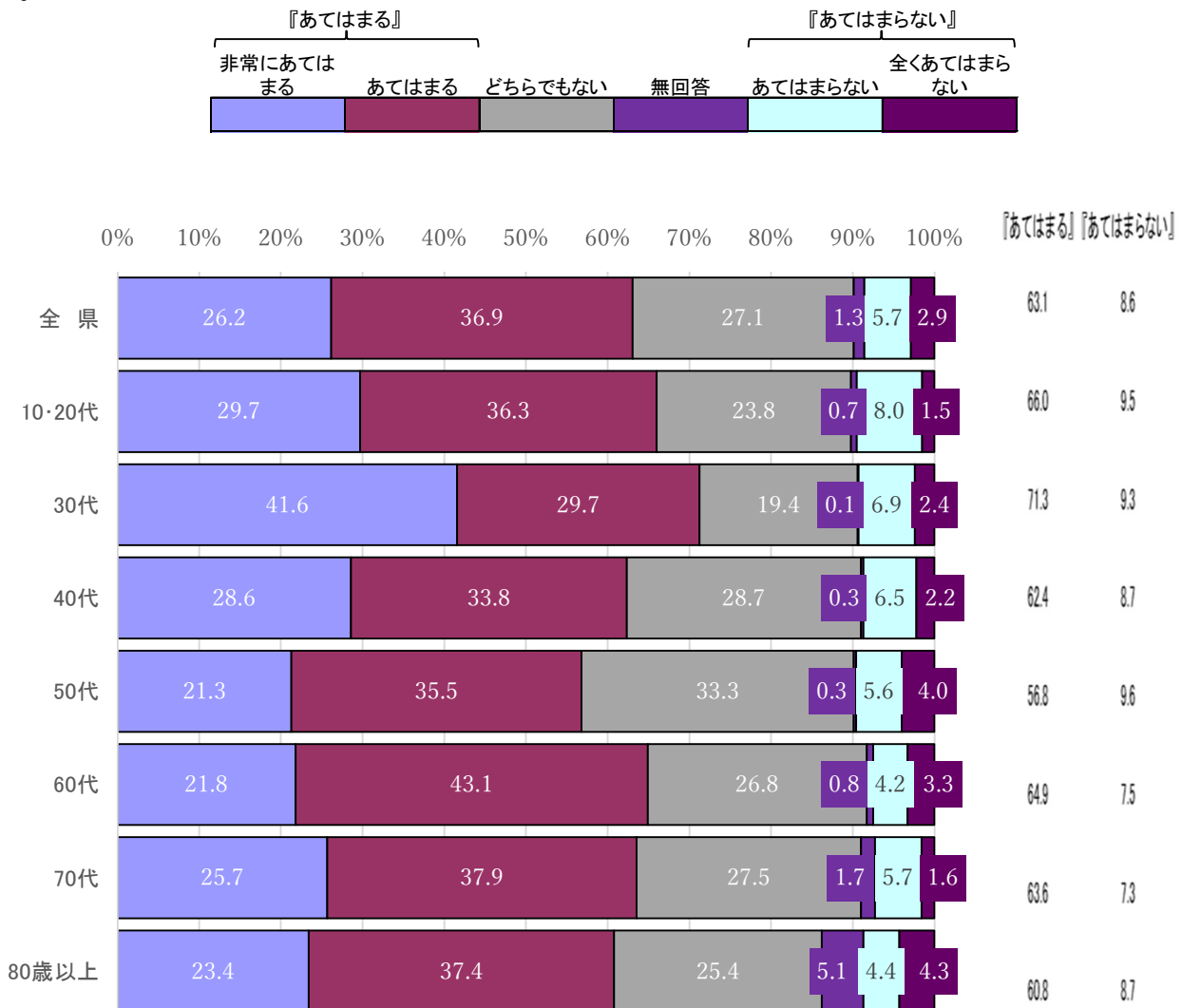
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも5.7ポイント多い（男性59.6%、女性65.3%）。



【年代別】

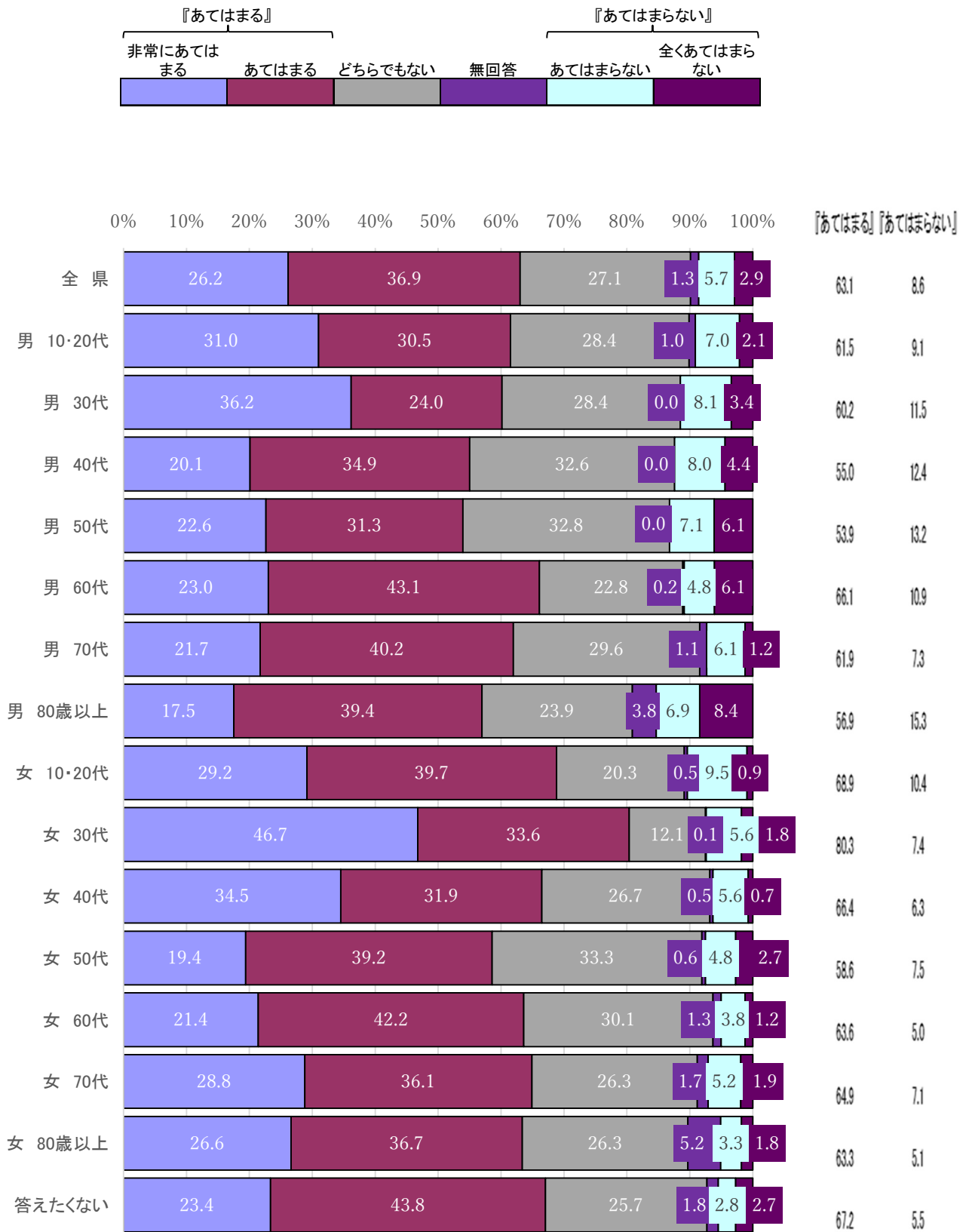
『あてはまる』は、30代（71.3%）が最も多く、次いで10・20代（66.0%）、60代（64.9%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は60代（66.1%）、女性は30代（80.3%）が最も多い。



問 14-ク 安全な食生活に向けた意識と実践

問 14-ク

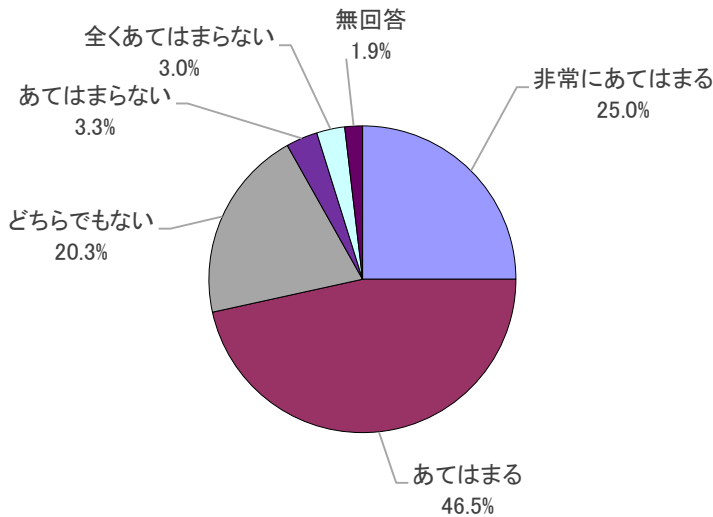
あなたは、安全な食生活を送るポイントとして、以下の項目をどの程度意識し、実践していますか。次のア～クのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

ク 健康食品を利用する際は対象者や注意書きをよく確認し、摂り方に注意する

- 1 非常にあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 どちらでもない
- 4 あてはまらない
- 5 全くあてはまらない

【全県】

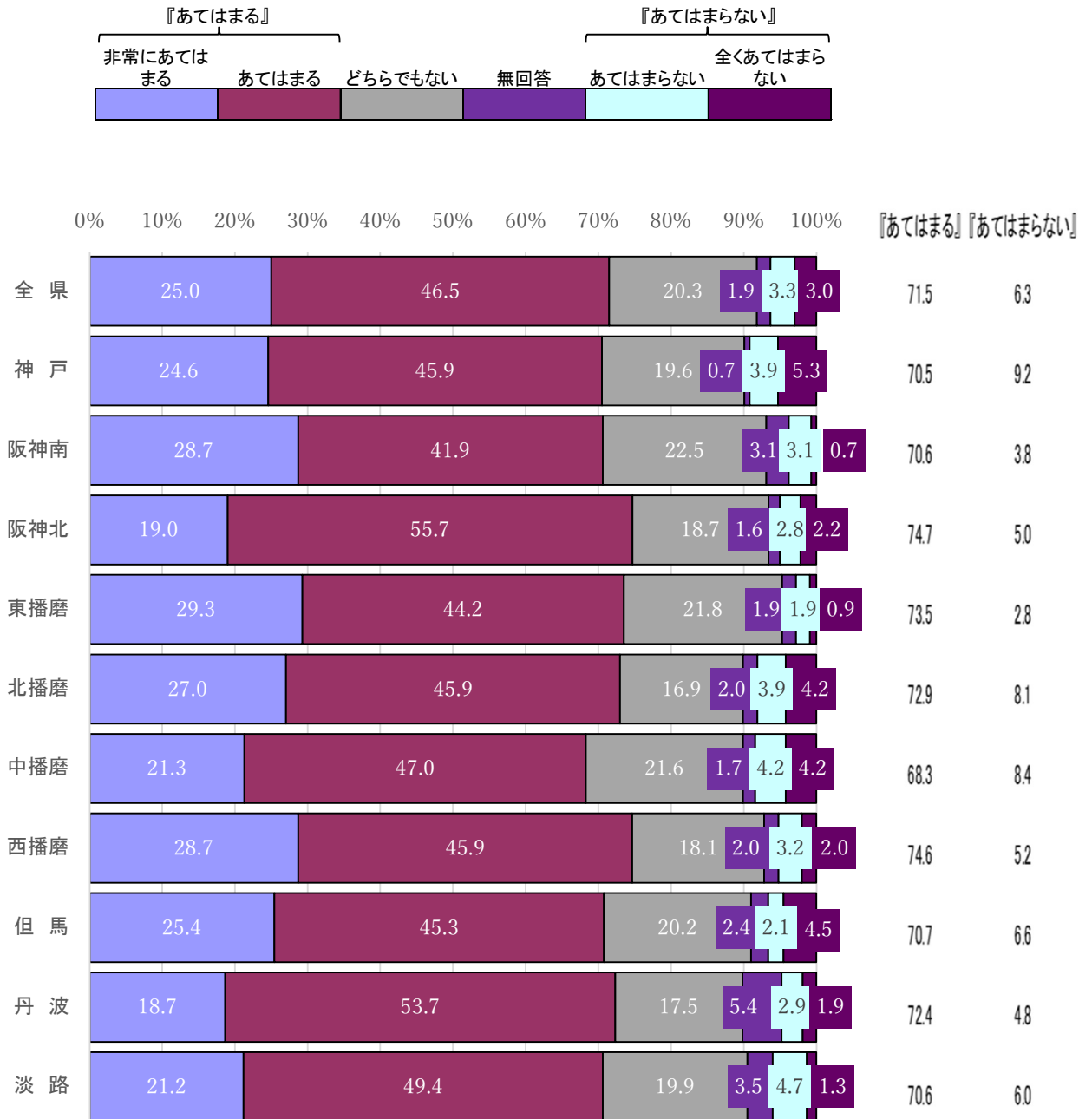
「非常にあてはまる (25.0%)」と、「あてはまる (46.5%)」を合わせた『あてはまる』は 71.5%で、「あてはまらない (3.3%)」と、「全くあてはまらない (3.0%)」を合わせた『あてはまらない』は、6.3%となった。



「非常にあてはまる」+「あてはまる」 =『あてはまる』	71.5%
「あてはまらない」+「全くあてはまらない」 =『あてはまらない』	6.3%

【地域別】

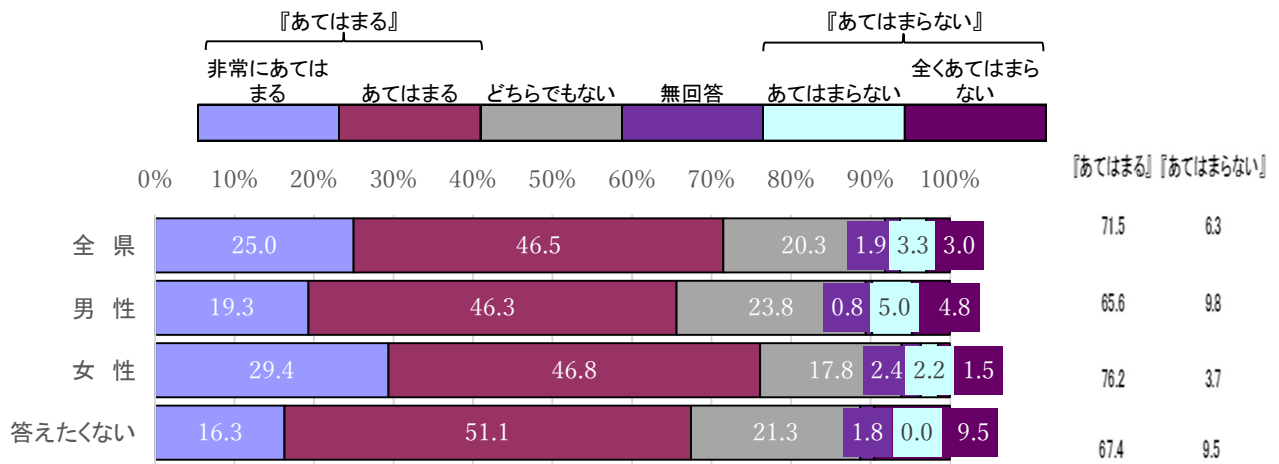
『あてはまる』は阪神北（74.7%）が最も多く、次いで西播磨（74.6%）、東播磨（73.5%）が多い。



安全な食生活に向けた意識と実践

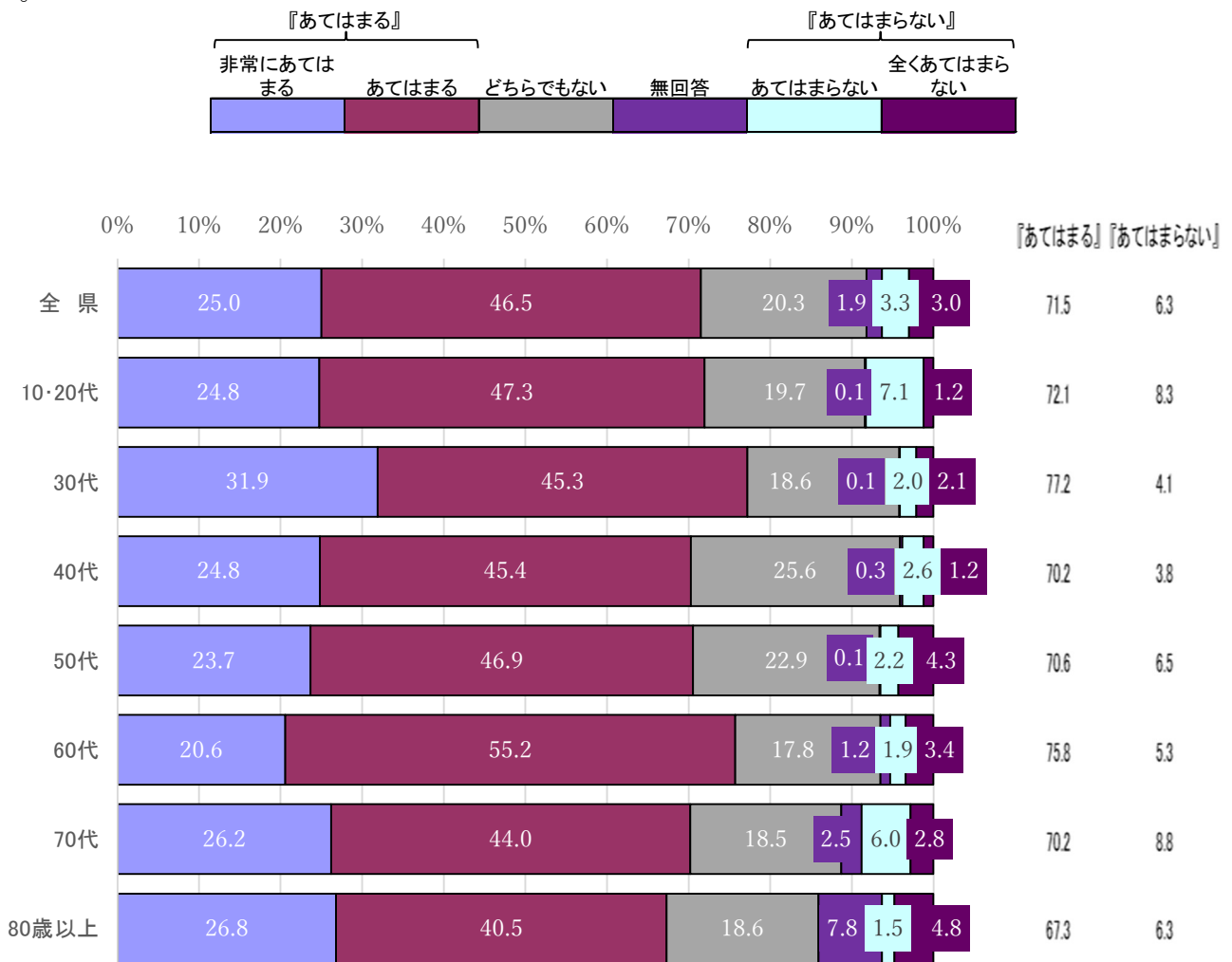
【性別】

『あてはまる』は、女性が男性よりも10.6ポイント多い（男性65.6%、女性76.2%）。



【年代別】

『あてはまる』は、30代（77.2%）が最も多く、次いで60代（75.8%）、10・20代（72.1%）が多い。



【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は60代（73.9%）、女性は30代（85.0%）が最も多い。

